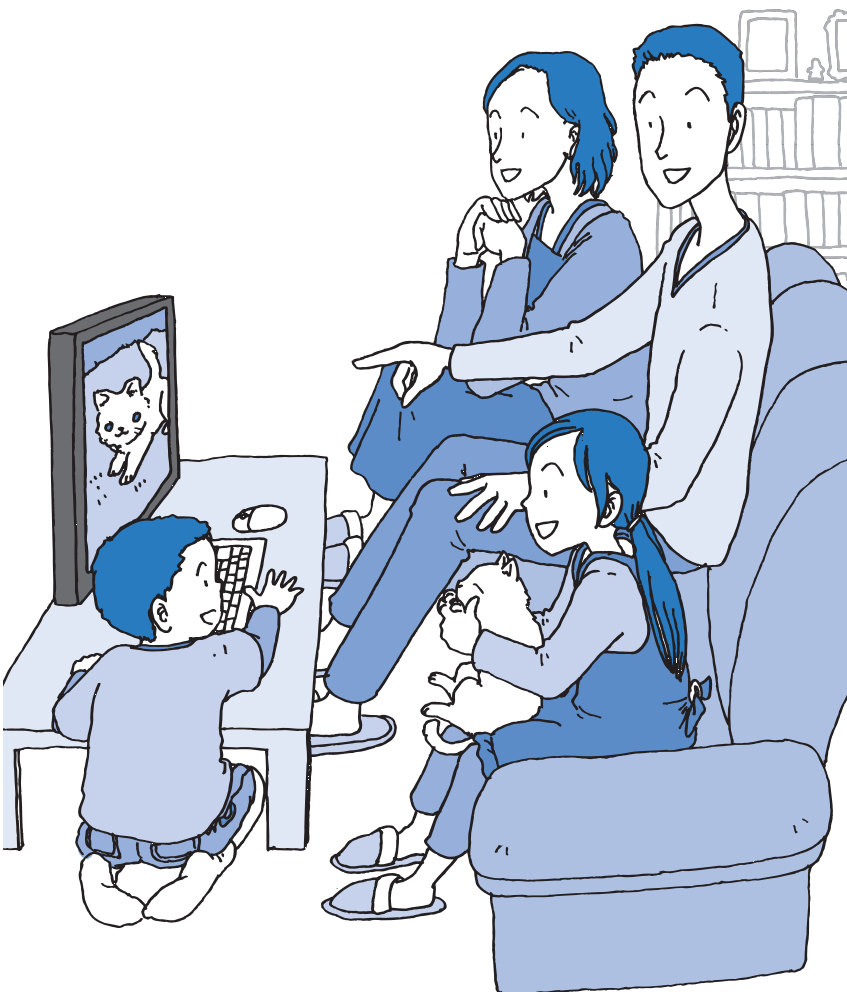
NEC

テレビを楽しむ本

パソコンだから一歩進んだテレビの楽しみ方を

VALUESTAR

●マニュアルガイド●

このパソコンには、次のマニュアルが添付されています。
目的に合わせてご覧ください。

パソコンを使う準備をしよう

『準備と設定』

ケーブルの接続やパソコンのセットアップ／基本中の基本の操作／インターネットに接続する方法／パソコンを買い替えたときは　など

パソコン活用のヒントはこの本

『活用ブック』

マウスやウインドウの使い方／日本語入力をマスターしよう／メールやホームページの楽しみ方／便利なソフトの活用術／セキュリティ対策について　など

トラブルが起きたときは

『パソコンのトラブルを解決する本』

パソコンの電源が入らない、パソコンが急に動かなくなったときは／画面が表示されない／ウイルスに感染してしまったら／再セットアップ方法　など

この本

パソコンでテレビを見てみよう

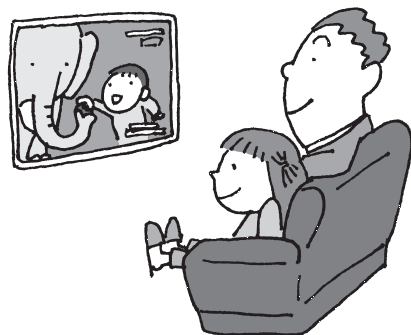
『テレビを楽しむ本』

（デジタルハイビジョンTVモデルのみ）

パソコンで簡単にテレビを見る方法／おてがる予約や追っかけ再生／録画番組の編集／ DVDなどへの保存方法／一歩進んだテレビ操作　など

853-810601-818-A2

SmartVision ラクラク操作ガイド

巻頭の「ラクラク操作ガイド」では、このパソコンでテレビを楽しむための基本的な操作について説明しています。
テレビの便利な機能や高度な使い方については、「こんなときには」でちょっとだけご紹介しています。
「ラクラク操作ガイド」で基本的な操作に慣れたら、ぜひこのマニュアルをひととおりお読みになってください。きっとテレビをより便利に使いこなしていただくことができるでしょう。

設定はお済みですか?

パソコンでテレビを見るには
次の準備が必要です。
「ラクラク操作ガイド」を読む前に、
テレビ機能を使えるようにしましょう。

パソコンを使う準備をする

『準備と設定』をご覧ください

テレビの初期設定をする

このマニュアルのPART1「テレビを見るための準備」(p.1)をご覧ください

Contents

853-810601-818-A2　2009年4月 初版

テレビを見る

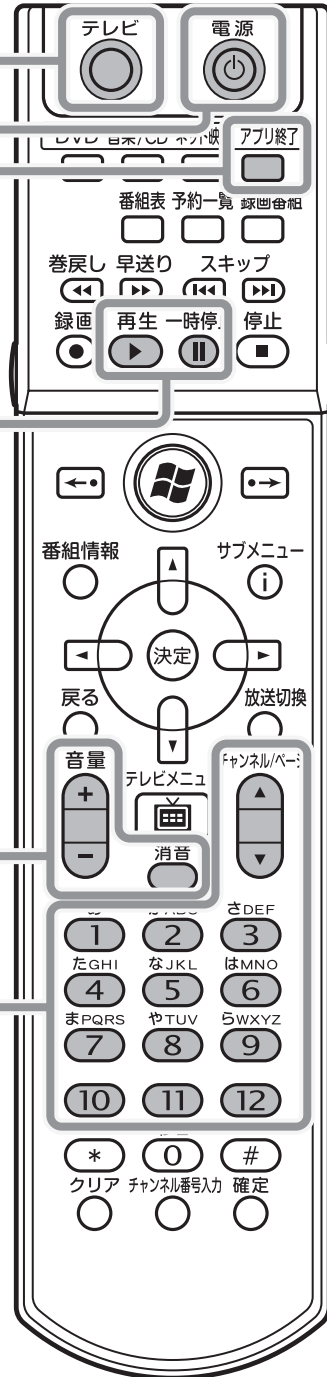
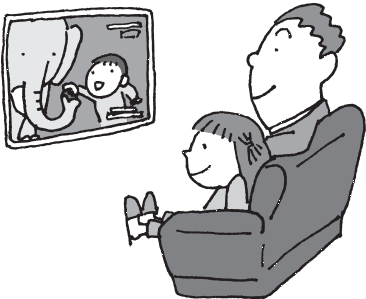
※VALUESTAR Lの場合は、リモコン受信用ユニットが
取り付けられていることを確認してください。

❶ テレビをつける

❷ テレビを消して、
パソコンも終了する

❸ テレビを消して、
パソコンを使う

❹ 一時停止、再生
（タイムシフト機能）

❺ 音量調節

❻ 番組を選ぶ

テレビを見る

テレビをつける ➡ ❶

【テレビ】を押します※

※VALUESTAR Lをお使いの場合、休止状態、シャットダウン状態からリモコンの【テレビ】でテレビを起動することはできません
※テレビが起動するまでに、時間がかかることがあります

番組を選ぶ ➡ ❻

【チャンネル/ページ】または数字ボタンを押します

詳しくは　**テレビを見る ➡ p.21**

テレビを消す

テレビを消す ➡ ❷、❸

・テレビを消して、パソコンを使う　　：【アプリ終了】を押します
・テレビを消して、パソコンも終了する：【電源】を押します

詳しくは　**テレビを消す ➡ p.26**

音量調節 ➡ ❺

【＋】【－】で、音量を調節します。【消音】を押すと消音（ミュート）します

詳しくは　**音量を調節する ➡ p.24**

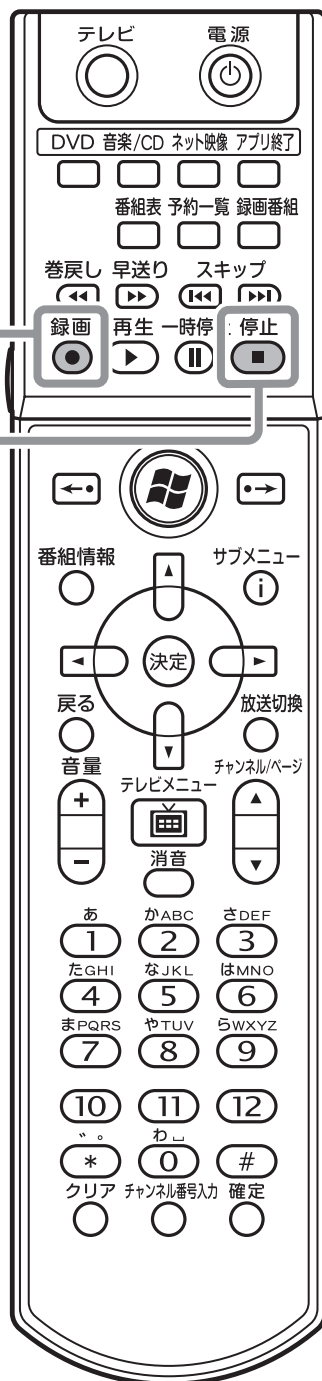
タイムシフト機能 ➡ ❹

視聴中にちょっと席を外したいときは【一時停止】。見ている番組を一時停止できます
【再生】を押せば、続きから見られます

詳しくは　**タイムシフトモードで見る ➡ p.31**

録画する

※VALUESTAR Lの場合は、リモコン受信用ユニットが取り付けられていることを確認してください。

❶ 今見ている番組を録画する

❷ 録画を停止する

今見ている番組を録画する

録画を開始する ➡ ❶

録画を開始します

▼

録画を停止する ➡ ❷

録画をやめたいところで【停止】を押します

詳しくは **今見ている番組を録画する**
地デジシングルチューナーモデル ➡ p.49
BS・110度CS・地デジダブルチューナーモデル ➡ p.92

もっと便利な録画方法

このパソコンでは、画面でテレビの番組表を見ることができます。また、この番組表を使って予約録画をすることができます。

詳しくは **おてがる予約をする(番組表で予約する)**
地デジシングルチューナーモデル ➡ p.55
BS・110度CS・地デジダブルチューナーモデル ➡ p.98

再生する

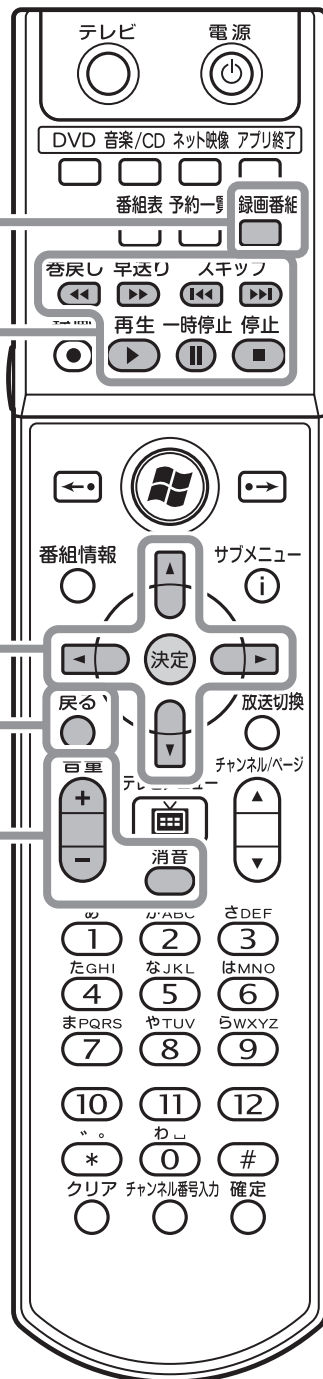
※VALUESTAR Lの場合は、リモコン受信用ユニットが取り付けられていることを確認してください。

❶ 録画番組一覧を表示する

❷ 番組を操作する

❸ 番組を選んで、再生する

❹ テレビ画面に戻る

❺ 音量調節

再生する ※テレビをつけた状態で操作してください

録画した番組を選ぶ ➡ ❶、❸

【録画番組】を押して、録画番組一覧を表示します
録画番組一覧画面から見たい番組を矢印ボタンで選びます

番組を再生する ➡ ❸、❷

【決定】を押すと、再生が始まります
再生中は以下のボタンで操作ができます

【巻き戻し】 【早送り】 【スキップ】

【再生】 【一時停止】 【停止】

詳しくは **録画した番組を再生する**
地デジシングルチューナーモデル ➡ p.69
BS・110度CS・地デジダブルチューナーモデル ➡ p.114

テレビ画面に戻る ➡ ❹

テレビを見る画面に戻るには、【戻る】を押します

詳しくは **テレビを見る画面に戻る**
地デジシングルチューナーモデル ➡ p.70
BS・110度CS・地デジダブルチューナーモデル ➡ p.115

音量調節 ➡ ❺

【＋】【－】で、音量を調節します
【消音】を押すと、消音（ミュート）します

詳しくは **音量を調節する ➡ p.24**

こんなときには

ここでは、このパソコンのテレビに搭載された「こんなときに使いたい機能」をご紹介しています。これらの機能を使って、テレビをより便利に楽しんでください。

新番組や興味のある番組を自動で録画したい

興味のあるジャンルやキーワードを登録しておけば、それに合った番組を「おまかせ録画」で自動的に探して録画できます。また、「新番組おまかせ録画」では新番組を自動で録画できます。

地デジシングルチューナーモデル → PART3「おまかせ録画をする」(p.76)
PART3「新番組おまかせ録画をする」(p.83)

BS・110度CS・地デジダブルチューナーモデル → PART4「おまかせ録画をする」(p.121)
PART4「新番組おまかせ録画をする」(p.128)

録画番組のお気に入りのシーンだけ残したい

録画番組の不要な部分をカットして、お気に入りのシーンだけ保存することができます。

全モデル共通 → PART6「簡易編集機能を使う」(p.166)

ハードディスクを節約したい

ハードディスクの残り容量が少なくなったら、保存しておきたい番組をDVDなどに保存して、不要となった番組はハードディスクから削除することができます。

地デジシングルチューナーモデル → PART3「録画した番組を削除する」(p.71)

BS・110度CS・地デジダブルチューナーモデル → PART4「録画した番組を削除する」(p.116)

全モデル共通 → PART5「番組を光ディスクに保存する」(p.140)

ハードディスクを増設する

ハードディスクの残り容量が少なくなってきた。こんなときには、USB接続の外付けハードディスクを増設することができます。増設したハードディスクに録画したり、録画した番組を移動することもできます。

全モデル共通 → PART6「外付けハードディスクを利用する」(p.159)

このマニュアルの表記について

◆本文中の記載について

・本文中の画面やイラスト、ホームページは、モデルによって異なることがあります。また、実際の画面と異なることがあります。
・記載している内容は、このマニュアルの制作時点のものです。お問い合わせ先の窓口、住所、電話番号、ホームページの内容やアドレスなどが変更されている場合があります。あらかじめご了承ください。

◆このマニュアルで使用している記号や表記には、次のような意味があります

記載内容を守っていただけない場合、どの程度の影響があるかを表しています。

	人が障害を負う可能性が想定される内容、および、物的損害の発生が想定される内容を示します。

傷害や事故の発生を防止するための指示事項は、次のマークで表しています。

	使用者に対して指示に基づく行為を強制するものです。

その他の指示事項は、次のマークで表しています。

	してはいけないことや、注意していただきたいことを説明しています。よく読んで注意を守ってください。場合によっては、作ったデータの消失、使用しているソフトの破壊、パソコンの破損の可能性があります。
	マニュアルの中で関連する情報が書かれている所を示しています。
	そのページで大事なことや、操作のヒントが書かれています。

◆このマニュアルの表記では、次のようなルールを使っています

【　】	【　】で囲んである文字は、キーボードのキーやリモコンのボタンを指します。
DVD/CDドライブ	ブルーレイディスクドライブ(DVDスーパーマルチドライブ機能付き)、BD-ROMドライブ(DVDスーパーマルチドライブ機能付き)、およびDVDスーパーマルチドライブを指します。
「ソフト&サポートナビゲーター」	「ソフト＆サポートナビゲーター」を起動して、各項目を参照することを示します。「ソフト＆サポートナビゲーター」はデスクトップの (ソフト＆サポートナビゲーター)をダブルクリックして起動します。

◆このマニュアルでは、各モデル(機種)を次のような呼び方で区別しています

ご購入された製品のマニュアルで表記されているモデル名を確認してください。

ブルーレイディスクドライブモデル	ブルーレイディスクドライブ(DVDスーパーマルチドライブ機能付き)を搭載しているモデルのことです。
BD-ROMドライブモデル	BD-ROMドライブ(DVDスーパーマルチドライブ機能付き)を搭載しているモデルのことです。
DVDスーパーマルチドライブモデル	DVDスーパーマルチドライブ(DVD-R/RW with DVD+R/RWドライブ(DVD-R/+R 2層書込み))を搭載しているモデルのことです。
BS・110度CS・地デジダブルチューナーモデル	地上デジタル放送とBS・110度CSデジタル放送を見るための機能、および、2つのレコーダ(チューナー)によって同じ時間帯に放送されている番組を2つまで録画する機能を搭載しているモデルのことです。
地デジシングルチューナーモデル	地上デジタル放送を見るための機能を搭載しているモデルのことです。

◆このマニュアルで使用しているソフトウェア名などの正式名称

(本文中の表記)	(正式名称)
Windows、Windows Vista	Windows Vista® Home Premium with Service Pack 1(SP1) Windows Vista® Ultimate with Service Pack 1(SP1)
Windows Media Center	Windows® Media Center
インターネットエクスプローラ、Internet Explorer	Windows® Internet Explorer®
WinDVD for NEC	InterVideo® WinDVD® for NEC
WinDVD AVC for NEC	InterVideo® WinDVD® AVC for NEC
WinDVD BD for NEC	InterVideo WinDVD BD® for NEC
G-GUIDE for Windows	G-GUIDE® for Windows Ver 3.6
ウイルスバスター	ウイルスバスター™2009
「スタート」、「スタート」ボタン	Windows Vista® スタート ボタン

ご注意

(1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
(2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
(3) 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、NEC 121コンタクトセンターへご連絡ください。落丁、乱丁本は、お取り替えいたします。
(4) 当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、(3)項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
(5) 本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。
(6) 海外NECでは、本製品の保守・修理対応をしておりませんので、ご承知ください。
(7) 本機の内蔵ハードディスクにインストールされている Windows Vista® Home Basic、Windows Vista® Home Premium、Windows Vista® Business またはWindows Vista® Ultimateおよび本機に添付のCD-ROM、DVD-ROMは、本機のみでご使用ください。
(8) ソフトウェアの全部または一部を著作権の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の侵害となります。
(9) あなたがテレビ放送や録画物などから引用したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。
(10) この製品は、Independent JPEG Groupのソフトウェアを一部利用しています。

G-GUIDE for Windowsは、米Gemstar-TV Guide International, Inc.のライセンスに基づいて生産しております。

米Gemstar-TV Guide International, Inc.およびその関連会社は、Gガイドが供給する放送番組内容および番組スケジュール情報の精度に関しては、いかなる責任も負いません。また、Gガイドに関連する情報・機器・サービスの提供または使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。

アナログテレビ放送からデジタルテレビ放送への移行について

地上デジタルテレビ放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の都道府県の県庁所在地は2006年末までに放送が開始されました。今後も受信可能エリアは順次拡大されます。この放送のデジタル化に伴い、地上アナログテレビ放送は2011年7月までに終了することが、国の法令によって定められております。

目　次　CONTENTS

PART 7 Q&A 175

付　録 197

テレビを見るための準備

テレビを見る前に、アンテナケーブルの接続やテレビ初期設定が必要です。

PART 1
テレビを見るための準備

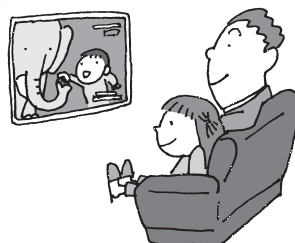
このマニュアルの読み方

はじめに、このマニュアルを読む上で注意していただきたいことを説明します。

このパソコンで楽しめるテレビ放送

BS･110度CS･地デジダブルチューナーモデルでは、地上デジタル放送、BS･110度CSデジタル放送が楽しめます。
地デジシングルチューナーモデルでは、地上デジタル放送が楽しめます。

●地上デジタル放送
2003年12月から始まった、新しいテレビ放送です。デジタル放送になっているため、今までのアナログ放送に比べて高画質、高音質です。また、データ放送などの新しいサービスが受けられるのも特長です。

●BS･110度CSデジタル放送
デジタルで放送されている衛星放送です。BS･110度CS･地デジダブルチューナーモデルでは、BSデジタル放送と「スカパー！e2」の番組が見られます。地上デジタル放送と同じく、高画質、高音質、データ放送などの特長があります。

モデル名とシリーズ名の対応は以下のとおりです。

モデル名	視聴できる放送	
	地上デジタル	BS･110度CSデジタル
地デジシングルチューナーモデル	○	×
BS･110度CS･地デジダブルチューナーモデル	○	○

■ 2番組同時録画について

BS･110度CS･地デジダブルチューナーモデルは、2つのレコーダ(チューナー)を搭載しており、同じ時間帯に放送されている番組を2つまで録画することができます。

チェック

2番組同時録画には一部制限があります。
詳しくは、PART4の「ダブル録画をおこなうときのご注意」(p.91)をご覧ください。

マニュアルの画面、説明について

■ モデルによって異なる画面について

BS・110度CS・地デジダブルチューナーモデルと地デジシングルチューナーモデルでは、画面の表示が一部異なります。このマニュアルでは、機能や操作に大きな差異のない場合、BS・110度CS・地デジダブルチューナーモデルの画面を使用して説明しています。

■ モデルによって異なる操作について

BS・110度CS・地デジダブルチューナーモデルと地デジシングルチューナーモデルでは、操作が一部異なります。このマニュアルでは、それぞれのモデルで大きな差異のない操作についてはまとめて説明しています。
なお、BS・110度CS・地デジダブルチューナーモデルは2つのレコーダ(チューナー)を搭載しているため、レコーダを1つ搭載している地デジシングルチューナーモデルとは、録画に関する操作が大きく異なります。このため、録画・予約・再生の操作については、モデルごとにPARTを分けて説明しています。

録画・予約・再生について→
地デジシングルチューナーモデル:「PART3 録画・予約・再生する(地デジシングルチューナーモデル)」(p.45)
BS・110度CS・地デジダブルチューナーモデル:「PART4 録画・予約・再生する(BS・110度CS・地デジダブルチューナーモデル)」(p.87)

PART 1
テレビを見るための準備

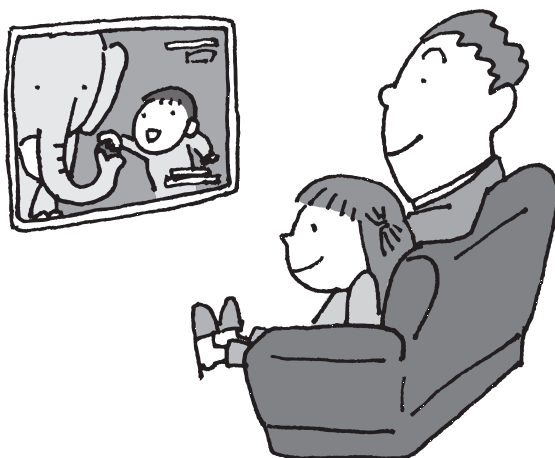
こんな準備が必要です

アンテナケーブルの接続とテレビ初期設定が終わっているかたはすぐにテレビを見ることができます。
終わっていないかたは次の説明を読んで準備をしてください。

接続と設定は済んでいますか？

テレビを見るには、まずパソコンを使う準備(ケーブル類の接続、セットアップ作業)をする必要があります。まだ終わっていないかたは、『準備と設定』の第1章〜第3章をご覧になり、準備をしてください。
パソコンを使う準備ができたら、次にテレビを見るための準備をおこないます。

チェック

- ●CATV(ケーブルテレビ)から地上デジタル放送を受信できるかどうかは、各CATV会社により異なります。
- ●CATV会社経由で地上デジタル放送を受信する場合、再配信されている地上デジタル放送信号が同一パススルー方式、周波数変換パススルー方式の場合は地上デジタル放送を視聴可能です。その他の方式(トランスモジュレーションなど)では視聴できません。再配信されている地上デジタル放送の方式に関しては、ご利用のCATV会社にご確認ください。
- ●このパソコンにCATVホームターミナルを接続することはできません。視聴に別途ホームターミナルなどの装置が必要な場合は、CATVから地上デジタル放送を受信することはできません。
- ●CATV番組の放送局については、各CATV会社より届けられているCATV番組表などをご覧ください。

テレビを見るまでの流れ

このパソコンでテレビを見るには、パソコンを使う準備と、テレビの初期設定の2つの準備が必要です。
テレビを見るまでの流れは次のとおりです

1 パソコンを使う準備をする

パソコンの接続をする

アンテナケーブル、B-CAS(ビーキャス)カードの準備をする

Windowsのセットアップをする

テレビを見る前に、まずはパソコンを使えるようにします。『準備と設定』を読んで、パソコンの接続とセットアップをしてください。接続の途中で、テレビの視聴に必要なアンテナケーブルとB-CASカードの準備も同時におこないます。VALUESTAR Lをお使いの場合は、リモコン受信用ユニットの接続も必要です。

●見るマニュアル
『準備と設定』第1章〜第3章

●必要な準備
- パソコンの設置
- パソコンの接続
- アンテナケーブルの接続
- B-CASカードのセット
- Windowsのセットアップ

『準備と設定』

2 テレビの初期設定をする

Windows Media Center(ウィンドウズ メディア センター)のセットアップをする

テレビ初期設定(チャンネルや番組表の設定)をする

●見るマニュアル
『テレビを楽しむ本』(この本)

●必要な準備
- Windows Media Centerのセットアップ(p.6)
- テレビ初期設定(p.7)

いよいよ、テレビを見るためのソフト、「Windows Media Center」と「SmartVision」の準備をします。
このマニュアルで設定方法を説明しています。次のページからの内容をよく読んで、テレビの初期設定をしてください。

準備完了
さぁ、テレビを楽しみましょう!

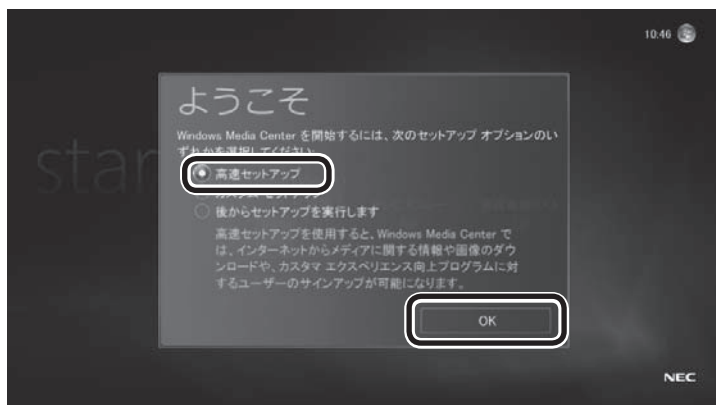
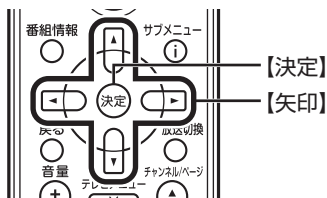
Windows Media Centerをセットアップする

このパソコンでテレビを見るには「SmartVision(スマートビジョン)」というソフトを使います。
SmartVisionは「Windows Media Center」というソフトから起動します。Windows Media Centerをはじめて使うときは、セットアップが必要です。

1 リモコンの【メディアセンター】を押す

セットアップの画面が表示されます。

2 「高速セットアップ」が選ばれていることを確認し、「OK」を選んで【決定】を押す

選ばれている項目は、先頭のマークが◉になっています。

セットアップが始まります。

チェック

- セットアップを始める前に、リモコンに乾電池を入れておいてください。
- リモコン上部のフタを閉じるときに、指先などをはさまないようご注意ください。
- VALUESTAR Lの場合は、セットアップを始める前に、リモコン受信用ユニットが取り付けられていることを確認してください。

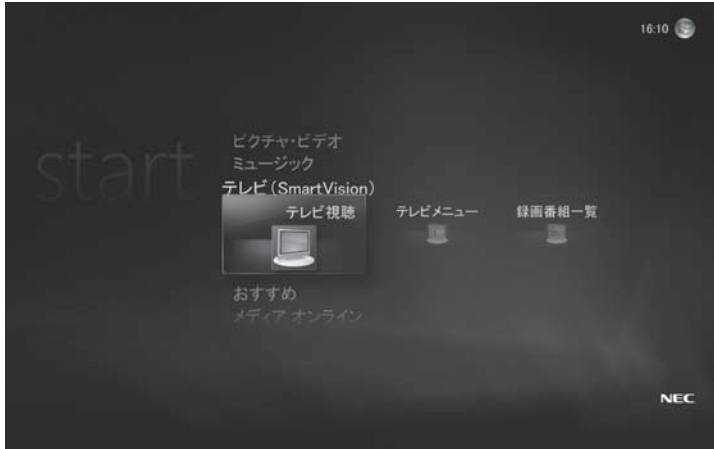
参照

リモコンの準備および使用範囲について→『準備と設定』

ポイント

- 「高速セットアップ」では、パソコンの状態などが自動的に確認され、その結果に合わせてWindows Media Centerが自動設定されます。

  「カスタムセットアップ」を選んだときは、パソコンの状態などを判断しながら手動で設定をおこないます。特に必要がない限り、「高速セットアップ」を選ぶことをおすすめします。
- Windows Media Centerのメインメニューで「タスク」の「設定」を選び、表示された「設定」画面で「全般」-「Windows Media Centerセットアップ」を選んで、Windows Media Centerのセットアップをやりなおすことができます。

次の画面(Windows Media Centerのメインメニュー)が表示されたら、セットアップは完了です。続けて、テレビの初期設定をします。

テレビ初期設定をする

テレビ初期設定の操作は、マウスとキーボードを使っておこないます。

■ チャンネルの設定などをおこなう

1 Windows Media Centerの「テレビ(SmartVision)」-「テレビ視聴」をクリック

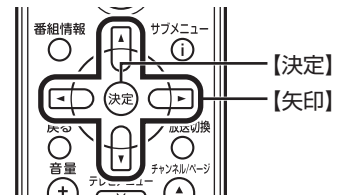
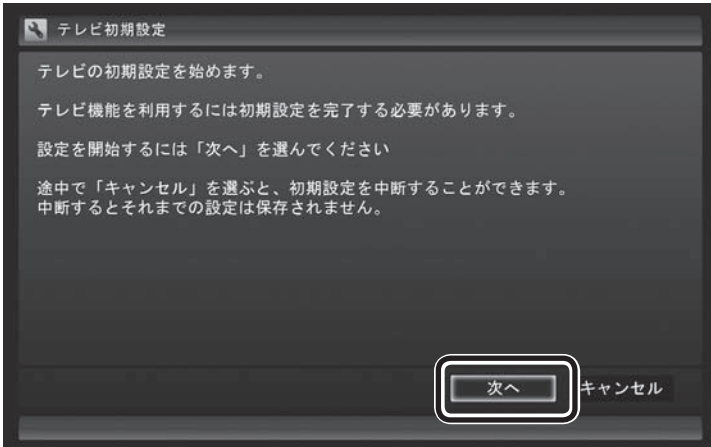
「テレビ初期設定」が表示されます。

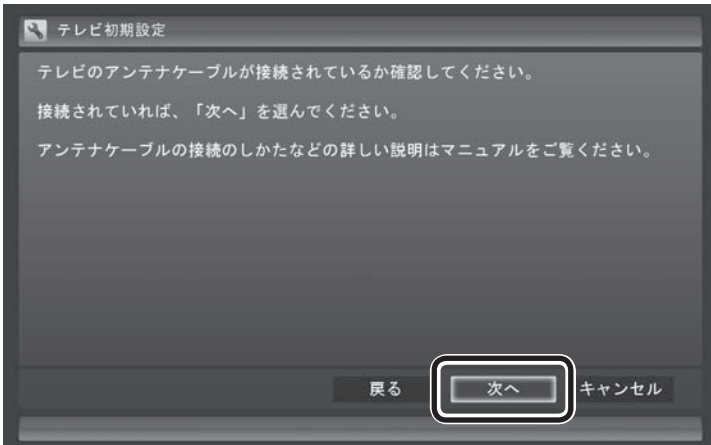
チェック

●テレビ初期設定を中止するときは、「キャンセル」をクリックしてください。なお、中止したときは、それまでに設定した内容は保存されません。

●CD/ハードディスクアクセスランプが点滅しているときは、パソコンの設定中です。次の画面が表示されるまで何も操作せずに待ってください。

ポイント

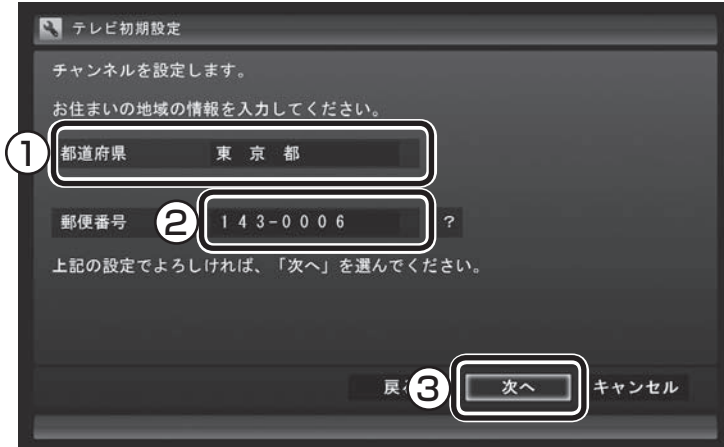
テレビ初期設定の操作はリモコンの【矢印】と【決定】を押しておこなうこともできます。

2 「次へ」をクリック

3 「次へ」をクリック

アンテナケーブルの接続について
→『準備と設定』第2章

4 チャンネル設定をする

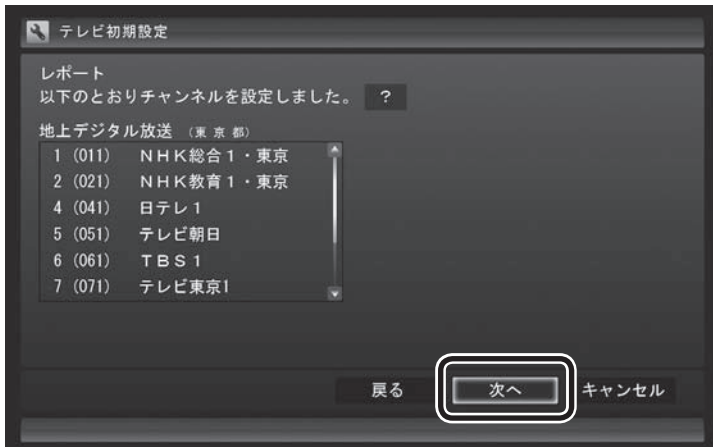
① ここをクリックし、お住まいの都道府県をクリック

② ここをクリックし、キーボードで数字を入力し、【Enter】を押す

③ 都道府県と郵便番号が正しいことを確認したら、「次へ」をクリック

自動的に、地上デジタル放送のチャンネルの検索が始まります。チャンネルを探し終わると、「完了しました。」と表示され、画面右下に「次へ」が表示されます。

5 「次へ」をクリック

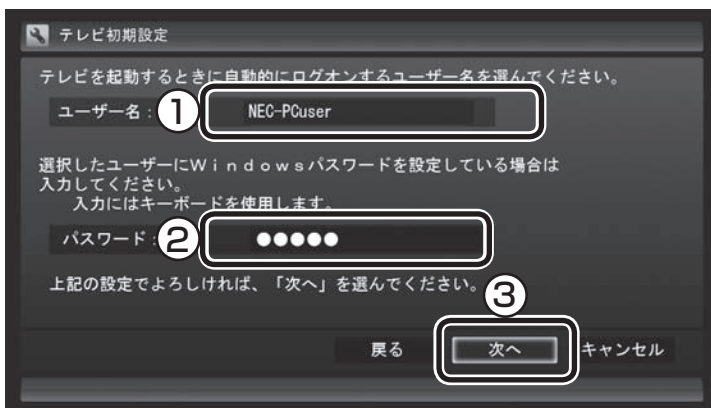
画面内に「？」が表示されているときは、「？」をクリックすると、その項目についての説明が表示されます。

6 チャンネル設定を確認し、「次へ」をクリック

Windowsのログオンパスワードを設定しているときは、ユーザー名とパスワードの設定画面が表示されます。設定していないときは、次のページに進んで、設定結果について確認してください。

7 パスワードを入力する

① ログオンしているユーザー名が表示されていることを確認する（ユーザー名は一例です）

② ここをクリックし、キーボードでパスワードを入力し、【Enter】を押す

③「次へ」をクリック

続けて、次ページに進んで、設定結果について確認してください。

ポイント

「チャンネルが見つかりませんでした」と表示された場合も、「次へ」をクリックして設定を進め、テレビ初期設定が終わってから「テレビ初期設定で困ったら」(p.14)をご覧ください。

チェック

- この画面は、Windowsのログオンパスワードを設定していない場合は表示されません。
- この画面の設定を行うと、Windowsが省電力状態(スリープ、休止状態)から復帰するときにパスワードを入力しない設定になります。

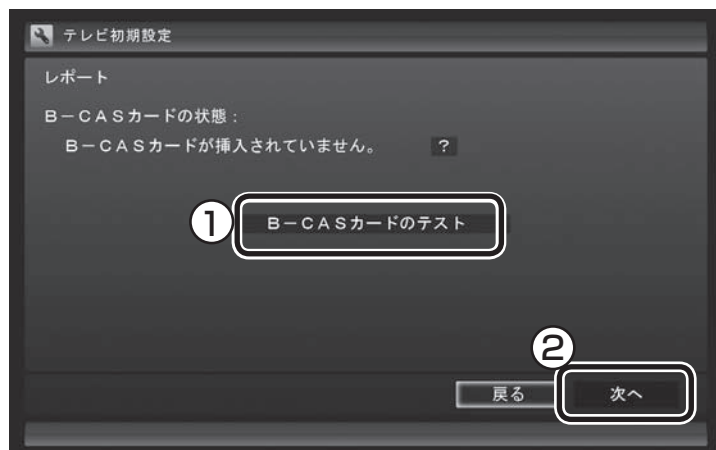
■ 設定ができたか確認する

続けて、設定ができたか確認します。
確認が必要ない画面については、表示されないものもあります。

1 B-CASカードの確認

この画面が表示された場合は、B-CASカードに問題があります。『準備と設定』第2章の「B-CASカードをセットする」をご覧になり、B-CASカードをセットしなおしてください。
問題がない場合は、この画面は表示されません。次の手順に進んでください。

① B-CASカードをセットしなおしたら、「B-CASカードのテスト」をクリック

② 「B-CASカードは正常です」と表示されたら、「次へ」をクリック

2 BSデジタル放送の受信状態を確認(BS・110度CS・地デジダブルチューナーモデルのみ)

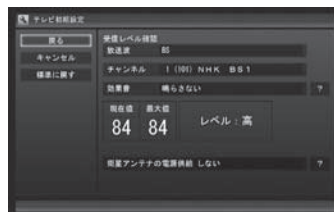
BSデジタル放送の受信状態が表示されます。

① 「次へ」をクリック

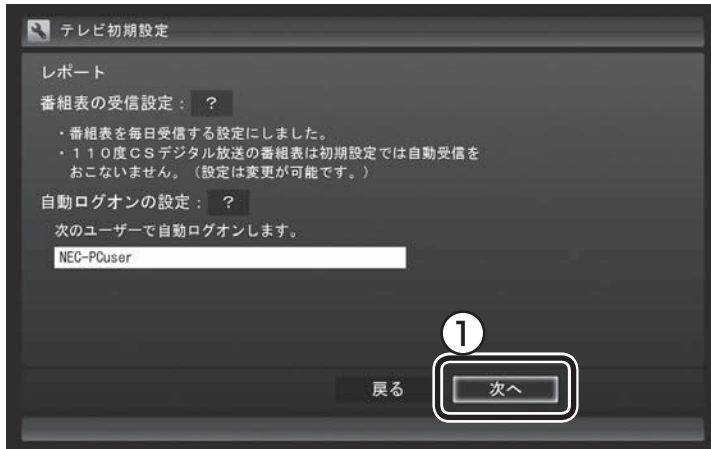
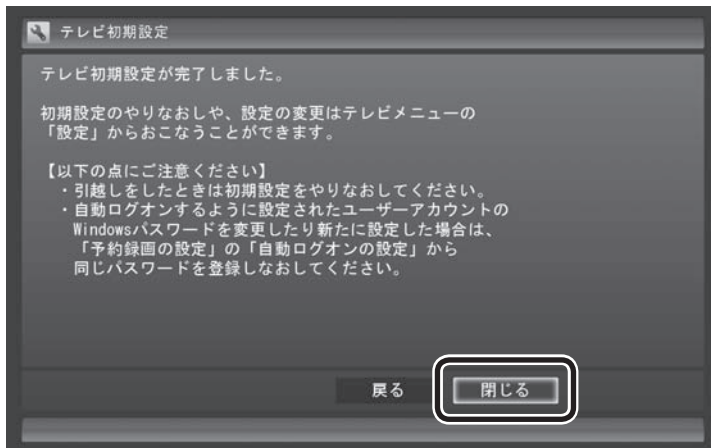
チェック

- 手順1の画面は、B-CASカードに問題がない場合は表示されません。
- 「B-CASカードを読み取れません。」と表示された場合は、B-CASカードが正しくセットされていない可能性があります。『準備と設定』第2章をご覧になり、B-CASカードが正しい向きでしっかりとセットされていることを確認してください。

ポイント

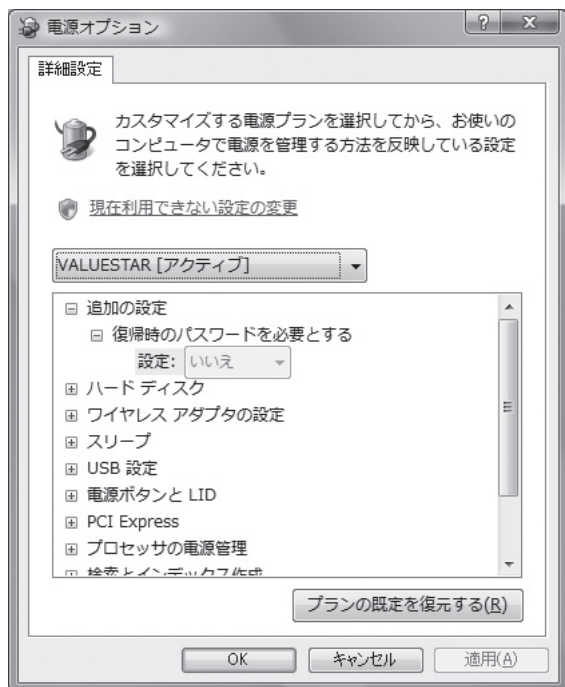
- 「受信レベルの確認」を選んで表示される画面で、受信レベルを確認することができます。
- 受信レベルに問題があるときは、テレビ初期設定が終わってから「テレビ初期設定で困ったら」(p.14)をご覧ください。
- アンテナの電源は、「受信レベルの確認」を選んで表示される画面で設定してください。

3 番組表と自動ログオンの確認

番組表の受信についてと自動ログオンするユーザー名が表示されます。

①「次へ」をクリック

4「閉じる」をクリック

テレビ画面が表示されます。
これで、テレビの初期設定は完了です。
設定が終わったら、「よく使うリモコンのボタンについて」(p.17)に進んでください。
設定がうまくいかなかったときや、設定は終わったが見られない放送があるときは、「テレビ初期設定で困ったら」(p.14)をご覧ください。

番組表を毎日受信する設定にすると、番組表を受信するためにパソコンの電源が切れていても自動的に電源ON/OFFします。

■ Windows復帰時のパスワード入力画面について（VALUESTAR W、VALUESTAR Lのみ）

ご購入時には、パソコンが省電力状態などから復帰するとき、ログオン画面（復帰時のパスワードを入力する画面）が表示される設定になっていますが、テレビ初期設定をすると、この画面が表示されないよう設定が変更されます。
テレビの予約視聴や予約録画をおこなうために、省電力状態などからパソコンを自動復帰させる際、この画面でWindowsの動作が停止（パスワードの入力待ち状態）してしまうことを防ぐためです。
この設定は、「コントロールパネル」の「システムとメンテナンス」-「電源オプション」で電源プランを選んで変更できますが、ログオン画面が表示される設定（「復帰時のパスワードを必要とする」を「はい」に設定）にすると、省電力状態などからの録画予約ができなくなります。ご注意ください。

参照

電源プランについて→「ソフト＆サポートナビゲーター」-「パソコンの各機能」-「省電力機能」-「省電力機能の設定を変更する」

チェック

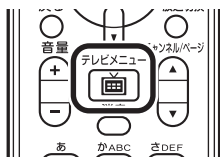
VALUESTAR Nは、ご購入時の電源プラン「VALUESTAR」で、復帰時にログオン画面が表示されないように設定されています。
また、テレビ初期設定をすると、それ以外の電源プランもすべて「復帰時のパスワードを必要とする」が「いいえ」に設定されます。この設定を「はい」にすると、省電力状態などからの録画予約ができなくなります。ご注意ください。

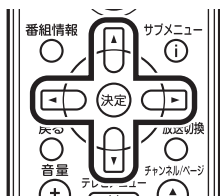
テレビ初期設定で困ったら

テレビ初期設定で、設定がうまくいかないときや、設定をしても見られない放送があるときは、テレビ初期設定を完了した後に次の説明をご覧ください。

■ 問題点を確認する

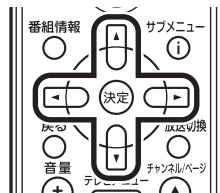
次の手順で、設定の問題点を確認してください。

1 リモコンの【テレビメニュー】を押す

テレビメニューが表示されます。

2 「情報」-「まとめて確認」を選んで【決定】を押す

現在の状態の確認結果が表示されます。

この画面で、問題点を確認します。

■ 地上デジタル放送の受信レベルに問題があったときは

1 「受信レベル」の「地上デジタル」を選んで【決定】を押す

アンテナの受信レベルが表示されます。

●受信レベルがすべて0、またはチャンネルスキャンをおこなっても受信可能チャンネルが表示されない場合
お近くの電器店などに、次の点を確認してください。

- ・パソコンをお使いの場所が地上デジタル放送のサービスエリア内か
- ・地上デジタル放送を受信可能なアンテナを設置しているか

また、CATVをご利用の場合は、CATV事業者に、地上デジタル放送を再配信しているかをご確認ください。

ポイント

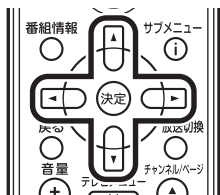
受信レベルは、「テレビメニュー」の「情報」-「受信レベルの確認」でも確認できます。

チェック

●チャンネルスキャンの結果、受信可能チャンネルが表示されても、受信レベルが55以下の場合は、正常に受信することができません。受信レベルが56以上になるようにアンテナを調整してください。

●地上デジタル放送を正常に視聴できない場合は、PART7の「テレビが映らない」(p.177)および「テレビ初期設定で、チャンネルのすべてまたは一部が設定されない。プリセットチャンネルを手動で設定しても改善しない。デジタル放送でブロックノイズが発生したり、受信が不安定になる」(p.179)をご覧ください。

■ BSデジタル放送の受信レベルに問題があったときは（BS・110度CS・地デジダブルチューナーモデルのみ）

1 「受信レベル」の「BS」を選んで【決定】を押す

アンテナの受信レベルが表示されます。

●受信レベルがすべて0の場合
アンテナを設置した事業者などに、アンテナに給電が必要かどうかを確認してください。
給電が必要な場合は、「衛星アンテナの電源供給」の設定を変更してアンテナに給電してください。

■ 次の作業をおこなってみてください

今までの手順で問題が解決しなかったときは、次の操作をおこなってみてください。機能が回復する場合があります。

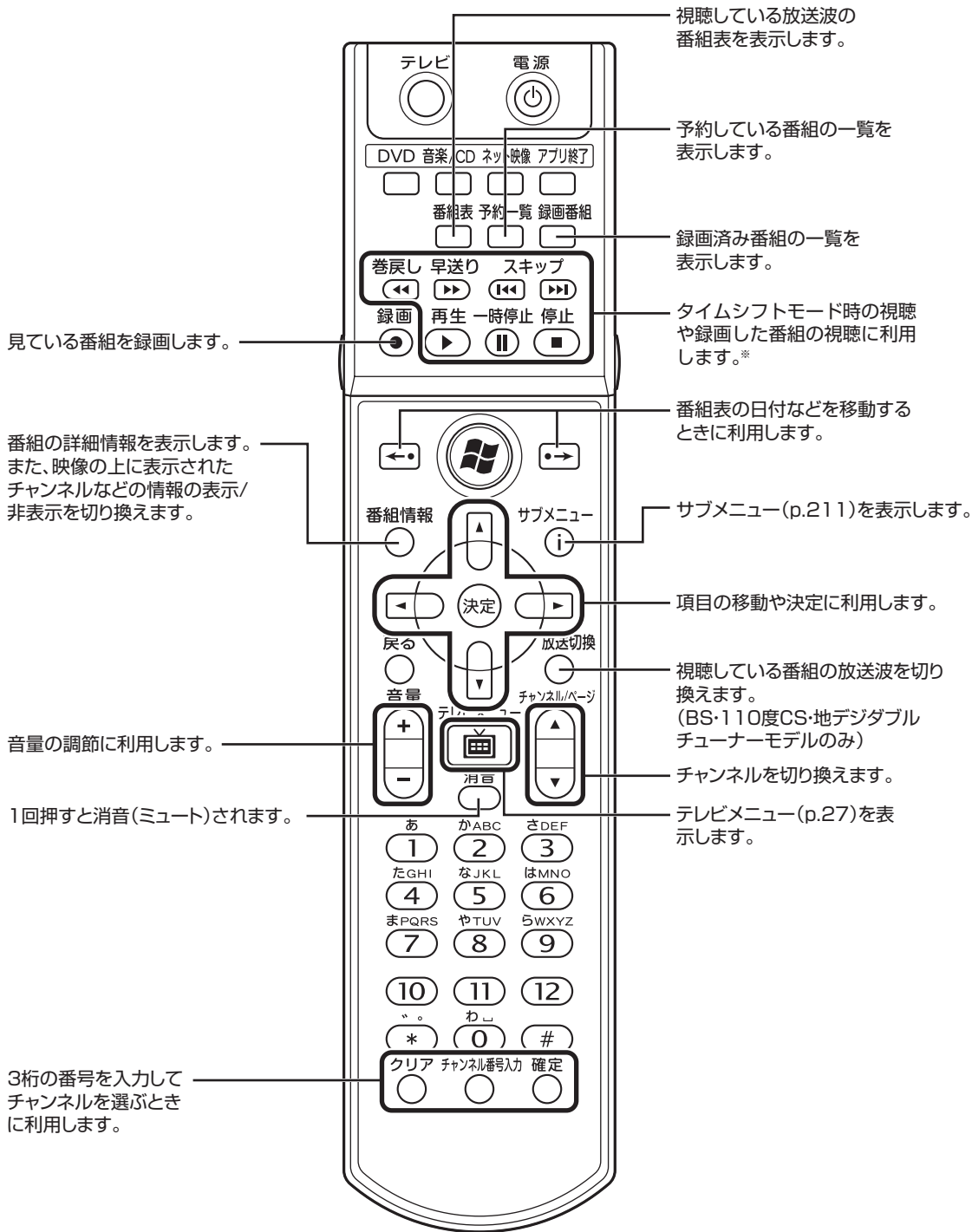
● 「テレビ初期設定」でチャンネルが見つからなかったとき
ここまでの作業が終わったら、テレビ初期設定をやりなおします。
リモコンの【テレビメニュー】を押して、「設定」-「初期設定のやりなおし」を選んで、テレビ初期設定をやりなおしてください。

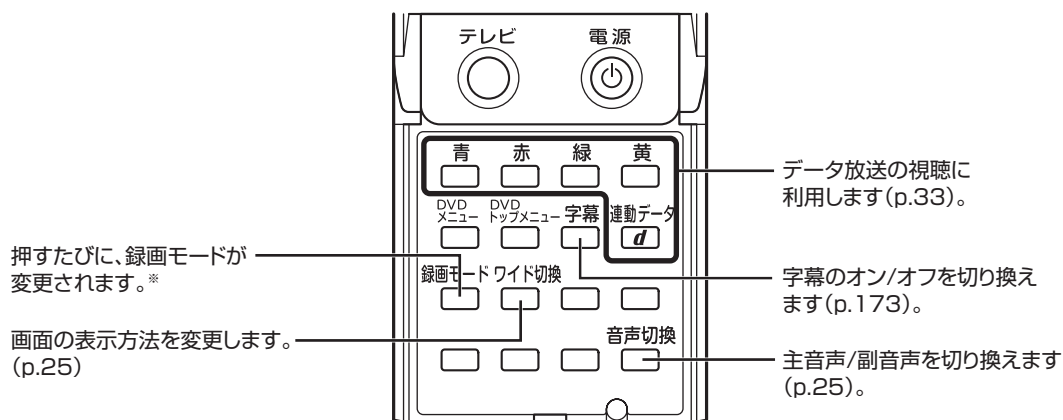
● 設定は終わったが、見られない放送があったとき
ここまでの作業が終わったら、PART2の「テレビをつける」（p.22）の方法で放送が見られるかどうか確認してください。
見られない場合、お客様の環境で受信できない放送である可能性があります。詳しくはお近くの電器店にご相談ください。

チェック

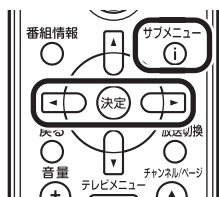
●受信レベルが55以下の場合は、正常に受信することができません。受信レベルが56以上になるようにアンテナを調整してください。

●受信レベルが0でなくても、BSデジタル放送の視聴に問題が出る場合があります。PART7の「テレビが映らない」（p.177）をご覧ください。

よく使うリモコンのボタンについて

※:タイムシフトモードについて
地デジシングルチューナーモデル:PART3の「タイムシフトモードにする」(p.52)
BS･110度CS･地デジダブルチューナーモデル:PART4の「タイムシフトモードにする」(p.95)
録画番組の視聴について
地デジシングルチューナーモデル:PART3の「録画した番組を再生する」(p.69)
BS･110度CS･地デジダブルチューナーモデル:PART4の「録画した番組を再生する」(p.114)

■ リモコンのフタを開いた所

※:録画モードの変更について
地デジシングルチューナーモデル:PART3の「録画する番組の録画モードを変更する」(p.50)
BS・110度CS・地デジダブルチューナーモデル:PART4の「録画する番組の録画モードを変更する」(p.93)

■ こんな使い方もあります

全画面でタイムシフトまたは再生をおこなっているとき、リモコンが「自動切換モード」であれば、次の操作が可能です。
リモコンのモードは、サブメニューで切り換えることができます。

【矢印】の左ボタン:巻き戻し
【矢印】の右ボタン:早送り
【決定】:一時停止/再生(押すごとに一時停止と再生が切り換わります)

PART 1 テレビを見るための準備

ダビング10とは

ここでは、デジタル放送の録画に関する新しいルール「ダビング10」について説明しています。

新しいコピー制御方式「ダビング10」

ダビング10とは、デジタル放送を録画するときの新しいルールです。
これまで、デジタル放送のほとんどの番組には、不正なダビングを防止し著作権を保護するため、「コピーワンス(コピー不可、ムーブ(移動)1回可能)」のコピー制御が加えられていました。
これに対し、新しくデジタル放送で放送が開始されたダビング10の番組では、この制御が緩和されています。
このパソコンはダビング10に対応しており、ハードディスクに録画したデジタル放送のダビング10番組が、CPRM対応のDVDなどの光ディスクに10回まで保存(9回まではコピー、最後の1回はムーブ(移動))できます。
ムーブ(移動)した場合、ハードディスクから当該番組は自動的に消去されます。
なお、保存したDVDなどの光ディスクから再度コピーを作成する(孫コピーを作成する)ことはできません。

次の点にご注意ください。

- すべてのデジタル放送番組がダビング10になるわけではありません。
- どの番組がダビング10で放送されるかは、番組によって異なります。
- EPG(電子番組表)の情報では、コピーワンス/ダビング10のどちらのコピー制御方式による番組か区別できません。番組表には、どちらの番組の場合でも「コピー制限あり」と表示されます。
  番組をハードディスクに録画すると、録画番組一覧の画面で、どちらのコピー制御方式による番組か確認できます。

コピーワンスとの違い

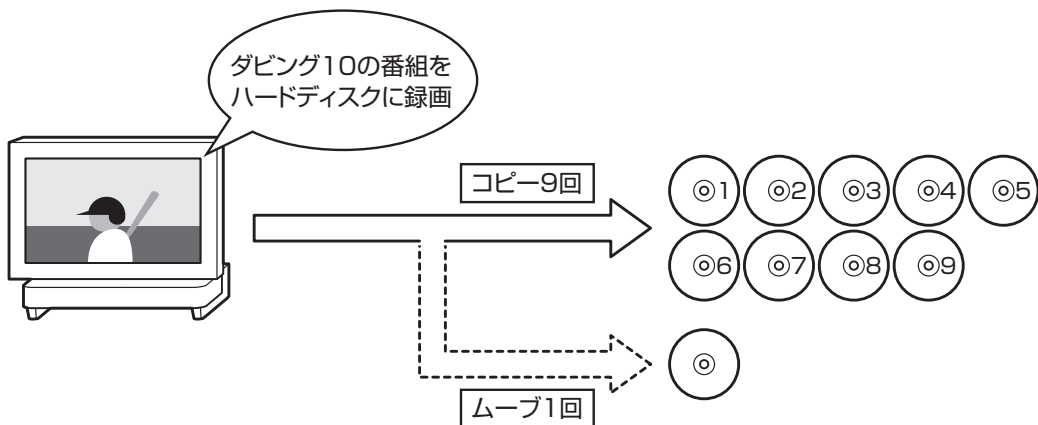
従来のコピー制御方式「コピーワンス」の違いは、次のようになります。

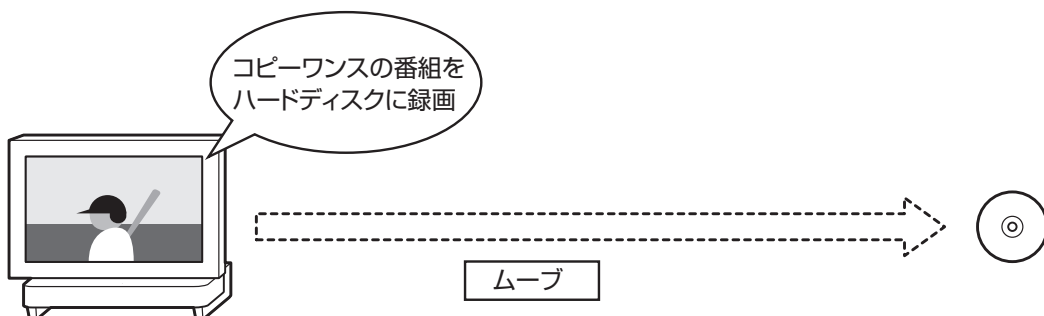
コピー制御方式	コピー回数	光ディスクへの保存
ダビング10(新方式)	コピー可(回数制限)	コピー 9回、ムーブ1回可 (ムーブ後、ハードディスクからは削除されます)
コピーワンス(従来)	コピー不可 (光ディスクへのムーブは1回のみ可能)	ムーブのみ1回可 (ムーブ後、ハードディスクからは削除されます)

ダビング10でできること

●ダビング10

パソコンのハードディスクに録画した番組を、光ディスクに最大9回コピーすることができます。コピーするたびにコピーできる残りの回数は減っていきます。

コピーできる残り回数が0になると光ディスクへの保存はムーブ(移動)になり、パソコンのハードディスクから録画データは削除されます。

●コピーワンス

パソコンのハードディスクに録画した番組を、光ディスクに保存するとムーブ(移動)され、パソコンのハードディスクから録画データは削除されます。

テレビを見る

**さっそく、パソコンでテレビを見てみましょう。
見るだけでなく、番組表やテレビメニューなど、パソコンならではの充実した機能が楽しめます。**

※パソコンの電源を入れた直後は、Windowsの各種設定や環境チェックのためにソフトの動作が遅くなる場合があります。そのため、Windows起動後、すぐにテレビ(SmartVision)を起動したり、リモコンの【テレビ】でパソコンを起動した場合は、テレビの映像が乱れることがあります。
※テレビを快適に視聴するために、必要でないソフトはすべて終了することをおすすめします。

あなたがテレビ放送や録画物などから取り込んだ映像や音声は、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。

注意

- **映像をご覧になる際は、周囲を十分に明るくしてご使用ください。**
- **テレビを起動する前に、音量を確認し、調節してください。**

PART 2 テレビを見る

基本的な使い方

ここでは、テレビを見るための基本操作を説明します。一般のテレビと同じように、リモコンで操作できます。

テレビをつける

■ テレビ映像を表示する

1 リモコンの【テレビ】を押す

SmartVision(テレビを見るために使うソフト)が起動して、テレビが表示されます。パソコンがスリープ状態でも、【テレビ】を押すと電源が入り、テレビが見られます。

■ Windows Media Centerからテレビ(SmartVision)を起動する

Windows Media Centerを起動し「テレビ(SmartVision)」-「テレビ視聴」を選んでテレビを起動することもできます。

チェック

●VALUESTAR Lの場合は、操作の前にリモコン受信用ユニットが取り付けられていることを確認してください。

●テレビを見ているときに、テレビ映像の手前にほかのソフトのウィンドウなどが表示されることがあります。
テレビを快適に視聴するために、必要ないソフトはすべて終了することをおすすめします。

●ほかのソフトが動作している場合などは、パソコンの負荷状況によって、映像がコマ落ちしたり、操作に対する反応が遅くなったりすることがありますが、故障ではありません。

●VALUESTAR WおよびVALUESTAR Nは、休止状態や電源が切れている状態でも【テレビ】を押すと電源が入り、テレビが見られます。

●マルチユーザー環境で使用しているときは、電源が切れている状態で【テレビ】を押すと、ユーザーを選ぶ画面が表示されます。

チェック

「スタート」-「すべてのプログラム」-「SmartVision テレビを見る」をクリックして、テレビ(SmartVision)を起動することもできます。

この手順で起動したときは、マウスで使う画面が表示されます。詳しくは、PART6の「マウスで使うための画面」(p.156)をご覧ください。

なお、最初に起動したときのみ、テレビの初期設定(p.7)が必要となるため、リモコンで使う画面が表示されます(この場合でもマウスを使って設定を進めることができます)。

■ 操作パネル

テレビを見ているときにマウスを動かすと、画面に操作パネルが表示されます。
テレビの基本操作は主にリモコンでおこないますが、操作パネルを使ってマウスでも操作できます。

ポイント

- 操作パネルのボタン表示は、見ている放送やモードによって異なります。
- 操作パネルの「戻る」は、データ放送視聴時のリモコンの【戻る】と同じ動作をします(p.34)。

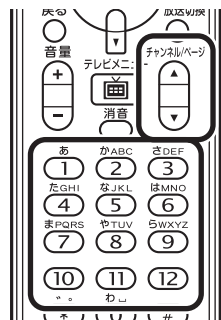
チャンネルを切り換える

チャンネルを切り換えるには、リモコンの【チャンネル/ページ】を押します。数字ボタンでもチャンネルを変更できます。

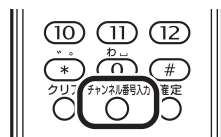
ポイント

- 番組表やテレビメニューから、見たい番組を選ぶ方法もあります。
- チャンネルがプリセットされていない数字ボタンを押してもチャンネルは切り換わりません。
- チャンネル切り換えには数秒かかります。

参照

- 番組表について→「番組表を使う」(p.36)
- テレビメニューについて→「テレビメニューを使う」(p.27)

■ チャンネル番号を入力して切り換える

リモコンで3桁のチャンネル番号を入力して、チャンネルを切り換えることもできます。

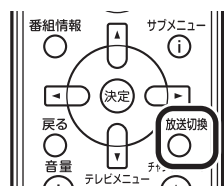
1 リモコンの【チャンネル番号入力】を押す

チャンネル番号の入力欄が表示されます。

2 数字ボタン(【1】～【9】、【0】)を使って、3桁のチャンネル番号を入力する

3 【確定】を押す

チャンネルが切り換わります。

BS/110度CS/地上デジタル放送を切り換える（BS・110度CS・地デジダブルチューナーモデルのみ）

BS/110度CS/地上デジタル放送を切り換えるには、リモコンの【放送切換】を押します。

押すごとに、次のように切り換わります。
地上デジタル→BSデジタル→110度CSデジタル→地上デジタル→…（以降繰り返し）

ポイント

テレビメニューから、放送波を切り換える方法もあります。

テレビメニューについて→「テレビメニューを使う」（p.27）

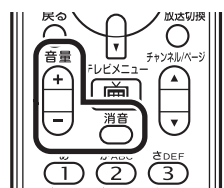
画質を調整する

画質（明るさ／コントラストなど）は、「映像調整ツール」を使って調節できます。
映像調整ツールは、「ソフト&サポートナビゲーター」-「ソフトを探す」-「50音／英数字から選ぶ」-「映像調整ツール」の「ソフトを起動」で起動できます。使い方について詳しくは、「映像調整ツール」のヘルプをご覧ください。

チェック

- 画質の調整では、設定値によって、テレビ画面が真っ白や真っ黒になったり、表示される色が不自然になる場合があります。画質調整をするときは、映像を確認しながらおこなってください。
- VALUESTAR Lでは、「映像調整ツール」で輝度を調整することができません。ディスプレイの機能で調整してください。

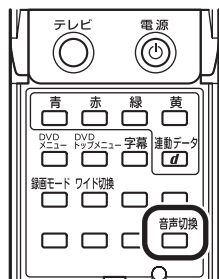
音量を調節する

音量を調節するには、リモコンの【音量】を押します。また、【消音】を押すと音量が最小になります（ミュート）。

ポイント

【消音】をもう一度押すと消音する前の音量に戻ります。

パソコンの負荷状況によっては、音量を調節すると映像が一瞬停止する場合があります。

音声を切り換える

外国映画などの音声多重放送を見るときに音声を切り換えるには、リモコンのフタを開けて【音声切換】を押します。

フタを開けた状態

【音声切換】を押すごとに、音声が順番に切り換わります。
切り換わり方は放送により異なります。

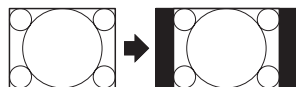
チェック

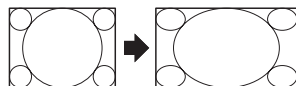
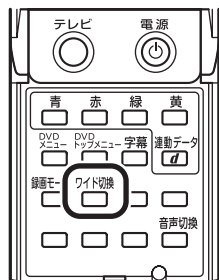
- L(左音声のみ)/R(右音声のみ)の場合は、両方のスピーカから同じ音が出ます。
- このパソコンでは、5.1chサラウンドの音声を、ステレオ2chに変更して出力しています。

全画面表示のときの画面の表示方法を変える

画面サイズが4:3の比率になっている放送で、画面の表示方法を次の3つから選べます。

表示方法	説　明
ノーマル	4:3表示の画面で表示されます。画面の左右が黒く表示されます。
ワイド(フル)	4:3表示の画面を16:9に拡大して表示します。
ズーム	縦横比を保ったまま4:3画面を16:9に拡大します。画面の上下が切れた状態で表示されます。

ノーマル

ズーム

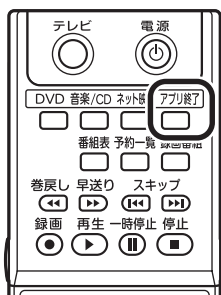
ワイド(フル)

リモコンのフタを開けて【ワイド切換】を押すと、表示が切り換わります。

フタを開けた状態

チェック

- デジタル放送では、番組の画面サイズが4:3の比率に見えても、実際には16:9の比率で放送されていることがあります。その場合は、【ワイド切換】を押したとき、「現在切り換えられません。」と表示されます。
- 画面サイズが16:9の比率になっている放送は、フルスクリーンモードでは常に正しい比率で画面いっぱいに表示されます。
- このテレビ機能を、営利目的または公衆に視聴させることを目的として喫茶店、ホテル等の公の施設に設置した場合、ズーム、ワイド表示機能を利用して、画面のフレーム表示や圧縮、引き伸ばし表示等をおこなわないでください。著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがあります。
- 全画面表示ではないとき(ウィンドウ表示のとき)、この機能は使えません。

テレビを消す

■ テレビを終了して、パソコンの画面を表示する

1 リモコンの【アプリ終了】を押す

テレビ画面が終了し、パソコンのデスクトップ画面が表示されます。

■ テレビを終了して、パソコンも終了する

2 リモコンの【電源】を押す

パソコンが終了します(ご購入時の状態では、スリープ状態になります)。

チェック

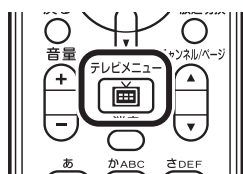
- 【電源】を押してからパソコンが終了するまでに、30秒～ 1分程度かかる場合があります。
- 録画、録画モード変換、光ディスク書き込みをおこなっているとき、【電源】を押すと画面が暗くなりますが、パソコンはすぐには終了しません。テレビ以外に動作しているソフトがなければ、録画、録画モード変換、光ディスク書き込みが完了してから、パソコンが終了します。
- 次回、リモコンの【電源】やパソコン本体、キーボードの電源スイッチを押すと、Windows Media Centerのメニュー画面が表示されます。

PART 2
テレビを見る

テレビメニューを使う

テレビメニューは、テレビ操作の入り口です。テレビを楽しむために、テレビメニューの操作に慣れておきましょう。

テレビメニューって何？

テレビメニューは、テレビ関連の機能メニューをまとめた画面です。
見たい番組を選んだり、番組表を表示したり、録画した番組を見たりなど、テレビの操作をするための入り口です。
リモコンの【テレビメニュー】を押すと表示されます。もう一度押すと、テレビメニューの背景に見えている映像の表示に戻ります。

テレビ機能がまとめられています。各放送波のチャンネル選択、番組表、録画番組、予約一覧、設定などがあります。リモコンの【矢印】の左右ボタンで動かして選びます。

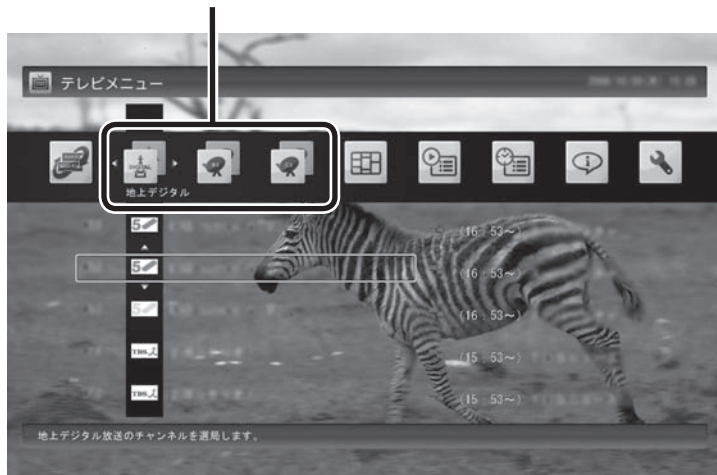
見ている番組にはテレビのマークが表示されます。また、録画している番組には赤い丸、タイムシフトモードで受信している番組には緑の三角が表示されます。

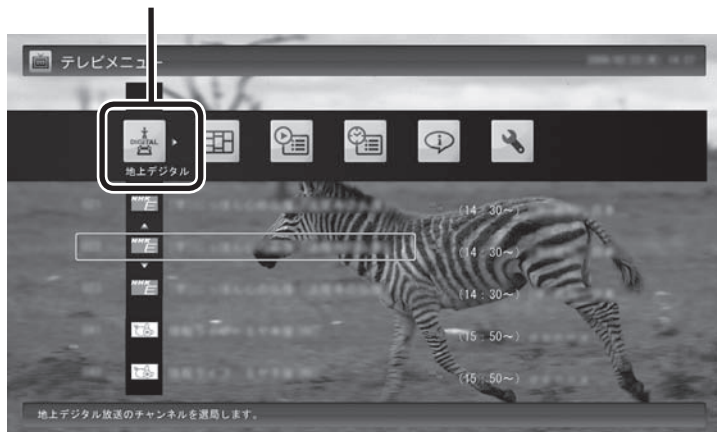
各機能の下のメニューが表示されます。リモコンの【矢印】の上下ボタンで動かし、【決定】で決定します。

■ モデルによるテレビメニューの違いについて

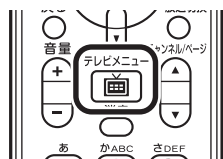
BS・110度CS・地デジダブルチューナーモデルと地デジシングルチューナーモデルでは、テレビメニューの画面が一部異なります。このマニュアルでは、特に断りのない場合はBS・110度CS・地デジダブルチューナーモデルの画面を使用しています。

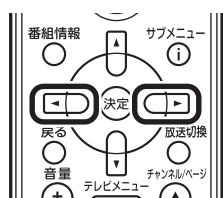
●BS・110度CS・地デジダブルチューナーモデルの場合

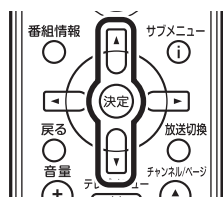
アイコンが二重に表示されます

●地デジシングルチューナーモデルの場合

アイコンが1つだけ表示されます

テレビメニューの使い方

ここでは、地上デジタル放送の番組を見る手順を例に、テレビメニューの操作を説明します。

1 リモコンの【テレビメニュー】を押す

テレビメニューが表示されます。

2 リモコンの【矢印】の左右ボタンで「地上デジタル」のアイコンを選ぶ

「地上デジタル」のアイコンの下にチャンネルが表示されます。すでに番組表が受信できていれば、番組名も表示されます。

3 リモコンの【矢印】の上下ボタンで見たい番組を選んで【決定】を押す

選んだ番組が表示されます。

チェック

- 番組表が受信されていない状態では、番組名は表示されません。
- 放送局ロゴは、ロゴが表示されていない放送局をしばらく視聴し続けていると、自動的にロゴを受信してテレビメニューや番組表に反映されます。なお、テレビメニューや番組表を表示しているときに受信した放送局ロゴは、次にテレビメニューや番組表を表示したときに反映されます。

■ レコーダを切り換える（BS・110度CS・地デジダブルチューナーモデルのみ）

テレビメニューで、「レコーダ切換」のアイコンを選び、操作するレコーダーを選んで【決定】を押し、レコーダを切り換えることができます。
たとえば、ドラマを録画しながら見ているときに野球の中継を見たくなったら、レコーダを切り換えて、チャンネルを選びなおしてください。ドラマの録画を中断せずに、野球中継を楽しむことができます。

チェック

録画モード変換しているときは、レコーダを切り換えることができません。

ポイント

リモコンの【サブメニュー】を押し、「レコーダ切換」でレコーダを選んで切り換えることもできます。

PART 2 テレビを見る

タイムシフトモードで見る

ツーアウト満塁のシーンで電話のベル！そんなときはタイムシフトモードの出番です。今見ている番組を一時停止して、用事を済ませてから続きを楽しみましょう。

タイムシフトモードについて

「タイムシフト」は、見ている番組を自動的に録画する機能です。リアルタイムで見ていた番組を、いったん録画してから再生するため、一時停止したり、巻き戻しや早送りができるのです。

チェック

同じ機能を使った「さかのぼり録画」の説明もあわせてご覧ください。

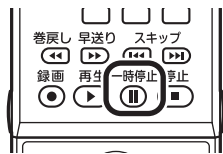
さかのぼり録画について→
地デジシングルチューナーモデル：PART3の「さかのぼり録画をする」（p.51）
BS･110度CS･地デジダブルチューナーモデル：PART4の「さかのぼり録画をする」（p.94）

タイムシフトモードに切り換える

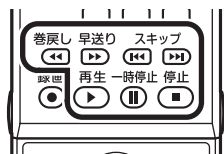
ライブモードでテレビを見ているときは、次の操作でタイムシフトモードに切り換えることができます。

ポイント

タイムシフトモードのときは、チャンネル切り換えに10秒程度の時間がかかります。

1 リモコンの【一時停止】を押す

タイムシフトモードに切り換わり、番組が一時停止します。続きをみるときは【再生】を押してください。

タイムシフトモードで見ている番組を操作する

タイムシフトモードで見ている番組は、ビデオのように操作できます。

●一時停止
【一時停止】を押します。もとに戻すときは、【再生】を押します。
一時停止できる時間は、ご購入時の状態では60分までです。

●巻き戻し
【巻戻し】を押します。再生を始めたいところで【再生】を押すか、巻き戻せる限界まで巻き戻すと、再生が始まります。
巻き戻せる時間は、ご購入時の状態では60分までです。
【巻戻し】を押すたびに、巻き戻しのスピードが4段階で早くなります※。

●早送り
【早送り】を押します。再生を始めたいところで【再生】を押すか、リアルタイムの放送に追いつくと再生が始まります。
【早送り】を押すたびに、早送りのスピードが4段階で早くなります※。リアルタイムの放送に追いつくと、【早送り】は使えなくなります。

※巻き戻し、早送りの速度表示は目安としてご利用ください。

●スキップ
【スキップ】を押します。30秒前または後の映像から再生します。

●スロー再生
一時停止した状態で【早送り】または【巻戻し】を押すと、前後方向にスロー再生をおこないます。

参照

一時停止や巻き戻しできる時間の変更について→オンラインヘルプ(p.158)の「設定」-「録画/再生/予約」-「録画/タイムシフト」

チェック

●巻き戻せるのは、今までタイムシフトモードで視聴していた番組だけです。

●巻き戻せるのは、タイムシフトモードに切り換えた時点までです。

●タイムシフトモードのとき、リモコンの【停止】を押すとライブモードに切り換わります。

タイムシフトモードを終了する

1 リモコンの【停止】を押す

タイムシフトモードが終了し、ライブモードに戻ります。

PART 2 テレビを見る

データ放送を見る

データ放送で、最新のニュースや天気予報など、多彩な情報を手に入れましょう。双方向サービスもあります。

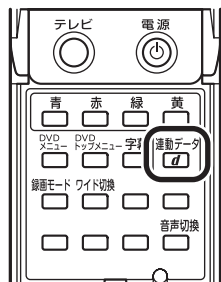
データ放送って何？

データ放送は、文字や画像で、いろいろな情報を表示する番組です。テレビ放送に関連した内容を表示する「番組連動データ放送」などがあります。
データ放送では、通信回線を使ってクイズやアンケートに参加できたり、オンラインショッピングができる双方向サービスも利用できます。

ポイント

表示されるフォントは日本電気(株)のフォント「FontAvenue」を使用しています。

データ放送を表示する

1 リモコンのフタを開けて、【連動データ】を押す

フタを開けた状態

データ放送の画面が表示されます。

チェック

- ●タイムシフトモード、録画済み番組では、双方向サービスを利用できません。
- ●データ放送の画面が表示されるまでに、しばらく時間がかかる場合があります。
- ●双方向サービスを利用する場合は、インターネット接続が必要です。『準備と設定』をご覧になり、設定をしてください。
- ●BS･110度CS･地デジダブルチューナーモデルでは、BSデジタル放送や110度CSデジタル放送の一部の番組で提供されている電話回線を使った双方向サービスがご利用になれません(モデム機能を搭載していないため)。

参照

ライブモードに切り換える→
地デジシングルチューナーモデル：PART3の「タイムシフトモードにする」(p.52)
BS･110度CS･地デジダブルチューナーモデル：PART4の「タイムシフトモードにする」(p.95)

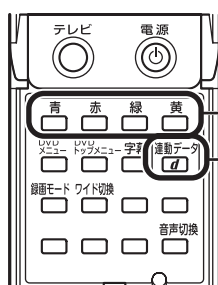
ポイント

番組によっては、【連動データ】を押さなくてもデータ放送が表示されることがあります。このデータ放送を「独立データ放送」といいます。

データ放送の操作

データ放送は、リモコン、キーボードで操作できます。
それぞれ、次のように操作します。

フタを開けた状態

- ●データ放送の画面を直接マウスでクリックして操作することはできません。
- ●リモコンを「データ放送固定モード」にしないと操作できない場合があります。必要に応じて、リモコンの【サブメニュー】を押し、リモコン設定を「自動切換モード」から「データ放送固定モード」に変更してください。
- ●番組によっては、【連動データ】を押さなくてもデータ放送が表示されることがあります。
- ●数字の入力方法は、番組により異なることがあります。キーボードから数字を入力できない場合は、画面の示す方法で入力してください。

キーボード	操作の内容
【D】※	データ放送画面を表示します。
【↑】【↓】【←】【→】	データ放送画面の項目を移動します。
【Enter】	選んだ項目を決定します。
【BackSpace】	ひとつ前の画面に戻ります。
【B】※	データ放送画面の、それぞれの色の項目(ボタン)を選びます。 【B】: 青 【R】: 赤 【G】: 緑 【Y】: 黄
【R】※	
【G】※	
【Y】※	
【0】〜【9】※	数字を入力します。

※マウスで使うための画面(p.156)でのみ使用可。

■ 文字を入力する

データ放送では文字入力が必要な場合があります。画面の指示にしたがって操作すると、文字列をキー入力できるようになります。文字を入力するときは、マウスで使うための画面に切り換えてください。

1 キーボードから文字を入力し、「OK」をクリック

参照

マウスで使うための画面を表示する→PART6の「マウスで使うための画面」(p.156)

データ放送を見るときの注意

- 録画した番組の再生、またはタイムシフトモードでデータ放送番組を見る場合、データ放送の一部の操作ができません(通信回線を使用したデータの送受信(双方向サービス)や、受信機へのデータの保存など)。これらの機能は、ライブモードでご利用ください。
- データ放送の番組は、チャンネルを切り換えてすぐに表示されないことがあります。
- お使いのセキュリティソフトによっては、データ放送の双方向サービス(データの送受信)ができない場合があります。セキュリティソフトのマニュアルをご覧になって設定を変更してください。その際、「C: ￥Program Files ￥NEC ￥SmartVision ￥DtnCtl.exe」にアクセス権を設定してください。
- データ放送を受信する設定にしていると、映像が乱れる(コマ落ちが発生する)ことがあります。
  映像を優先するときは、リモコンの【サブメニュー】を押し、表示されたメニューで「データ放送」の「無効」を選んで【決定】を押してください。
- ダイレクト以外の録画モード(ファイン、ファインロング、ロング)で録画した番組は、再生するときデータ放送を視聴することができません。
- 録画番組の再生で、一時停止、早送り、巻き戻しなどをおこなっているときは、データ放送を見ることができません。

参照

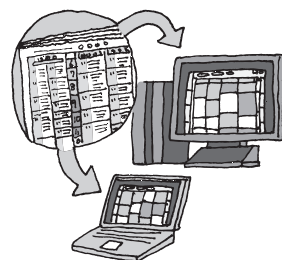
タイムシフトモード、ライブモードについて→
地デジシングルチューナーモデル:PART3の「タイムシフトモードにする」(p.52)
BS･110度CS･地デジダブルチューナーモデル:PART4の「タイムシフトモードにする」(p.95)

PART 2 テレビを見る

番組表を使う

自動的に更新される新聞のテレビ欄のような番組表を使うことができます。

画面で見る番組表

「今日はどんな番組があるのかな？」と思ったとき、何を見ますか？
新聞やテレビ情報誌？
新聞や雑誌が手元になくても、パソコンの画面で番組表が見られます。画面で見る番組表から、見たい番組を選んだり、録画の予約ができます。
番組表は、テレビの電波で更新できます。
番組表は最大8日分が表示されるので、番組のチェックにも最適です。

番組表を受信する

番組表は、テレビの電波から受信することができます。
テレビ初期設定をおこなったときに、番組表を受信する時刻は自動的に設定されていて、設定された時刻になると番組表が自動的に受信されます。

■ 番組表の受信に関する注意

番組表の受信には、レコーダ（チューナー）を使用します。このため、地デジシングルチューナーモデルとBS･110度CS･地デジダブルチューナーモデルでは、一部動作が異なります。

- 地デジシングルチューナーモデルでは、テレビを見ているときや録画しているときは、番組表が自動的に受信されません。
- BS･110度CS･地デジダブルチューナーモデルでは、テレビを見ながら別の番組を録画したり、ダブル録画しているなど、レコーダを2つ使用しているときは、番組表が自動的に受信されません。
- 地デジシングルチューナーモデルでは、番組表を受信中にテレビを起動すると、番組表の受信が中止されます。
- 番組表の受信時刻にパソコンが省電力状態や電源が切れている状態であっても、自動的にパソコンが起動して番組表を受信します。
- BS･110度CS･地デジダブルチューナーモデルは、ご購入時の状態では、110度CSデジタル放送の番組表を自動で受信しない設定となっています。自動受信が必要な場合には、設定を変更してください。

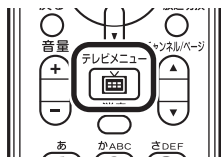
ポイント

- ご購入時の状態では、番組表は1日1回、7時から19時の間に受信する設定になっています。録画予約などと重ならないよう、自動的に受信の時刻が設定されます。
- 番組表をすぐ受信することもできます。「手動で番組表を受信するには」（p.42）をご覧ください。

参照

番組表の自動受信の設定について
→このPARTの「番組表の受信時刻を変更する」（p.40）

番組表を見る

1 リモコンの【テレビメニュー】を押す

テレビメニューが表示されます。

2 「番組表」を選び、番組表を見たい放送波を選んで【決定】を押す

番組表の画面が表示されます。

ご購入直後など、番組表のデータがないときは、ここで番組表を受信(取得)するかどうか確認するメッセージが表示されます。必要に応じて、「手動で番組表を受信するには」(p.42)をご覧いただき、番組表を手動で受信してください。
なお、テレビ初期設定をおこなったときに番組表を受信する時刻が設定されているため、手動で受信操作をしなくても、設定された時刻になると番組表は自動的に受信されます。

リモコンの【番組表】を押しても、番組表の画面を表示できます。

■ 番組表の使い方

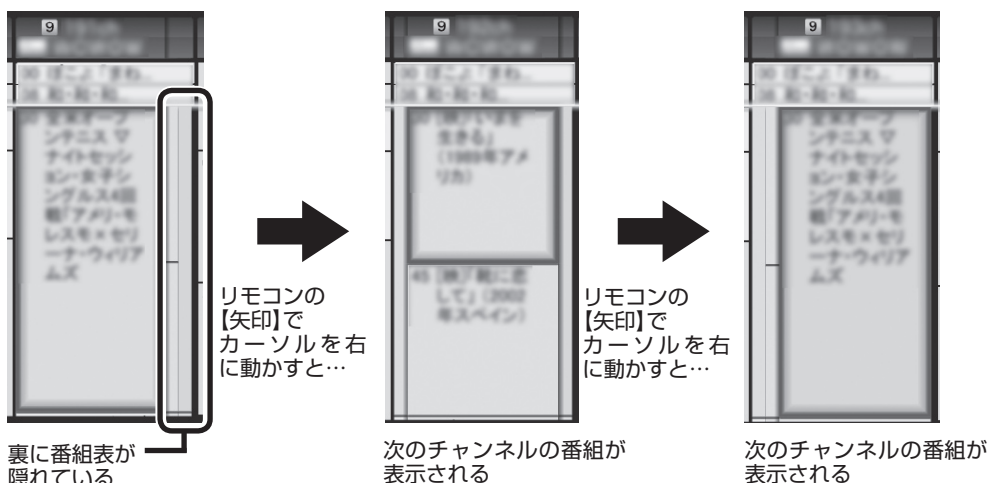
Ⓐ日付
リモコンの【⇠】【⇢】を押して日付を移動すると、その日の番組表が表示されます。

Ⓑ番組表チャンネル
チャンネルと放送局が表示されます。

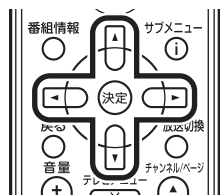
Ⓒ番組表
現在の時刻が青い横線で表示されます。番組はジャンル別に色分けされています。番組を選ぶと、「番組情報」欄に情報が表示されます。番組を選んで【決定】を押すと、選んだ番組を予約(または視聴)する画面に移ります。

Ⓓプレビュー領域
選局中の番組が表示されます。
リモコンの【戻る】を押すと、ここに表示されている番組が全画面表示されます。

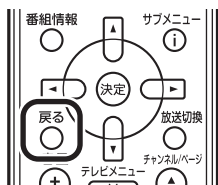
Ⓔ番組情報
番組表で選んだ番組の情報が表示されます。
リモコンの【番組情報】を押すと、詳しい情報が表示されます。

デジタル放送で、同じ放送局のチャンネル(たとえば051ch、052ch、053ch)ですべて同じ番組を放送しているときは、番組表では各放送局につき1つのチャンネルだけを表示します。
別の番組を放送しているときは、次のように番組を重ねて表示します。カーソルを動かすと、裏に隠れていたチャンネルの番組が表示されます。

■ 番組表から見たい番組を選ぶ

番組表の画面で、現在時刻には青い横線が表示されています。
見たい番組を選んで【決定】を押すと表示される番組を予約する画面で、「視聴する」を選ぶと番組が表示されます。

録画予約について詳しくは
地デジシングルチューナーモデルの場合:PART3の「おてがる予約をする(番組表で予約する)」(p.55)
BS・110度CS・地デジダブルチューナーモデルの場合:PART4の「おてがる予約をする(番組表で予約する)」(p.98)
をご覧ください。

BS・110度CS・地デジダブルチューナーモデルで、別の放送波の番組表に切り換えるときは、【テレビメニュー】を押してテレビメニューから選んでください。

■ テレビを見る画面に戻る

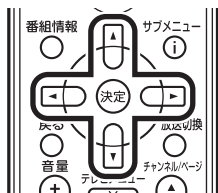
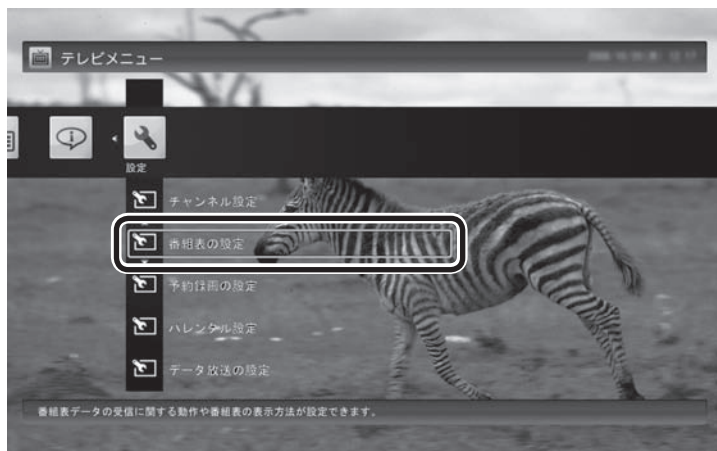
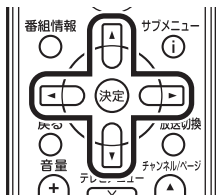
番組表からテレビを見る画面に戻るには、リモコンの【戻る】を押します。

テレビを見る画面が表示されます。

番組表の受信時刻を変更する

テレビ初期設定をおこなったときに自動で設定されている番組表受信時刻を変更したい場合は、次の手順で操作します。

1 リモコンの【テレビメニュー】を押す

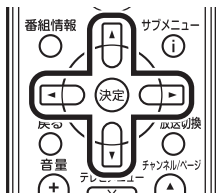
テレビメニューが表示されます。

2 「設定」の「番組表の設定」を選んで【決定】を押す

BS・110度CS・地デジダブルチューナーモデルは、番組の視聴や録画に使用するレコーダ(チューナー)を2つ搭載しています。番組表の受信は、視聴や録画に使われていないレコーダ(チューナー)を使って自動的におこなわれます。このため、特に受信時刻を設定する必要はありません。

3 「番組表受信時刻の設定」を選んで【決定】を押す

「番組表受信時刻の設定」画面が表示され、設定できます。

●受信時刻と動作
「-」にするとその時刻は番組表を受信しません。
「受信」にするとその時刻は番組表を受信します。
「自動」にすると、その日に一度も番組表を受信していない場合に番組表を受信します。

●受信する番組表
BS・110度CS・地デジダブルチューナーモデルで、どの放送波の番組表を受信するかを選択します。

4 設定を変更したら「終了」を選んで【決定】を押す

BS・110度CS・地デジダブルチューナーモデルは、ご購入時の状態では、110度CSデジタル放送の番組表を自動で受信しない設定となっています。自動受信が必要な場合には、「受信する番組表」の「CS」を「受信」に変更してください。

■ 番組表の受信時刻を設定するときの注意

番組表の受信には、レコーダ(チューナー)を使用します。このため、地デジシングルチューナーモデルとBS・110度CS・地デジダブルチューナーモデルでは、一部動作が異なります。

●地デジシングルチューナーモデルでは、テレビを見ているときや録画しているときは、番組表が自動的に受信されません。
●BS・110度CS・地デジダブルチューナーモデルでは、テレビを見ながら別の番組を録画したり、ダブル録画しているなど、レコーダを2つ使用しているときは、番組表が自動的に受信されません。
●地デジシングルチューナーモデルでは、番組表を受信中にテレビを起動すると、番組表の受信が中止されます。
●番組表の受信時刻にパソコンが省電力状態や電源が切れている状態であっても、自動的にパソコンが起動して番組表を受信します。

手動で番組表を受信するには

番組表は、放送波ごとに手動で受信(取得)することができます。

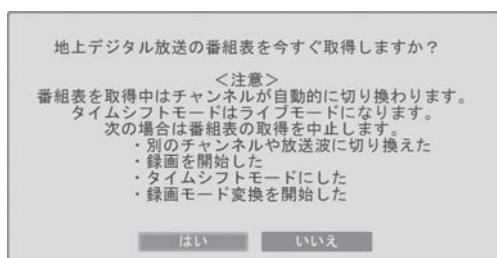
1 「番組表を見る」(p.37)の手順1 ～ 2の操作をおこない、受信したい放送波の番組表を表示させる

ご購入後にはじめて番組表を受信するときなど、番組表のデータがない場合は、ここで番組表の受信(取得)を確認するメッセージが表示されます。そのまま手順3に進んでください。

2 リモコンの【サブメニュー】を押し、表示されたメニューから「番組表の取得」を選んで【決定】を押す

番組表の受信(取得)を確認するメッセージが表示されます。

地上デジタル放送の場合

地上デジタル放送の番組表を今すぐ取得しますか？
<注意>
番組表を取得中はチャンネルが自動的に切り換わります。
タイムシフトモードはライブモードになります。
次の場合は番組表の取得を中止します。
・別のチャンネルや放送波に切り換えた
・録画を開始した
・タイムシフトモードにした
・録画モード変換を開始した
はい　いいえ

3 「はい」を選んで【決定】を押す

番組表の受信が始まります。
受信が完了すると、「番組表を取得しました」というメッセージが表示されます。

4 「閉じる」を選んで【決定】を押す

受信された番組表が表示されます。

番組表をインターネットから取得することもできます。詳しくはPART6の「G-GUIDE for Windowsで予約する」(p.168)をご覧ください。

■ 番組表の受信について

番組表を受信するには、パソコンのレコーダ(チューナー)を1つ使用します。そのため、番組表の受信中は次のことに注意してください。

●地デジシングルチューナーモデルの場合

次の場合は、番組表の受信ができません。

・録画をしているとき

番組表を受信中は、次の動作をします。

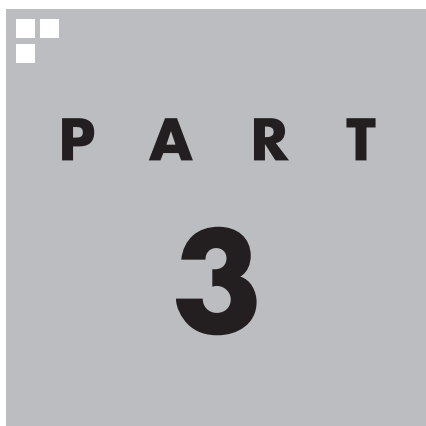
・タイムシフトモードで番組を見ていた場合は、ライブモードに切り換わります
・チャンネルが自動的に切り換わります
・番組表受信の経過が表示されます

番組表の受信中に次の操作をおこなうと、番組表の受信が中断されます。

・チャンネルを切り換えたとき
・録画を開始したとき
・タイムシフトモードに変更したとき

●BS・110度CS・地デジダブルチューナーモデルの場合

番組表受信に使用していないレコーダは通常と同じように使用できます。

次の場合は、番組表の受信ができません。

・2つの番組を同時に録画をしているとき

番組表を受信中は、次の動作をします。

・番組表の受信をするレコーダがタイムシフトモードだった場合は、ライブモードに切り換わります
・番組表の受信をするレコーダのチャンネルが自動的に切り換わります
・番組表受信の経過が表示されます

番組表の受信中に次の操作をおこなうと、番組表の受信が中断されます。

・番組表の受信をするレコーダのチャンネルを切り換えたとき
・番組表の受信をするレコーダで録画を開始したとき
・番組表の受信をするレコーダをタイムシフトモードに変更したとき

録画・予約・再生する
（地デジシングルチューナーモデル）

パソコンをハードディスクレコーダとして使ってみましょう。今見ている番組はもちろん、番組表を使って予約した番組を、パソコンのハードディスクに録画できます。
録画された番組は番組名の一覧から選んで再生できます。だから「見たい番組がどこにあるのかわからない」なんてことにはなりません。
また、見ている番組をビデオのように巻き戻す「さかのぼり録画」や、途中まで録画された放映中の番組をはじめから再生する「追っかけ再生」といった便利な機能も使ってみましょう。

参照

「BS･110度CS･地デジダブルチューナーモデル」の録画･予約･再生の操作について
→「PART4　録画･予約･再生する（BS･110度CS･地デジダブルチューナーモデル）」（p.87）

あなたがテレビ放送や録画物などから取り込んだ映像や音声は、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。

PART 3
録画・予約・再生する

録画について

番組を録画する前に、知っておいていただきたいことを説明します。

録画するときの注意

録画をするときは、次のことに注意してください。

●録画には、多くのハードディスク容量が必要になります。ハードディスクの空き容量に注意してください。録画中にテレビの画面でリモコンの【番組情報】を押すと、録画可能時間が表示されます。

●録画中や再生中にエラーが発生した場合は、パソコンを再起動してください。

●ひんぱんに録画する場合(週10時間以上)は、ハードディスクへの書き込みを効率的にするために、週一度程度を目安にディスクデフラグを実行してください。ディスクデフラグは「スタート」-「すべてのプログラム」-「アクセサリ」-「システムツール」-「ディスクデフラグツール」で実行します。

●録画中にパソコンのシャットダウンなどをおこなうと、そのとき録画していた番組は視聴できない(録画データが正常に作成されない)ことがあります。

●録画予約をするときは必ず電源コードを接続しておいてください。

●「録画可能時間」は目安としてご利用ください。録画中や録画の予約を設定した後にパソコンのハードディスクの空き容量が増減する(ほかのソフトでデータを保存した場合など)と、実際に録画できる時間が「録画可能時間」で表示された時間と一致しなくなることがあります。

●録画した番組はこまめにDVDなどに保存したり、不要な番組を削除したりして、ハードディスク容量が不足しないようにしてください。

●テレビ番組を録画中は、ブルーレイディスクを再生しないでください。再生およびテレビ番組の録画が正しく動作しない場合があります。

●録画できない番組がある
一部の番組は、視聴はできますが録画はできません。また、番組によっては録画するために番組購入が必要な場合があります。
番組が録画できるかどうかは、「番組表」画面の「番組情報」欄で確認できます。

●録画した番組は市販のソフトでは編集できない
このパソコンで録画した番組は、市販の動画編集ソフトで編集することはできません。

●ほかのソフトでは再生できない
このパソコンで録画したデジタル放送の番組は、このパソコンのSmartVisionでのみ再生できます。ほかの動画再生ソフトでは再生できません。

チェック

●システムの状態によっては、映像が乱れることがあります。

●ディスクデフラグには時間がかかります。十分な時間が取れるときに実行してください。

参照

映像が乱れるときの対処について
→PART7の「映像が乱れる(コマ落ちする)」(p.180)

参照

番組のDVDなどへの保存について
→「PART5 録画番組をDVDなどに保存する」(p.133)

ただし、DVDなどに保存することで、対応したソフトやプレーヤで再生できます。DVDなどに保存する場合は、必要に応じて自動で録画モード変換されます。
●短時間(1 ～ 3秒程度)だけ録画した番組は正しく再生できません。再生しても映像が表示されず、画面は黒いままとなります。
●ほかのパソコンでは再生できない
このパソコンで録画した番組は、このパソコンでのみ再生できます。別のパソコンでは再生できません。

■ 録画モードについて

このパソコンでは、次のような録画モードで番組を録画することができます。

録画モード	録画時間と画質	解像度	データ放送の記録	用途と特徴
ダイレクト	高画質	ハイビジョン(HD)※	○	放送されたままの画質で番組を録画するモードです。4つの録画モード中、録画できる時間がいちばん短くなりますが、画質にこだわりたい番組を録画するのに適しています。
ファイン		ハイビジョン(HD)※	×	録画できる時間と画質のバランスが取れたモードです。「ダイレクトモード」に近い画質で、「ダイレクトモード」と比較して、地上デジタル放送が約2倍、録画できます。「ファインロングモード」、「ロングモード」と比較すると、映像の動きが速い番組の録画に適しています。
ファインロング		ハイビジョン(HD)※	×	ハイビジョン解像度でありながら、長い時間録画できるモードです。「ファインモード」より若干画質が低下しますが、「ダイレクトモード」と比較して、地上デジタル放送が約4倍、録画できます。録画には、映像の動きがゆっくりした番組が適しています。
ロング	長時間	標準(SD)	×	4つの録画モード中、録画できる時間がいちばん長いモードです。標準解像度になってしまいますが、「ダイレクトモード」と比較して、地上デジタル放送が約8倍、録画できます。とにかくたくさんの番組を録画したいという場合におすすめです。

※標準(SD)で放送された番組を録画した場合、標準(SD)となります。

●「ダイレクト」に関するご注意
データ放送は録画時点のものです。内容によっては再生時には利用できない場合があります(天気予報など)。
●「ダイレクト」以外の録画モードに関するご注意
データのサイズを小さくするため、「ファインロング」と「ロング」では放送されている音声のうち1つだけ録画できます。

録画モードについて→付録の「録画モードについて」(p.204)

■ 録画に必要なハードディスク容量について

録画するとき、録画モードや番組の種類によって録画に必要なハードディスクの容量が異なります。録画に必要なハードディスク容量の目安は次のとおりです。

録画モード	放送の種類	1時間の録画に必要なハードディスク容量
ダイレクト	地上デジタル ハイビジョンテレビ(HD)	約7.2Gバイト
	地上デジタル 標準テレビ(SD)	約3.4Gバイト
ファイン	地上デジタル ハイビジョンテレビ(HD)	約3.4Gバイト
ファインロング	地上デジタル ハイビジョンテレビ(HD)	約1.7Gバイト
ロング	地上デジタル ハイビジョンテレビ(HD)	約860Mバイト

ポイント

デジタル放送の録画時に画面に表示される「録画可能時間」は、この表を基準に算出したものです。録画データの保存先として設定されているドライブの空き容量から、録画を停止する空き容量(SmartVisionで設定した容量。ご購入時は300Mバイトに設定されています)を引いたサイズを目安に算出しています。「録画可能時間」は目安の時間であり、録画する番組によっては実際の録画時間と一致しないことがあります。

録画を中断する条件

録画中に次のような状態になると、録画は自動的に終了します。

- ●録画を停止する空きサイズ(ご購入時では300Mバイト)とタイムシフトで使用する容量を足した容量よりハードディスクの残り容量が少なくなったとき
- ●ハードディスクへの書き込み時にエラーが起きたとき
- ●放送休止状態になったとき
- ●番組の受信ができなくなったとき
- ●番組が、録画不可属性になったとき
- ●受信状態が不安定なとき

参照

ハードディスクの残り容量について→オンラインヘルプ(p.158)の「設定」-「録画／再生／予約」-「録画／タイムシフト」の「録画を停止する空き容量サイズ」

PART 3
録画・予約・再生する

今見ている番組を録画する

ビデオと同じように、見ている番組をすぐに録画できます。

1 リモコンの【録画】を押す

録画が始まり、画面に「録画を開始しました。」と表示されます。
録画した番組は、ご購入時の状態では、Dドライブに保存されます。

2 録画をやめたいところで【停止】を押す

これで録画ができました。録画した番組を見る方法は、このPARTの「録画した番組を再生する」(p.69)をご覧ください。

参照

テレビを見る→PART2の「基本的な使い方」(p.22)

チェック

- 「コピー不可」の信号が含まれた映像は録画できません。信号が検出されると、自動的に録画は終了します。
- リモコンの【録画】を押しての録画より、あらかじめおこなわれた予約録画が優先されます。予約5分前に確認のメッセージが表示されます。

ポイント

- 【録画】を押してから、実際に録画が始まるまで、少しの間があります。「さかのぼり録画」(p.51)で巻き戻してから録画をするほうが確実です。
- 録画中の番組を巻き戻して再生することもできます(p.74)。

■ 録画する番組の録画モードを変更する

リモコンのフタを開けて【録画モード】を押すと、録画の録画モードを変更することができます。録画モードを変更したいときは、録画する前に変更してください。

フタを開けた状態

チェック

- この方法で録画するときは、録画中に【番組情報】を押しても「録画モード」に地上デジタル放送の種別を表す(HD)や(SD)が表示されません。
  録画終了後の録画番組一覧で確認してください。
- タイムシフトモードで視聴している番組を録画するときは、録画モードが変更できません。

ポイント

【録画モード】を連続して押すと、録画モードを次のように設定できます。
ダイレクト→ファイン→ファインロング→ロング→ダイレクト･･･(以降繰り返し)

録画モードについて→付録の「録画モードについて」(p.204)

■ 録画時間を設定する

【録画】を連続して押すと、録画時間を次のように設定できます。
無期限→番組終了まで→15分後→30分後→60分後→90分後→120分後→無期限･･･(以降繰り返し)。
また、録画時間を設定した状態でSmartVisionを終了させ、【電源】を押すと、画面が消えて録画を継続します(VALUESTAR Lで、リモコンの【電源】を押した場合を除く)。録画が終了すると、パソコンはスリープ状態になります。外出や就寝するときに便利な機能です。

ポイント

録画時間の「番組終了まで」を設定するためには、番組表が受信されている必要があります。

PART 3
録画・予約・再生する

さかのぼり録画をする

うっかり見逃してしまった決定的なシーン、ドラマの山場で突然の電話、そんなときは「さかのぼり録画」で解決。

さかのぼり録画って何？

テレビを見ていて、「サッカーのゴールシーンを見逃しちゃった！」「あ、この番組録画しておけばよかった！」なんて経験はありませんか？
でも、もう大丈夫。「タイムシフトモード」なら、今見ている番組を一時停止したり、時間をさかのぼって録画できます。

チェック

- さかのぼり録画や、見ている番組の一時停止をするには、あらかじめ「タイムシフトモード」にしておく必要があります。
- 「タイムシフトモード」で見ていなかった番組については、さかのぼれません。
- さかのぼれる時間は、1分～ 90分の間で設定できます（ご購入時の設定では60分です）。

■ さかのぼり録画のしくみ

さかのぼり録画や、見ている番組の一時停止は「タイムシフト」という機能でおこなっています。
「タイムシフト」とは、見ている番組を、パソコンが自動的に録画し続ける機能です。今まで、リアルタイムで見ていた番組も、実はいったん録画してから再生しているので、一時停止やさかのぼりができるのです。
自動的に録画したデータは、設定した時間を過ぎた分から順に削除されていきます。また、テレビを終了するとすべて削除されるので、ハードディスクも無駄になりません。

録画・予約・再生する（地デジシングルチューナーモデル）

タイムシフトモードにする

さかのぼり録画をするために、「タイムシフトモード」にします。ご購入時には、「ライブモード」になっています。

1 【サブメニュー】を押す

2 「テレビ(ライブ)」-「タイムシフト」を選んで【決定】を押す

画面が暗くなって、「タイムシフトモード」に切り換わります。

「ライブモード」に戻すときは、「ライブ」を選んでください。

チェック

- 「コピー不可」の信号が含まれている映像の場合、タイムシフトモードに切り換えることはできません。信号が検出されると自動的にライブモードに切り換わります。
- タイムシフトモードでは画質(録画モード)が変更できません。

ポイント

- リモコンの【一時停止】を押してタイムシフトモードにすることもできます。このときは、テレビの映像が一時停止します。視聴を続けるときは【再生】を押してください。
- タイムシフトモードのとき、リモコンの【停止】を押してライブモードにすることもできます。
- タイムシフトモードとライブモードには、それぞれ次の特徴があります。
  - ・タイムシフトモード:
    視聴中の番組を一時停止したり、巻き戻したり、さかのぼり録画をしたりできます。
  - ・ライブモード:
    さかのぼり録画などの特別な操作はできませんが、パソコンにかかる負担が小さくなります。
- タイムシフトモードの画質(録画モード)は「ダイレクト」です。
- タイムシフトモードのときは、チャンネル切り換えに10秒程度の時間がかかります。

見ている番組を操作する

「タイムシフトモード」で見ている番組は、ビデオのように操作できます。

●一時停止
【一時停止】を押します。もとに戻すときは、【再生】を押します。
一時停止できる時間は、ご購入時の状態では60分までです。

●巻き戻し
【巻戻し】を押します。再生を始めたいところで【再生】を押すか、巻き戻せる限界まで巻き戻すと、再生が始まります。
巻き戻せる時間は、ご購入時の状態では60分までです。
【巻戻し】を押すたびに、巻き戻しのスピードが4段階で早くなります※。

●早送り
【早送り】を押します。再生を始めたいところで【再生】を押すか、リアルタイムの放送に追いつくと再生が始まります。
【早送り】を押すたびに、早送りのスピードが4段階で早くなります※。リアルタイムの放送に追いつくと、【早送り】は使えなくなります。

※巻き戻し、早送りの速度表示は目安としてご利用ください。

●スキップ
【スキップ】を押します。約30秒前または後の映像から再生します。

●スロー再生
一時停止した状態で【早送り】または【巻戻し】を押すと、前後方向にスロー再生をおこないます。

参照

一時停止や巻き戻しできる時間の変更について→オンラインヘルプ(p.158)の「設定」-「録画/再生/予約」-「録画/タイムシフト」

チェック

- ●巻き戻せるのは、今までタイムシフトモードで視聴していた番組だけです。
- ●巻き戻せるのは、タイムシフトモードに切り換えた時点までです。
- ●タイムシフトモードのとき、リモコンの【停止】を押すとライブモードに切り換わります。

さかのぼり録画をする

実際にさかのぼり録画をしてみましょう。

1 リモコンの【巻戻し】を押す

リアルタイムからどのくらい巻き戻しているかが画面に表示されます。

ポイント

巻き戻し中にリアルタイムで放送されているシーンも、カットされないので見逃しはありません。

チェック

さかのぼり録画の画質(録画モード)は「ダイレクト」です。変更はできません。

2 録画を始めたいところより前まで戻ったら、【再生】を押す

3 録画を開始したい場面で、【録画】を押す

4 リアルタイムに追いつきたいときは、【早送り】を押す

5 録画を終了するときは、【停止】を押す

録画を終了するときは、手順4の方法でリアルタイムに追いついてから停止することをおすすめします。

ポイント

【録画】を押してから、実際に録画が開始されるまで、少しの間があるので、録画したいシーンよりも少し前から録画を始めることをおすすめします。

チェック

さかのぼり録画をする場合、それまでハードディスクに書き込まれていた番組が録画保存されます。このときリアルタイムに受信している番組のハードディスクへの書き込みも同時におこなわれています。そのため、5分巻き戻して録画開始し、30分後に録画を停止させた場合、計35分の録画ファイルが保存されます。ハードディスクの空き容量にご注意ください。

ポイント

【録画】を連続して押すと、録画時間を次のように設定できます。
無期限→番組終了まで(番組表を受信している必要があります)→15分後→30分後→60分後→90分後→120分後→無期限…（以降繰り返し）

PART 3 録画・予約・再生する

おてがる予約をする(番組表で予約する)

パソコンをハードディスクレコーダとして使ってみましょう。テレビの見方が変わります。

おてがる予約って何?

パソコンでテレビを見る楽しみの1つが、録画です。パソコンでの番組録画は、ハードディスクレコーダと同じ。パソコンのハードディスク内に録画するから、山のようなビデオテープが邪魔になることはありません。
「おてがる予約」は、新聞のテレビ欄のような番組表から番組を選んで予約する方法です。お気に入りのシリーズものの番組を毎週録画するように設定することもできます。気になる番組をどんどん録画して好きな時間に見る。そんな新しいテレビの見方が始まります。

■ まだある、ほかの予約方法

ここでは、もっとも基本的な、番組表で予約する方法を説明します。
まずは、このやり方をおすすめしますが、慣れてきたら、こんな予約の方法はどうでしょう?

●番組検索で、まとめて予約
番組表では、番組のジャンルやキーワードから番組を検索できます。そこで、見たいジャンルやタレントの名前などから番組を検索して、まとめて予約してしまうと便利。番組表は最大8日分表示されるので、1週間に一度の予約で間に合うかも?

チェック

表示される番組表の日数は、地域によって異なります。

参照

●番組表について→PART2の「番組表を使う」(p.36)
●番組を検索して予約する方法→このPARTの「番組を検索して予約する」(p.63)

●条件にあわせて自動で録画
このパソコンには、設定したキーワードなどの条件に合った番組を自動的に録画する「おまかせ録画」機能や、新番組のドラマやアニメを自動的に録画する「新番組自動録画」機能があります。これらの機能を利用すれば、今まで気づかなかった番組を見つけられるかもしれません。

参照

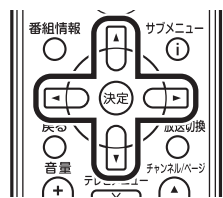
●おまかせ録画について→このPARTの「おまかせ録画をする」(p.76)
●新番組自動録画について→このPARTの「新番組おまかせ録画をする(新番組自動録画)」(p.83)

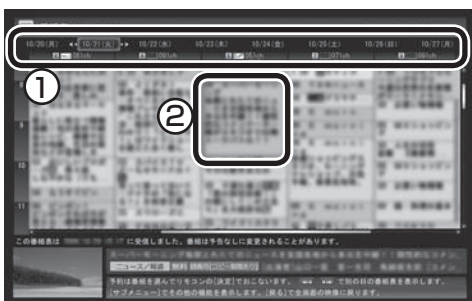
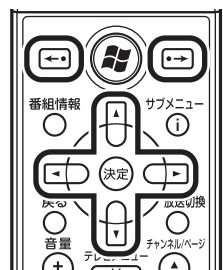
おてがる予約をする

番組表から録画の予約をしてみましょう。

1 リモコンの【テレビメニュー】を押す

テレビメニューが表示されます。

2 「番組表」を選んで【決定】を押す

番組表が表示されます。

3 予約する番組を決める

① リモコンの【⇐】【⇒】で日付を選ぶ

② 予約したい番組を選んで【決定】を押す

番組を予約する画面が表示されます。

予約を始める前に、パソコンの時計を合わせておいてください。時計がずれていると、録画時間などがずれてしまいます。
パソコンの時計は、デジタル放送を受信していると自動的に修正されます。

番組表について→PART2の「番組表を使う」(p.36)

チェック

●放送中の番組を選んで【決定】を押したときは、「予約する」と並んで「視聴する」と表示されます。「視聴する」を選んで【決定】を押すと、その番組を見ることができます。録画はされません。

●番組の残り時間が5分未満の場合は、予約する画面は表示されずに、その番組が表示されます。

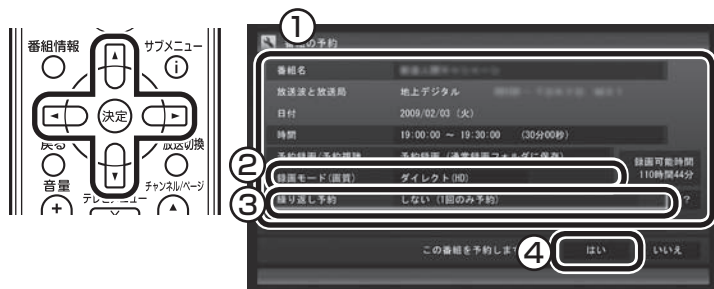
4 予約内容を設定する

① 番組の情報を確認する

② 「録画モード」を選ぶ
「録画モード」を選んで【決定】を押し、表示された一覧から録画モードを選んでもう一度【決定】を押してください。

③ 「繰り返し予約」を設定する
「繰り返し予約」を選んで【決定】を押し、表示された一覧から繰り返し予約の種類を選んでもう一度【決定】を押してください。

- 「しない(1回のみ予約)」
  番組表で選んだ番組のみを録画します。通常はこちらを選んでください。
- 「する(毎回予約)」
  シリーズものの番組を続けて録画します(次回以降の放送も自動的に録画)。
- 「する(時間指定で予約)」
  予約した放送局の、同じ曜日・同じ時間帯の番組を繰り返し録画します。
  「詳細設定」で、録画する曜日を追加設定することもできます。

④ 「はい」を選んで【決定】を押す

「番組の予約」画面が閉じ、「予約しました」というメッセージが表示されます。

参照

録画モードの用途と特徴について→このPARTの「録画について」(p.46)

チェック

- 「繰り返し予約」を「する(毎回予約)」に設定したとき、番組を予約する画面で設定を変更できるのは、「予約録画/予約視聴」と「録画モード(画質)」のみとなります。他の項目は変更できません。
- 「繰り返し予約」を「する(毎回予約)」に設定しても、番組表で取得された番組名が予約時と異なる場合は、それがシリーズものの番組であっても録画されないことがあります。
- 「繰り返し予約」を「する(毎回予約)」に設定したとき、自動的に予約される番組は、同じチャンネルの同じ番組名の番組となります。なお、予約時の番組名に[再](再放送)が含まれる場合は、2回目以降も番組名に[再]が含まれる番組を録画します。予約時の番組名に[再]が含まれない場合は、2回目以降も番組名に[再]が含まれない番組を録画します。
- 番組の開始時刻と終了時刻を変更すると「詳細設定」で「放送時間変更」は指定できなくなります。
- 録画の開始時刻や終了時刻を手動で変更したとき、変更した時刻については延長などによる番組の放送時間の開始/終了の変更には追従しません。
- 「予約録画/予約視聴」で「予約視聴」を選ぶと、テレビの視聴を予約することができます。この場合は、スリープやスクリーンセーバーからの復帰時にパスワードの確認画面が表示されないようにしてください。
- 「繰り返し予約」を「する(時間指定で予約)」に設定すると、番組の延長などによる放送時間の開始/終了の変更には追従しません。放送時間の開始/終了に追従する予約にするには、番組表から予約しなおしてください。

5 【決定】を押す

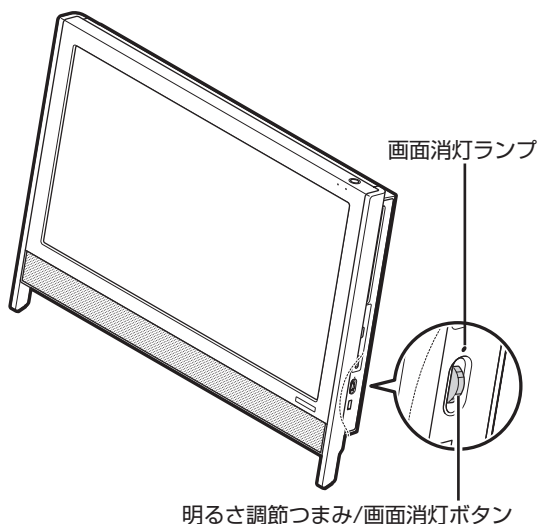
番組表に戻ります。
テレビ画面に戻るときは、【戻る】を押してください。

これで、番組の予約ができました。

- ●予約後は、電源コードを差したままにしておいてください。予約が実行されません。
- ●予約をした後、パソコンを使わないときは、パソコンを省電力状態(スリープ状態/休止状態)にしておくか、電源を切っておきます。予約した時間になると、パソコンが自動的に復帰して予約を実行します(しっかり予約録画)。
- ●予約録画した番組の再生方法については、このPARTの「録画した番組を再生する」(p.69)をご覧ください。

■ ナイトモードにする(VALUESTAR Nのみ)

ナイトモードにすると、画面や音声をオフにした状態で録画することができます。就寝中や外出中の録画に便利です。また、録画途中からでもナイトモードに切り換えられます。

本体右側面の明るさ調節つまみ/画面消灯ボタンを押すと、ナイトモードとなり、本体右側面の画面消灯ランプが青色に点灯します。もとに戻すときは、もう一度明るさ調節つまみ/画面消灯ボタンを押します。

ポイント

- ●「繰り返し予約」を「する(毎回予約)」に設定すると、スポーツ中継の延長などで録画する番組の放送時間が変更されると、それに追従して録画します。
- ●「繰り返し予約」を「する(時間指定で予約)」に設定すると、スポーツ中継の延長などで録画する番組の放送時間が変更されたときでも、あらかじめ設定された時間帯の番組(最初に予約した放送局の同じ曜日･同じ時間帯の番組)を録画します。
- ●予約内容は「予約一覧」画面で確認できます。録画予約の変更や削除は、シリーズごとにおこないます。

参照

- ●視聴予約について→このPARTの「視聴予約について」(p.59)
- ●予約の確認や変更、取り消しについて→このPARTの「予約の確認や変更、取り消しをする」(p.60)

ポイント

イラストは、モデルによって異なります。

■ 視聴予約について

録画の予約と同様の手順で操作し、「番組の予約」画面の「予約録画/予約視聴」で「予約視聴」を選ぶと、テレビの視聴を予約(視聴予約)できます。
視聴予約すると、設定した時間に予約した番組が表示されます。
予約した時間までパソコンを省電力状態にしたり電源を切ったりするときは、次の設定をおこなってください。一度おこなえば、毎回設定する必要はありません。

- 「テレビメニュー」の「設定」-「予約録画の設定」を選んで【決定】を押し、表示されたメニューから「自動ログオンの設定」を選んで【決定】を押して、「自動ログオンの設定」で自動ログオンユーザーのテストと設定をおこなってください。
- 「スタート」-「コントロールパネル」-「システムとメンテナンス」-「スリープ解除時のパスワードの要求」で「スリープ解除時のパスワード保護」の「パスワードを必要としない」を◉にしてください。
- 「スタート」-「コントロールパネル」-「デスクトップのカスタマイズ」-「スクリーンセーバーの変更」で「再開時にログオン画面に戻る」を□にしてください。

参照

録画の予約について→このPARTの「おてがる予約をする(番組表で予約する)」(p.55)

チェック

自動ログオンで設定されたユーザーと異なるユーザーで省電力状態にすると、パソコンが起動するときに自動的にログオンできずに、予約録画やテレビの起動が失敗する場合があります。
自動ログオンしたユーザーでパソコンを終了することをおすすめします。

予約の実行について

予約実行の5分前になると、次のような画面が表示されます。

このときログオンユーザーを切り換えたりすると、予約が実行できなくなります。

■ 省電力状態または電源が切れている状態のときは

予約時間の約8分から5分前にパソコンが自動的に起動します。予約視聴の場合を除いてSmartVisionは起動せずに予約を実行します。
予約の実行が終了すると、スリープ状態に移行するという内容のメッセージが表示されます。パソコンを続けて使うときは「キャンセル」をクリックしてください。「すぐに移行」を選ぶか60秒経過すると、自動的にスリープ状態になります。

ポイント

- SmartVisionを手動操作で起動してテレビを視聴しているときは、予約終了時刻になってもスリープ状態にするメッセージは表示されません。自動的にスリープ状態にしたい場合は、SmartVisionを終了させておいてください。
- 予約による起動や、予約終了後の動作は設定を変更することができます(p.67)。

予約の確認や変更、取り消しをする

いったん予約をした後で、予約内容を変えたり取り消したりするには、次の手順で操作します。

1 リモコンの【テレビメニュー】を押す

テレビメニューが表示されます。

2 「予約」の「予約一覧」を選んで【決定】を押す

予約一覧が表示されます。

3 予約内容を確認または変更したい番組を選んで【決定】を押す

予約の内容が表示されます。

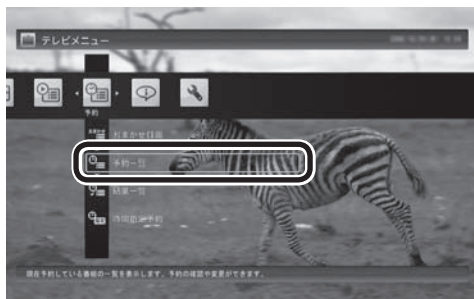
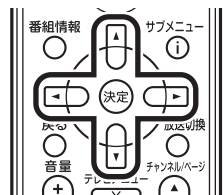
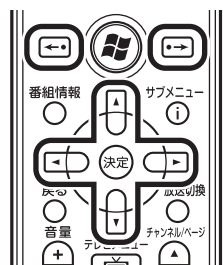
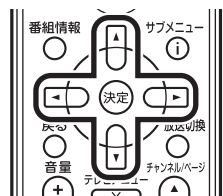
4 予約内容を確認または変更し、「予約を変更」を選んで【決定】を押す

予約一覧に戻ります。

ポイント

- 【←】【→】を押して、予約の種類を切り換えることができます。
- 表示されるアイコンの意味は、次のとおりです。

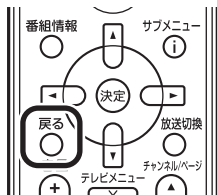
  - :ハードディスクの容量不足
  - :繰り返し予約
  - :おまかせ録画
  - :ハードディスクに録画
  - :予約視聴
  - :新番組自動録画

参照

録画番組を削除するには→このPARTの「録画した番組を削除する」(p.71)

ポイント

ここで「予約を取消」を選んで【決定】を押すと、予約を取り消せます。

チェック

録画するときに、番組の開始時刻と終了時刻を変更すると「詳細設定」で「放送時間変更」は指定できなくなります。

5 【戻る】を押す

テレビ画面に戻ります。

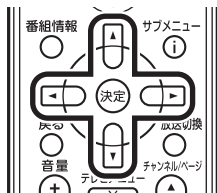
予約の確認、変更はこれで完了です。

予約の結果を確認する

予約した録画が成功したかどうかを確認できます。録画番組一覧に録画した番組が見あたらないときは、この方法で確認してください。

1 リモコンの【テレビメニュー】を押す

テレビメニューが表示されます。

2 「予約」の「結果一覧」を選んで【決定】を押す

予約結果一覧が表示されます。

3 予約結果を確認する

予約結果は、「成功」、「失敗」の2種類で表示されます。

ポイント

- 【←】【→】を押して、予約の種類を切り換えることができます。
- 表示されるアイコンの意味は、次のとおりです。
  - ：ハードディスクの容量不足
  - ：繰り返し予約
  - ：おまかせ録画
  - ：ハードディスクに録画
  - ：予約視聴
  - ：新番組自動録画

予約するときの注意

番組を予約するときは、次のことに注意してください。

●同じ時間帯の番組を2つ以上予約することはできません。

●200件まで予約できます(番組表受信予約、おまかせ録画を含む)。

●パソコンを長時間使用した後に予約録画をする場合は、一度パソコンを再起動してから録画予約の設定をすることをおすすめします。

●スリープまでの時間は、5分以上に設定してください。

●予約は、現在の時刻から3分以上後の番組が対象です。

●録画は、開始時刻より若干(2 ～ 6秒)遅れて開始される場合があります。

●予約開始前に、パソコンを電源オフの状態から自動起動する設定にしているときは、予約開始時刻の10分前を過ぎてから電源オフの状態にすると自動起動できません。また、パソコンの電源を強制的に切った場合は、自動起動できません。

●1か月以上先の予約をする場合は、電源を切った状態から自動起動しません。パソコンを省電力状態にしてください。

●予約後は、電源コードを差したままにしておいてください。抜いてしまった場合は、一度、パソコンを起動して予約を確認してください。

●放送時間が連続した複数の番組を録画予約する場合、次のようになります。
録画開始時:録画開始処理のため、番組開始から若干(最大5秒)遅れて録画が開始されます。
録画終了時:最初の録画は番組終了時刻の15秒前に終了します。

●「繰り返し予約」を「する(時間指定で予約)」に変更すると、番組の延長などによる放送時間の開始/終了の変更には追従しません。放送時間の開始/終了に追従する予約にするには、番組表から予約しなおしてください。

●「時刻指定予約」で予約した場合、番組の延長などによる放送時間の開始/終了の変更には追従しません。

PART 3
録画・予約・再生する

番組を検索して予約する

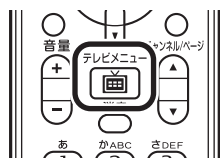
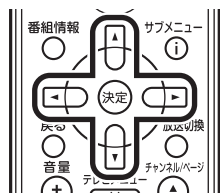
「今週の番組表から好きな俳優の出ている番組だけを探したい」
こんなときには番組表を検索して、その人が出ている番組だけを一覧で見ることができます。

検索できる番組

番組表のデータから、出演者などのキーワードを指定して番組を検索できます。また、検索した番組を予約することもできます。

番組表のデータがないときは、番組を検索できません。

検索した番組を予約する

1 リモコンの【テレビメニュー】を押す

テレビメニューが表示されます。

【番組表】を押して、番組表を表示させることもできます。

2 「番組表」を選んで【決定】を押す

番組表が表示されます。

3 【サブメニュー】を押して、表示されたメニューから「番組の検索」を選んで【決定】を押す

「番組表の検索」画面が表示されます。

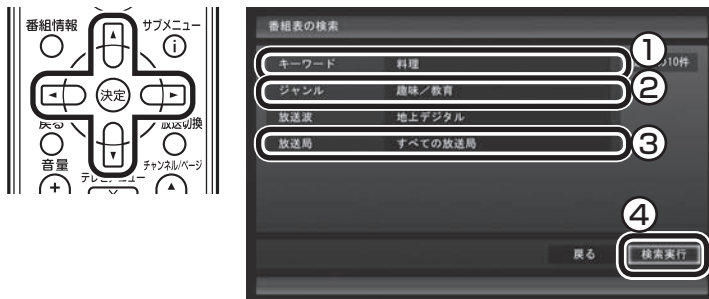
4 検索条件を設定して、検索する

次の①～④の項目を検索条件として設定します。すべてを設定する必要はありません。

① キーワードを入力する
「キーワード」を選んで【決定】を押し、キーボードで検索用のキーワードを入力して、もう一度【決定】を押します。

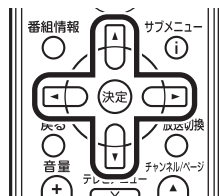
② ジャンルを選ぶ
「ジャンル」を選んで【決定】を押し、検索用のジャンルを選んで、もう一度【決定】を押します。

③ 放送局を選ぶ
「放送局」を選んで【決定】を押し、検索する放送局を選んで【決定】を押します。

④「検索実行」を選んで【決定】を押す

検索が始まります。検索が終わると検索結果が表示されます。
表示された番組を予約するときは、次の手順をおこなってください。

ポイント

- キーワードはキーボードを使って入力してください。
- キーワードには、出演者や番組タイトルなどを入力してください。

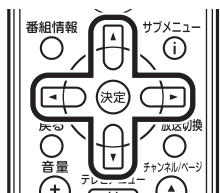
5 予約したい番組を選んで【決定】を押す

「番組の予約」画面が表示されます。
この後の手順は、このPARTの「おてがる予約をする」の手順4以降(p.57)をおこなってください。
番組表の画面に戻りたいときは、【サブメニュー】を押して、表示されたメニューから「検索の終了」を選んで【決定】を押してください。

リモコンの【番組情報】を押すと、番組の詳しい情報が表示されます。

PART 3 録画・予約・再生する

番組表を使わないで予約する

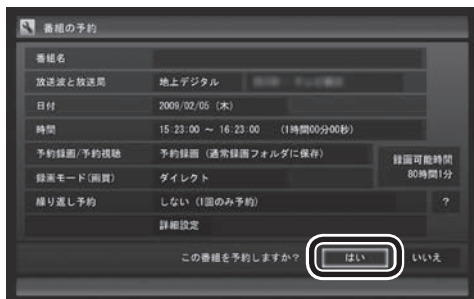
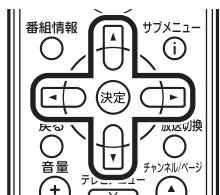
録画予約したい時間までに番組表が受信できないときなど、番組表を使った予約ができないときは、次の手順で予約できます。

放送局、放送時間などを指定して予約できます。

1 リモコンの【テレビメニュー】を押す

テレビメニューが表示されます。

2 「予約」の「時間指定予約」を選んで【決定】を押す

予約を設定する画面が表示されます。

3 必要に応じて設定をおこない、「はい」を選んで【決定】を押す

「番組の予約」画面が閉じます。

これで設定は完了です。

チェック

- この方法で録画するときは、録画中に【番組情報】を押しても、「録画モード」にデジタル放送の種別を表す(HD)や(SD)が表示されません。
  録画終了後の録画番組一覧で確認してください。
- 番組の延長などによる放送時間の開始/終了の変更には追従しません。

PART 3
録画・予約・再生する

予約実行前後の動作を設定する

予約録画、予約視聴、番組表の予約受信を実行するときに、省電力状態や電源を切った状態から起動したり、また予約実行後に省電力状態にしたり、電源を切ったりできます。

1 リモコンの【テレビメニュー】を押す

テレビメニューが表示されます。

2 「設定」の「予約録画の設定」を選んで【決定】を押す

「予約録画の設定」画面が表示されます。

3 「電源設定」を選んで【決定】を押す

「電源設定」画面が表示されます。

参照

省電力状態について→「ソフト＆サポートナビゲーター」-「パソコンの各機能」-「省電力機能」

4 予約録画、予約視聴、番組表の受信を開始する前の動作を設定する

設定を選んで【決定】を押し、設定する項目を選んでもう一度【決定】を押します。

「スリープ状態/休止状態/シャットダウンから起動する」を選ぶと、省電力状態や電源を切った状態からパソコンが自動的に起動して、予約録画、予約視聴、番組表の受信を実行します。

「スリープ状態/休止状態から起動する」を選ぶと、省電力状態からパソコンが自動的に復帰して、予約録画、予約視聴、番組表の受信を実行します。この場合はパソコンの電源が切れていると予約は実行されません。

5 予約録画、予約視聴、番組表の受信終了時の動作を設定する

① 設定を選んで【決定】を押し、設定する項目を選んでもう一度【決定】を押す

② 「終了」を選んで【決定】を押す

これで、設定した動作をするようになります。

チェック

- 「電源を切る(シャットダウン)」を選んだ場合は、設定変更後に録画予約などをおこなうときのために、「自動ログオン」の設定をしてください。
- 「電源を切る(シャットダウン)」に設定している場合は、予約実行時に複数のユーザーがログオンした状態にならないようにしてください。複数のユーザーがログオンしている状態にすると、以降の予約が実行されません。
- 電源を切った状態から予約や番組表の受信を実行できるのは、「自動ログオン」で設定されたユーザーのみです。

自動ログオンの設定について→付録の「自動ログオンの設定をする」(p.202)

ポイント

予約録画終了の時点でテレビを見ている場合や、もとからテレビを見ているときに予約視聴が開始された場合は、終了時に確認画面が表示されず、そのままテレビを利用できます。

PART 3 録画・予約・再生する

録画した番組を再生する

録画した番組は、番組名から選んで再生できるので、「見たい番組がどこにあるのかわからない」なんてことにはなりません。

再生の方法

録画した番組を再生してみましょう。テレビメニューの録画番組一覧には、録画した番組名が日付順に並んでいるので、見たい番組を見つけるのも簡単です。

1 リモコンの【テレビメニュー】を押す

テレビメニューが表示されます。

2 「録画番組一覧」の「通常 録画フォルダ」を選んで【決定】を押す

「録画番組一覧」画面が表示されます。

3 再生したい番組を選んで【決定】を押す

Ⓐここで録画番組の保存された録画フォルダを選ぶことができます。

Ⓑリモコンの【←】【→】でジャンルを絞り込んで表示できます。

Ⓒ再生したい番組を選びます。

ポイント

●【録画番組】を押して、「録画番組一覧」画面を表示させることもできます。

●録画した番組の名前は、録画したときの状況によって、次のようになります。

・番組表データがある場合：番組情報の番組名になります

・番組表データがない場合：「番組名なし」になります

●番組のサムネイル画像に表示されるマークの意味は以下のとおりです。

・「未」：まだ一度も再生していない番組

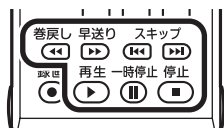
・「お」：「おまかせ録画」した番組

●「おまかせ録画」の番組を再生するときや、追加した録画フォルダの番組を再生するときは、それぞれの録画フォルダを選んでください。

●短時間（1 〜 3秒程度）だけ録画した番組は正しく再生できません。再生しても映像が表示されず、画面は黒いままとなります。

参照

「おまかせ録画」について→このPARTの「おまかせ録画をする」（p.76）

再生が始まります。
再生中は、普通のビデオと同じように、一時停止、早送り、巻き戻し、スキップの操作ができます。

4 再生を終了するときは、【停止】を押す

「録画番組一覧」に戻ります。

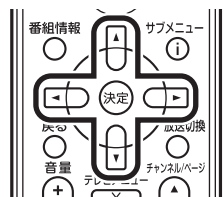
次に同じ番組を再生するときは、停止した場所から再生されます。

■ テレビを見る画面に戻る

「録画番組」画面から、テレビを見る画面に戻るには、次の手順で操作します。

1 リモコンの【テレビメニュー】を押す

テレビメニューが表示されます。

2 「地上デジタル」で視聴したいチャンネルを選んで【決定】を押す

ポイント

早送り、巻き戻しは4段階で切り換えることができます。

ポイント

サブメニューの「最初から再生」を選ぶと、番組の最初から再生できます。

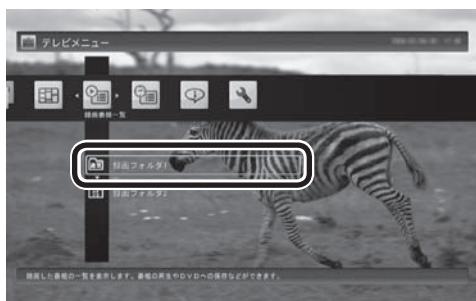
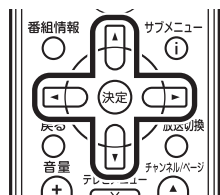
録画した番組を削除する

見終わって、もう必要のない録画番組は削除しましょう。録画データはファイルサイズが大きいので、必要のない録画データを残しておくとハードディスクの無駄になります。
ここでは、番組をひとつずつ削除する方法と、複数の番組をまとめて削除する方法を説明します。

■ 番組をひとつずつ削除する

1 リモコンの【テレビメニュー】を押す

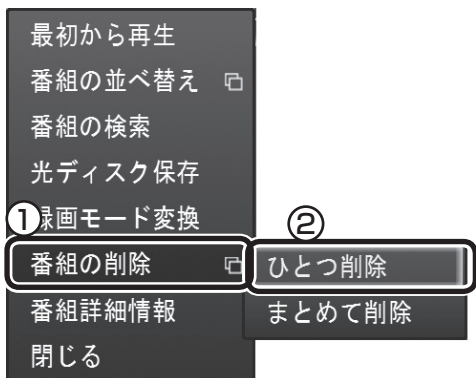
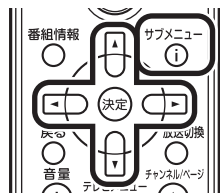
テレビメニューが表示されます。

2 「録画番組一覧」で、削除したい録画番組が保存されている録画フォルダを選んで【決定】を押す

「録画番組一覧」画面が表示されます。

3 削除したい番組を選ぶ

① 番組を選んで【サブメニュー】を押し、「番組の削除」を選んで【決定】を押す

② 「ひとつ削除」を選んで【決定】を押す

削除を確認する画面が表示されます。

ポイント

録画フォルダを作って、録画番組を整理をすることができます。

参照

録画番組の整理について→PART6の「録画した番組を整理する」(p.162)

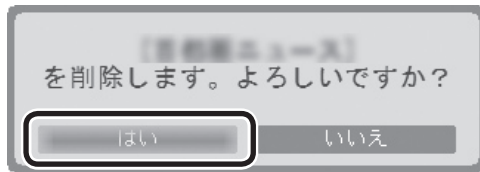
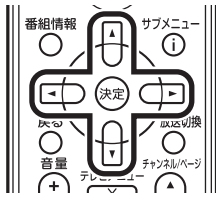
ポイント

「まとめて削除」を選ぶと、複数の番組をまとめて削除できます。次の「複数の番組をまとめて削除する」をご覧ください。

チェック

削除する番組と同じグループの番組を外付けハードディスクに保存している場合は、必ず外付けハードディスクを接続した(使用できる)状態で番組を削除してください。外付けハードディスクが取り外された(使用できない)状態で番組を削除すると、外付けハードディスクに保存された番組が利用できなくなります。

参照

番組のグループについて→PART5の「光ディスクに保存するときのご注意」(p.146)

4 「はい」を選んで【決定】を押す

これで、録画番組が削除されました。

■ 複数の番組をまとめて削除する

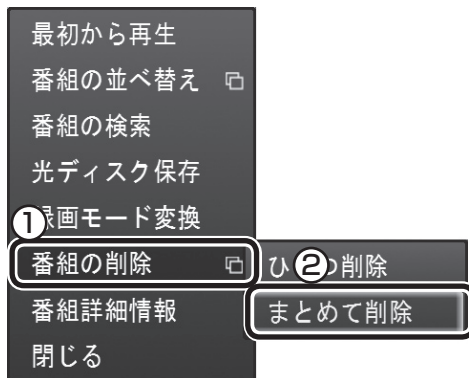
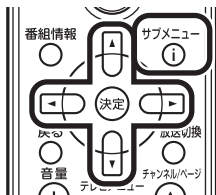
1 「番組をひとつずつ削除する」(p.71)の手順1 ～手順2をおこなう

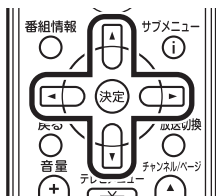
「番組をひとつずつ削除する」(p.71)

「録画番組一覧」画面が表示されます。

2 削除したい番組を選ぶ

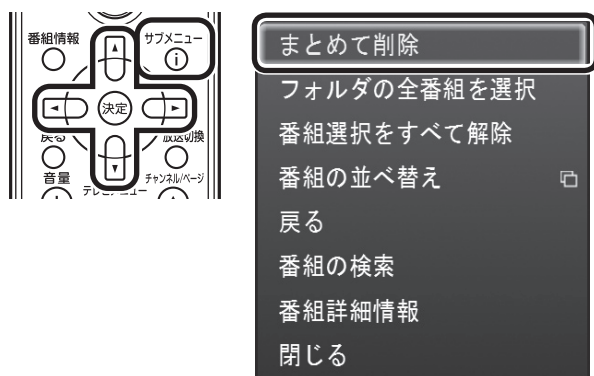
① 番組を選んで【サブメニュー】を押し、「番組の削除」を選んで【決定】を押す

② 「まとめて削除」を選んで【決定】を押す

複数の番組が選択できるようになります。

3 削除したい番組を選んで【決定】を押す

選んだ番組にはチェックマークがつきます。手順3を繰り返して、削除したい番組にチェックマークをつけてください。
チェックマークを外したいときは、もう一度その番組を選んで【決定】を押してください。

チェック

削除する番組と同じグループの番組を外付けハードディスクに保存している場合は、必ず外付けハードディスクを接続した(使用できる)状態で番組を削除してください。外付けハードディスクが取り外された(使用できない)状態で番組を削除すると、外付けハードディスクに保存された番組が利用できなくなります。

4 【サブメニュー】を押し、「まとめて削除」を選んで【決定】を押す

削除を確認する画面が表示されます。

5 「はい」を選んで【決定】を押す

これで、録画番組が削除されました。

PART 3 録画・予約・再生する

追っかけ再生する

録画予約したドラマが途中まで放送されたところに帰宅。でも録画が終わるまで待っている必要はありません。「追っかけ再生」で、録画中の番組を最初から見ることができます。

追っかけ再生って何？

追っかけ再生は、番組を録画しながら、同時に再生できる機能です。録画予約した番組なら、その番組が途中まで放送されていても、はじめから再生することができます。
早送りで「追っかけ」れば、リアルタイムの放送に追いつくこともできます。

ポイント

追っかけ再生していた番組の録画が終了しても、そのままテレビを見ることができます。

録画中の番組を再生する（追っかけ再生）

1 リモコンの【テレビメニュー】を押す

テレビメニューが表示されます。

2 「録画番組一覧」の「通常 録画フォルダ」を選んで【決定】を押す

「録画番組一覧」画面が表示されます。

3 録画中の番組を選んで【決定】を押す

Ⓐここで録画番組の保存された録画フォルダを選ぶことができます。

Ⓑリモコンの【⇠】【⇢】でジャンルを絞り込んで表示できます。

Ⓒ赤い●の表示された録画中の番組を選びます。

追っかけ再生が始まります。

追っかけ再生中に一時停止や巻き戻しなどの操作をしても、録画は中断されずに続行します。【停止】を押すと再生が終了し、次に再生するときは停止した場所から始まります。

ポイント

- 【録画番組】を押して、「録画番組一覧」画面を表示させることもできます。
- 録画した番組の名前は、録画したときの状況によって、次のようになります。
  - ・番組表データがある場合：番組情報の番組名になります
  - ・番組表データがない場合：「番組名なし」になります
- 「おまかせ録画」の番組を再生するときは、「おまかせ」録画フォルダを選んでください。

参照

「おまかせ録画」について→このPARTの「おまかせ録画をする」(p.76)

タイムシフトモードでの操作とは異なり、【停止】を押しても録画は継続します。

参照

タイムシフトモードについて→このPARTの「タイムシフトモードにする」(p.52)

PART 3
録画・予約・再生する

おまかせ録画をする

ジャンルやキーワードから番組を自動的に録画してくれる「おまかせ録画」機能を使ってみましょう。

おまかせ録画って何？

おまかせ録画は、ジャンルやキーワードをあらかじめ登録しておくと、条件に合った番組を自動的に探して録画してくれる機能です。
たとえば、こんな使い方はどうでしょう？

●毎週、放送時間が変わってしまう番組や、放送が不定期な番組を録画するとき
おまかせ録画で、番組名をキーワードにして、ジャンル、放送局を指定して条件を登録します。こうすると、自動的にその番組を録画します。放送時間や放送日程をいちいち確認する必要はありません。

●お気に入りのタレントの出ている番組を録画したいとき
おまかせ録画で、タレントの名前をキーワードにして、ジャンルや放送局を指定せずに条件を登録します。こうすると、自動的にキーワードに登録したタレントが出ている番組を録画します。

自動的に録画

チェック

おまかせ録画は、番組表の「番組名」や「詳細情報」に出てくる言葉をキーワードにして番組を探します。そのため、タレント名や番組名を登録しても、番組表の番組名、詳細情報の記載と一致しない場合は録画されません。

ポイント

●番組名は、番組表に省略されて記載されていることがあります。あらかじめ番組表で確認をして、番組名の一部などをキーワードにすることをおすすめします。
●おまかせ録画で番組が録画されたときは、録画したことをお知らせするメッセージが表示されます。

参照

おまかせ録画について→オンラインヘルプ(p.158)の「使ってみよう(導入編)」-「SmartVisionで録ろう！」-「録画する条件を設定して、おまかせ録画をしよう」

おまかせ録画を有効にする

おまかせ録画では、お好みの条件やキーワードを登録することができますが、ご購入時の状態でもあらかじめいくつかの条件が登録されています。ここでは、登録済みの条件からおまかせ録画をする方法を説明します。

参照

おまかせ録画の条件の登録方法→このPARTの「おまかせ録画を登録する」(p.78)

1 リモコンの【テレビメニュー】を押す

テレビメニューが表示されます。

2 「予約」の「おまかせ録画」を選んで【決定】を押す

おまかせ録画の条件一覧が表示されます。

3 予約したい条件名を選んで【決定】を押す

条件設定の画面が表示されます。

4 おまかせ録画の条件を決める

① 動作
この条件のおまかせ録画をするかどうかを選びます。「有効」になっている条件のみ録画されます。

② 優先度
おまかせ録画の条件同士で予約が重複したときの優先度を設定します。

③ 録画モード
デジタル放送の番組を録画するときの録画モードを選びます。

④ 再放送番組の録画
再放送の番組を録画するかどうかを選びます。

ポイント

マウスで使うための画面で、さらに細かい条件(キーワードや放送局、曜日など)を設定できます。詳しくは次の「おまかせ録画を登録する」をご覧ください。

5 「戻る」を選んで【決定】を押す

6 「終了」を選んで【決定】を押す

これで、おまかせ録画が有効になります。

おまかせ録画を登録する

おまかせ録画で録画するために、キーワードなどの条件を登録します。キーワードなどの入力は、マウスで使うための画面でおこないます。

参照

マウスで使うための画面を表示する→PART6の「マウスで使うための画面」(p.156)

1 テレビを表示して、マウスを動かす

画面の左下に操作パネルが表示されます。

2 「画面」ボタンをクリック

画面が切り換わります。

ポイント

操作パネルのボタン表示は、見ている状態によって異なります。

「画面」ボタンが表示されていないときは、テレビを見ている状態や録画番組を視聴している状態にしてください。

3 （予約&結果一覧）をクリック

4 「予約一覧」タブの おまかせ （おまかせ）をクリック

「おまかせ録画条件一覧」画面が表示されます。

5 「新規追加」をクリック

「条件入力」画面が表示されます。

ポイント

リモコンで使う画面に戻す（切り換える）には、「画面モード切換タブ」のいちばん左のタブ（フルスクリーン）をクリックします。

6 おまかせ録画の条件を登録する

① 登録した条件に名前をつける
登録した条件に名前をつけるときはクリックして☑にし、条件名を入力します。名前をつけない場合は、自動的に名前が登録されます。

② キーワードを入力する
番組のキーワードになる言葉を入力します。キーワードを追加する場合は、「絞り込む」をクリックしてキーワードを追加してください。

③ 番組のジャンルと放送局に関する条件を設定する

④「録画設定」を設定する
予約が重複したときの優先度と、録画画質を指定します。

⑤ 必要に応じて詳細な設定をする
≫をクリックすると、詳細な検索条件が設定できます。

⑥「候補一覧表示」をクリックする
設定した条件で録画される番組を表示します。ただし、すでに予約している別の番組と重なると、先に予約していた番組の録画が優先されます。
表示された番組の中で録画したくない番組がある場合は、その番組をクリックして、「番組除外」をクリックします。以降、その番組はおまかせ録画で録画されなくなります。
なお、おまかせ録画の条件に一致する番組が予約されるのは、次のタイミングです。
・おまかせ録画（優先度高）：放送の7日前
・おまかせ録画（優先度普通・低）：放送の2日前

ポイント

●□のままの条件はすべてが対象になります（例：「放送局」が□の場合は、すべての放送局が対象）
●「キーワード」、「絞り込む」、「さらに絞り込む」の3つの枠に入れたキーワードすべてに当てはまる番組が録画されます。また、1つの枠には、複数のキーワードを改行で区切って入力できます。その場合は、区切って入れたキーワードのどれかに当てはまる番組が録画されます。

この場合は、次の4パターンの番組がすべて録画されます。

1.「旅・海・沖縄」がキーワードの番組
2.「旅・海・バリ島」がキーワードの番組
3.「旅・グルメ・沖縄」がキーワードの番組
4.「旅・グルメ・バリ島」がキーワードの番組

●ドラマなどの連続番組を毎回録画するときは、キーワードに番組名を入れるとその番組を自動的に録画します。候補一覧で表示された番組をクリックしてキーワードのエリアにドラッグ＆ドロップすると、番組名を簡単に入力することができます。

チェック

●深夜0:00 ～ 6:00頃の番組は前日の曜日として扱われます（例：水曜日の深夜2:00の番組を録画するときは、火曜日を指定します）。
●同じ時間帯に同じ条件の番組が複数あるときは、録画される番組は条件に合った番組の中でランダムに決定されます。
●この方法で録画するときは、録画中に【番組情報】を押しても、「録画モード」にデジタル放送の種別を表す（HD）や（SD）が表示されません。
録画終了後の録画番組一覧で確認してください。

7 「候補一覧」の「閉じる」をクリック

「条件入力」画面に戻ります。

8 「登録」をクリック

おまかせ録画の条件が登録されます。

9 「閉じる」をクリック

参照

このほかのおまかせ録画の条件について→オンラインヘルプ(p.158)の「ボタンと使い方」-「ノーマルモード·アドバンストモード共通」-「ダイアログ」-「おまかせ録画ダイアログ」

おまかせ録画した番組を再生する

おまかせ録画で録画した番組は、おてがる予約などで録画した番組とは、別の「おまかせ」録画フォルダに保存されます。

1 リモコンの【テレビメニュー】を押す

2 「録画番組一覧」の「 おまかせ 録画フォルダ」を選んで【決定】を押す

おまかせ録画で録画した番組が表示されます。

これから先は、ほかの録画番組を再生する手順と同じです。
詳しくは、このPARTの「録画した番組を再生する」(p.69)をご覧ください。

■ おまかせ録画をするときの注意

おまかせ録画の条件に一致する番組が予約されるのは、次のタイミングです。
・おまかせ録画(優先度高):放送の7日前
・おまかせ録画(優先度普通·低):放送の2日前
これより前に同じ時間帯の別の番組が予約されたときは、おまかせ録画は実行されません。

■ おまかせ録画の属性を解除する

おまかせ録画で録画した番組は、一定の容量以上になると、古い番組から順番に削除されます。残しておきたい番組があるときは、次の手順でおまかせ属性を解除してください。

1 リモコンの【テレビメニュー】を押す

2 「録画番組一覧」の「 おまかせ 録画フォルダ」を選んで【決定】を押す

おまかせ録画で録画した番組が表示されます。

3 おまかせ属性を解除したい番組を選んで【サブメニュー】を押す

4 一覧から「おまかせ属性の解除」を選んで【決定】を押す

5 「この番組」を選んで【決定】を押す

6 解除を確認する画面で「はい」を選んで【決定】を押す

お の表示が消えて、削除の対象ではなくなります。

ポイント

- 手順5で「全ての番組」を選んで、「おまかせ」録画フォルダ内のすべての番組のおまかせ属性を解除することもできます。
- マウスで使う画面で、「おまかせ」録画フォルダから別の録画フォルダに移動しても、おまかせ属性を解除できます。複数の番組のおまかせ属性をまとめて解除することもできます。詳しくは、PART6の「録画した番組を整理する」(p.162)をご覧ください。

PART 3 録画・予約・再生する

新番組おまかせ録画をする（新番組自動録画）

新しく始まったドラマやアニメを自動的に探して録画してくれる「新番組自動録画」機能を使ってみましょう。

新番組おまかせ録画って何？

新番組おまかせ録画（新番組自動録画機能）は、番組表の情報から新しく始まったドラマやアニメを探し出し、自動的に予約して録画する機能です。もちろん第1話だけでなく、2話目以降も自動的に録画されます。
新番組おまかせ録画は、SmartVisionの新番組自動録画機能を使います。
新番組おまかせ録画を使えば、新しいお気に入り番組を見つけられるかもしれません。

チェック

●ご購入時は、新番組自動録画の機能が無効になっています。

●対応している番組のジャンルは「ドラマ」と「アニメ」のみです。

●新番組自動録画で録画した番組は、おてがる予約などで録画した番組と同様に、「通常」録画フォルダに保存されます。

ポイント

●同じ時刻に複数の新番組が放送される場合、録画予約する番組が無作為に選ばれます。録画したい新番組が決まっているときは、あらかじめ「おてがる予約」などで録画予約をしてください。番組改編期など、複数の新番組がスタートする時期には、特にご注意ください。

●新番組自動録画で新番組の第1話が録画されたときは、録画したことをお知らせするメッセージが表示されます。

参照

おてがる予約について→このPARTの「おてがる予約をする（番組表で予約する）」（p.55）

新番組自動録画を有効にする

ご購入時は新番組自動録画の機能が無効になっています。ここでは、番組を探す時間帯や番組のジャンルを設定し、機能を有効にする方法について説明します。

1 リモコンの【テレビメニュー】を押す

テレビメニューが表示されます。

2 「予約」の「新番組自動録画」を選んで【決定】を押す

新番組自動録画の設定画面が表示されます。

3 新番組自動録画の条件を設定する

① 録画したいジャンル(「ドラマ新番組」/「アニメ新番組」)の「無効」を選んで【決定】を押し、表示されたメニューで「有効」を選んで【決定】を押す

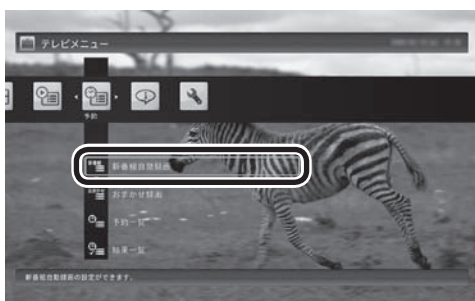
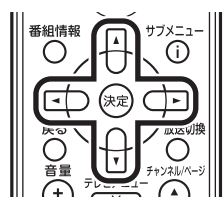
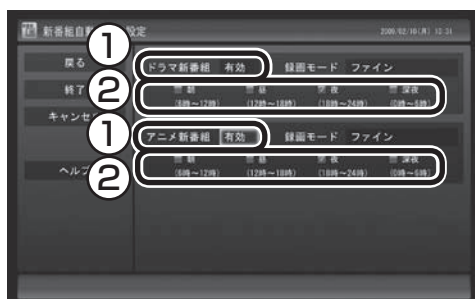
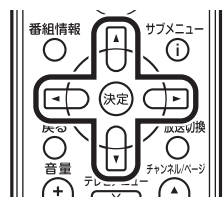
② 新番組を探す時間帯を選んで【決定】を押し、チェックマークをつける

4 「終了」を選んで【決定】を押す

これで、新番組自動録画の機能が有効になりました。

ポイント

- 予約内容は「予約一覧」画面で確認できます。録画予約の変更や削除は、番組のシリーズごとにおこないます。
- 予約内容を確認する画面で設定を変更できるのは、「録画モード(画質)」と「録画保存先」のみとなります。他の項目は変更できません。

参照

予約の確認や変更、取り消しについて→このPARTの「予約の確認や変更、取り消しをする」(p.60)

ポイント

- ご購入時は、あらかじめ「夜(18時～24時)」にチェックマークがついています。
- チェックマークを外すときは、チェックマークのついた時間帯を選んで【決定】を押してください。
- 必要に応じて「録画モード(画質)」を変更することができます。
- 新番組を探す時間帯についてそれぞれ次の番組を探します。
  - 「朝 6時～12時」
    6:00から11:59の間に始まる番組
  - 「昼 12時～18時」
    12:00から17:59の間に始まる番組
  - 「夜 18時～24時」
    18:00から23:59の間に始まる番組
  - 「深夜 0時～6時」
    0:00から5:59の間に始まる番組

新番組自動録画を無効にする

新番組自動録画の機能を無効にするときは、次のように操作してください。

1 「新番組自動録画を有効にする」(p.84)の手順1 ～手順2をおこなう

2 無効にしたいジャンル(「ドラマ新番組」/「アニメ新番組」)の「有効」を選んで【決定】を押し、表示されたメニューで「無効」を選んで【決定】を押す

3 「終了」を選んで【決定】を押す

これで、選んだジャンルの新番組自動録画の機能が無効になりました。

PART 3 録画・予約・再生する

予約の優先度について

このパソコンのテレビには、さまざまな予約機能があります。ここでは、自動的に登録される予約の優先度について説明します。

自動的に登録される予約の優先度

「おまかせ録画」や「新番組自動録画」および「繰り返し予約(毎回予約)」といった、自動的に登録される予約には、それぞれに優先度があります。複数の予約が重複したときは、優先度の高い順に登録されます。

自動的に登録される予約の優先度は以下のとおりです。

- 「繰り返し予約(毎回予約)」、「新番組自動録画」、および「おまかせ録画(優先度 高)」は、放送の7日前に予約が登録されます。
- 「おまかせ録画(優先度 普通)」と「おまかせ録画(優先度 低)」は、放送の2日前に予約が登録されます。

ポイント

「繰り返し予約(毎回予約)」の1回目は、番組表を使って予約(おてがる予約)するため、自動的に登録される予約には含まれません。

チェック

- これらの予約は番組表の番組情報を使って登録されます。番組表が取得された時点で、番組の検索や登録の処理が始まります。
- 同じ優先度の複数の番組が同じ時刻に放送される場合、録画予約する番組は無作為に選ばれます。録画したい番組が決まっているときは、あらかじめ「おてがる予約」などで録画予約してください。

参照

おてがる予約について→このPARTの「おてがる予約をする(番組表で予約する)」(p.55)

録画・予約・再生する（BS・110度CS・地デジダブルチューナーモデル）

パソコンをハードディスクレコーダとして使ってみましょう。今見ている番組はもちろん、番組表を使って予約した番組を、パソコンのハードディスクに録画できます。
録画された番組は番組名の一覧から選んで再生できます。だから「見たい番組がどこにあるのかわからない」なんてことにはなりません。
また、見ている番組をビデオのように巻き戻す「さかのぼり録画」や、途中まで録画された放映中の番組をはじめから再生する「追っかけ再生」といった便利な機能も使ってみましょう。

参照

「地デジシングルチューナーモデル」の録画・予約・再生の操作について→「PART3　録画・予約・再生する（地デジシングルチューナーモデル）」（p.45）

あなたがテレビ放送や録画物などから取り込んだ映像や音声は、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。

PART 4
録画・予約・再生する

録画について

番組を録画する前に、知っておいていただきたいことを説明します。

録画するときの注意

録画をするときは、次のことに注意してください。

- ●録画には、多くのハードディスク容量が必要になります。ハードディスクの空き容量に注意してください。録画中にテレビの画面でリモコンの【番組情報】を押すと、録画可能時間が表示されます。
- ●録画中や再生中にエラーが発生した場合は、パソコンを再起動してください。
- ●ひんぱんに録画する場合(週10時間以上)は、ハードディスクへの書き込みを効率的にするために、週一度程度を目安にディスクデフラグを実行してください。ディスクデフラグは「スタート」-「すべてのプログラム」-「アクセサリ」-「システムツール」-「ディスクデフラグツール」で実行します。
- ●録画中にパソコンのシャットダウンなどをおこなうと、そのとき録画していた番組は視聴できない(録画データが正常に作成されない)ことがあります。
- ●録画予約をするときは必ず電源コードを接続しておいてください。
- ●「録画可能時間」は目安としてご利用ください。録画中や録画の予約を設定した後にパソコンのハードディスクの空き容量が増減する(ほかのソフトでデータを保存した場合など)と、実際に録画できる時間が「録画可能時間」で表示された時間と一致しなくなることがあります。
- ●録画した番組はこまめにDVDなどに保存したり、不要な番組を削除したりして、ハードディスク容量が不足しないようにしてください。
- ●テレビ番組を録画中は、ブルーレイディスクを再生しないでください。再生およびテレビ番組の録画が正しく動作しない場合があります。
- ●録画できない番組がある
  一部の番組は、視聴はできますが録画はできません。また、番組によっては録画するために番組購入が必要な場合があります。
  番組が録画できるかどうかは、「番組表」画面の「番組情報」欄で確認できます。
- ●録画した番組は市販のソフトでは編集できない
  このパソコンで録画した番組は、市販の動画編集ソフトで編集することはできません。
- ●ほかのソフトでは再生できない
  このパソコンで録画したデジタル放送の番組は、このパソコンのSmartVisionでのみ再生できます。ほかの動画再生ソフトでは再生できません。

チェック

- ●システムの状態によっては、映像が乱れることがあります。
- ●ディスクデフラグには時間がかかります。十分な時間が取れるときに実行してください。

参照

映像が乱れるときの対処について
→PART7の「映像が乱れる(コマ落ちする)」(p.180)

参照

番組のDVDなどへの保存について
→「PART5 録画番組をDVDなどに保存する」(p.133)

ただし、DVDなどに保存することで、対応したソフトやプレーヤで再生できます。DVDなどに保存する場合は、必要に応じて自動で録画モード変換されます。
●短時間(1 ～ 3秒程度)だけ録画した番組は正しく再生できません。再生しても映像が表示されず、画面は黒いままとなります。
●ほかのパソコンでは再生できない
このパソコンで録画した番組は、このパソコンでのみ再生できます。別のパソコンでは再生できません。

■ 録画モードについて

このパソコンでは、次のような録画モードで番組を録画することができます。

録画モード	録画時間と画質	解像度	データ放送の記録	用途と特徴
ダイレクト	高画質	ハイビジョン(HD)※	○	放送されたままの画質で番組を録画するモードです。4つの録画モード中、録画できる時間がいちばん短くなりますが、画質にこだわりたい番組を録画するのに適しています。
ファイン	↕	ハイビジョン(HD)※	×	録画できる時間と画質のバランスが取れたモードです。「ダイレクトモード」に近い画質で、「ダイレクトモード」と比較して、地上デジタル放送は約2倍、BS･110度CSデジタル放送は約3倍、録画できます。「ファインロングモード」、「ロングモード」と比較すると、映像の動きが速い番組の録画に適しています。
ファインロング		ハイビジョン(HD)※	×	ハイビジョン解像度でありながら、長い時間録画できるモードです。「ファインモード」より若干画質が低下しますが、「ダイレクトモード」と比較して、地上デジタル放送は約4倍、BS･110度CSデジタル放送は約6倍、録画できます。録画には、映像の動きがゆっくりした番組が適しています。
ロング	長時間	標準(SD)	×	4つの録画モード中、録画できる時間がいちばん長いモードです。標準解像度になってしまいますが、「ダイレクトモード」と比較して、地上デジタル放送は約8倍、BS･110度CSデジタル放送は約12倍、録画できます。とにかくたくさんの番組を録画したいという場合におすすめです。

※標準(SD)で放送された番組を録画した場合、標準(SD)となります。

●「ダイレクト」に関するご注意
データ放送は録画時点のものです。内容によっては再生時には利用できない場合があります(天気予報など)。
●「ダイレクト」以外の録画モードに関するご注意
データのサイズを小さくするため、「ファインロング」と「ロング」では放送されている音声のうち1つだけ録画できます。

録画モードについて→付録の「録画モードについて」(p.204)

■ 録画に必要なハードディスク容量について

録画するとき、録画モードや番組の種類によって録画に必要なハードディスクの容量が異なります。録画に必要なハードディスク容量の目安は次のとおりです。

録画モード	放送の種類	1時間の録画に必要なハードディスク容量
ダイレクト	地上デジタルハイビジョンテレビ(HD)	約7.2Gバイト
	地上デジタル標準テレビ(SD)	約3.4Gバイト
	BS・110度CSデジタルハイビジョンテレビ(HD)	約10.1Gバイト
	BS・110度CSデジタル標準テレビ(SD)	約4.6Gバイト
ファイン	地上デジタルハイビジョンテレビ(HD)	約3.4Gバイト
	BS・110度CSデジタルハイビジョンテレビ(HD)	
ファインロング	地上デジタルハイビジョンテレビ(HD)	約1.7Gバイト
	BS・110度CSデジタルハイビジョンテレビ(HD)	
ロング	地上デジタルハイビジョンテレビ(HD)	約860Mバイト
	BS・110度CSデジタルハイビジョンテレビ(HD)	

ポイント

デジタル放送の録画時に画面に表示される「録画可能時間」は、この表を基準に算出したものです。録画データの保存先として設定されているドライブの空き容量から、録画を停止する空き容量(SmartVisionで設定した容量。ご購入時は300Mバイトに設定されています)を引いたサイズを目安に算出しています。「録画可能時間」は目安の時間であり、録画する番組によっては実際の録画時間と一致しないことがあります。

■ ダブル録画をおこなうときのご注意

このパソコンは2つのレコーダ(チューナー)を搭載しており、同じ時間帯に放送されている番組を、2つまで録画することができます。
ただし、同時に使用する機能によって、一部制限があります。ご注意ください。

●「ダイレクト」以外の録画モードで録画できる番組は1つ
2つの番組を「ダイレクト」以外の録画モード(ファイン、ファインロング、ロング)で同時に録画することはできません。
たとえば、すでに「ファイン」で録画予約している時間帯に、新たに「ロング」で録画予約をすることはできません。

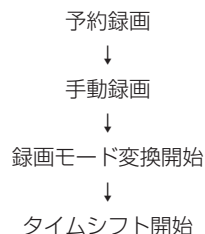
2つの番組を同時に録画するときは、どちらかの番組を録画モード「ダイレクト」で録画してください。

●タイムシフトモードでの視聴は録画と同じ制限がある
タイムシフトモードは、放送されている番組を録画しながら視聴することで巻き戻しや早送りなどの機能を実現しています。このため、タイムシフトモードの使用には、録画と同様の制限があります。

チェック

●同時に実行できない機能が重なったときは、実行する機能を選ぶ画面が表示されます。表示されたメッセージにしたがって、いずれかの機能をキャンセルするなどの操作をしてください。

●同時に実行できない機能が重なったときの優先順位は以下のとおりです。

予約録画
↓
手動録画
↓
録画モード変換開始
↓
タイムシフト開始

参照

録画モード変換について→PART5の「録画モード変換について」(p.150)

レコーダ1とレコーダ2の機能組み合わせ		同時動作	録画モード変換との同時動作
ダイレクト録画・タイムシフト	ダイレクト録画・タイムシフト	○	×
ダイレクト録画・タイムシフト	ダイレクト以外での録画	○	×
ライブモード視聴	ダイレクト録画・タイムシフト	○	×
ライブモード視聴	ダイレクト以外での録画	○	×
ダイレクト以外での録画	ダイレクト以外での録画	×	—

録画を中断する条件

録画中に次のような状態になると、録画は自動的に終了します。
●録画を停止する空きサイズ(ご購入時では300Mバイト)とタイムシフトで使用する容量を足した容量よりハードディスクの残り容量が少なくなったとき
●ハードディスクへの書き込み時にエラーが起きたとき
●放送休止状態になったとき
●番組の受信ができなくなったとき
●番組が、録画不可属性になったとき
●受信状態が不安定なとき

参照

ハードディスクの残り容量について→オンラインヘルプ(p.158)の「設定」-「録画／再生／予約」-「録画／タイムシフト」の「録画を停止する空き容量サイズ」

PART 4
録画・予約・再生する

今見ている番組を録画する

ビデオと同じように、見ている番組をすぐに録画できます。

1 リモコンの【録画】を押す

録画が始まり、画面に「録画を開始しました。」と表示されます。
録画した番組は、ご購入時の状態では、Dドライブに保存されます。

2 録画をやめたいところで【停止】を押す

これで録画ができました。録画した番組を見る方法は、このPARTの「録画した番組を再生する」(p.114)をご覧ください。

参照

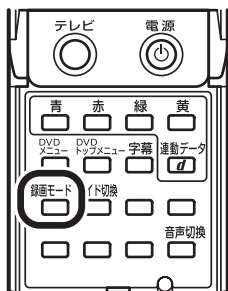
テレビを見る→PART2の「基本的な使い方」(p.22)

- ●「コピー不可」の信号が含まれた映像は録画できません。信号が検出されると、自動的に録画は終了します。
- ●リモコンの【録画】を押しての録画より、あらかじめおこなわれた予約録画が優先されます。予約5分前に確認のメッセージが表示されます。

ポイント

- ●【録画】を押してから、実際に録画が始まるまで、少しの間があります。「さかのぼり録画」(p.94)で巻き戻してから録画をするほうが確実です。
- ●録画中の番組を巻き戻して再生することもできます(p.119)。

■ 録画する番組の録画モードを変更する

リモコンのフタを開けて【録画モード】を押すと、録画の録画モードを変更することができます。録画モードを変更したいときは、録画する前に変更してください。

フタを開けた状態

■ 録画時間を設定する

【録画】を連続して押すと、録画時間を次のように設定できます。
無期限→番組終了まで→15分後→30分後→60分後→90分後→120分後→無期限・・・(以降繰り返し)。
また、録画時間を設定した状態でSmartVisionを終了させ、【電源】を押すと、画面が消えて録画を継続します(VALUESTAR Lで、リモコンの【電源】を押した場合を除く)。録画が終了すると、パソコンはスリープ状態になります。外出や就寝するときに便利な機能です。

チェック

- この方法で録画するときは、録画中に【番組情報】を押しても「録画モード」にデジタル放送の種別を表す(HD)や(SD)が表示されません。
  録画終了後の録画番組一覧で確認してください。
- タイムシフトモードで視聴している番組を録画するときは、録画モードが変更できません。

ポイント

【録画モード】を連続して押すと、録画モードを次のように設定できます。
ダイレクト→ファイン→ファインロング→ロング→ダイレクト・・・(以降繰り返し)

参照

録画モードについて→付録の「録画モードについて」(p.204)

ポイント

録画時間の「番組終了まで」を設定するためには、番組表が受信されている必要があります。

PART 4

録画・予約・再生する

さかのぼり録画をする

うっかり見逃してしまった決定的なシーン、ドラマの山場で突然の電話、そんなときは「さかのぼり録画」で解決。

さかのぼり録画って何？

テレビを見ていて、「サッカーのゴールシーンを見逃しちゃった！」「あ、この番組録画しておけばよかった！」なんて経験はありませんか？
でも、もう大丈夫。「タイムシフトモード」なら、今見ている番組を一時停止したり、時間をさかのぼって録画できます。

チェック

- さかのぼり録画や、見ている番組の一時停止をするには、あらかじめ「タイムシフトモード」にしておく必要があります。
- タイムシフトモードで見ていなかった番組については、さかのぼれません。
- さかのぼれる時間は、1分～ 90分の間で設定できます（ご購入時の設定では60分です）。

■ さかのぼり録画のしくみ

さかのぼり録画や、見ている番組の一時停止は「タイムシフト」という機能でおこなっています。
「タイムシフト」とは、見ている番組を、パソコンが自動的に録画し続ける機能です。今まで、リアルタイムで見ていた番組も、実はいったん録画してから再生しているので、一時停止やさかのぼりができるのです。
自動的に録画したデータは、設定した時間を過ぎた分から順に削除されていきます。また、テレビを終了するとすべて削除されるので、ハードディスクも無駄になりません。

タイムシフトモードにする

さかのぼり録画をするために、「タイムシフトモード」にします。ご購入時には、「ライブモード」になっています。

1 【サブメニュー】を押す

2 「テレビ(ライブ)」-「タイムシフト」を選んで【決定】を押す

画面が暗くなって、タイムシフトモードに切り換わります。

「ライブモード」に戻すときは、「ライブ」を選んでください。

チェック

- 「コピー不可」の信号が含まれている映像の場合、タイムシフトモードに切り換えることはできません。信号が検出されると自動的にライブモードに切り換わります。
- タイムシフトモードでは画質(録画モード)が変更できません。

ポイント

- リモコンの【一時停止】を押してタイムシフトモードにすることもできます。このときは、テレビの映像が一時停止します。視聴を続けるときは【再生】を押してください。
- タイムシフトモードのとき、リモコンの【停止】を押してライブモードにすることもできます。
- タイムシフトモードとライブモードには、それぞれ次の特徴があります。
  - ・タイムシフトモード:
    視聴中の番組を一時停止したり、巻き戻したり、さかのぼり録画をしたりできます。
  - ・ライブモード:
    さかのぼり録画などの特別な操作はできませんが、パソコンにかかる負担が小さくなります。
- タイムシフトモードの画質(録画モード)は「ダイレクト」です。
- タイムシフトモードのときは、チャンネル切り換えに10秒程度の時間がかかります。

見ている番組を操作する

タイムシフトモードで見ている番組は、ビデオのように操作できます。

●一時停止
【一時停止】を押します。もとに戻すときは、【再生】を押します。
一時停止できる時間は、ご購入時の状態では60分までです。

●巻き戻し
【巻戻し】を押します。再生を始めたいところで【再生】を押すか、巻き戻せる限界まで巻き戻すと、再生が始まります。
巻き戻せる時間は、ご購入時の状態では60分までです。
【巻戻し】を押すたびに、巻き戻しのスピードが4段階で早くなります※。

●早送り
【早送り】を押します。再生を始めたいところで【再生】を押すか、リアルタイムの放送に追いつくと再生が始まります。
【早送り】を押すたびに、早送りのスピードが4段階で早くなります※。リアルタイムの放送に追いつくと、【早送り】は使えなくなります。

※巻き戻し、早送りの速度表示は目安としてご利用ください。

●スキップ
【スキップ】を押します。約30秒前または後の映像から再生します。

●スロー再生
一時停止した状態で【早送り】または【巻戻し】を押すと、前後方向にスロー再生をおこないます。

参照

一時停止や巻き戻しできる時間の変更について→オンラインヘルプ(p.158)の「設定」-「録画/再生/予約」-「録画/タイムシフト」

チェック

●巻き戻せるのは、今までタイムシフトモードで視聴していた番組だけです。

●巻き戻せるのは、タイムシフトモードに切り換えた時点までです。

●タイムシフトモードのとき、リモコンの【停止】を押すとライブモードに切り換わります。

さかのぼり録画をする

実際にさかのぼり録画をしてみましょう。

1 リモコンの【巻戻し】を押す

リアルタイムからどのくらい巻き戻しているかが画面に表示されます。

巻き戻し中にリアルタイムで放送されているシーンも、カットされないので見逃しはありません。

チェック

さかのぼり録画の画質(録画モード)は「ダイレクト」です。変更はできません。

2 録画を始めたいところより前まで戻ったら、【再生】を押す

3 録画を開始したい場面で、【録画】を押す

4 リアルタイムに追いつきたいときは、【早送り】を押す

5 録画を終了するときは、【停止】を押す

録画を終了するときは、手順4の方法でリアルタイムに追いついてから停止することをおすすめします。

ポイント

【録画】を押してから、実際に録画が開始されるまで、少しの間があるので、録画したいシーンよりも少し前から録画を始めることをおすすめします。

チェック

さかのぼり録画をする場合、それまでハードディスクに書き込まれていた番組が録画保存されます。このときリアルタイムに受信している番組のハードディスクへの書き込みも同時におこなわれています。そのため、5分巻き戻して録画開始し、30分後に録画を停止させた場合、計35分の録画ファイルが保存されます。ハードディスクの空き容量にご注意ください。

ポイント

【録画】を連続して押すと、録画時間を次のように設定できます。
無期限→番組終了まで(番組表を受信している必要があります)→15分後→30分後→60分後→90分後→120分後→無期限…（以降繰り返し）

PART 4
録画・予約・再生する

おてがる予約をする(番組表で予約する)

パソコンをハードディスクレコーダとして使ってみましょう。テレビの見方が変わります。

おてがる予約って何？

パソコンでテレビを見る楽しみの1つが、録画です。パソコンでの番組録画は、ハードディスクレコーダと同じ。パソコンのハードディスク内に録画するから、山のようなビデオテープが邪魔になることはありません。
「おてがる予約」は、新聞のテレビ欄のような番組表から番組を選んで予約する方法です。お気に入りのシリーズものの番組を毎週録画するように設定することもできます。気になる番組をどんどん録画して好きな時間に見る。そんな新しいテレビの見方が始まります。

■ まだある、ほかの予約方法

ここでは、もっとも基本的な、番組表で予約する方法を説明します。
まずは、このやり方をおすすめしますが、慣れてきたら、こんな予約の方法はどうでしょう？

●番組検索で、まとめて予約
番組表では、番組のジャンルやキーワードから番組を検索できます。そこで、見たいジャンルやタレントの名前などから番組を検索して、まとめて予約してしまうと便利。番組表は最大8日分表示されるので、1週間に一度の予約で間に合うかも？

チェック

表示される番組表の日数は、地域によって異なります。

参照

●番組表について→PART2の「番組表を使う」(p.36)
●番組を検索して予約する方法→このPARTの「番組を検索して予約する」(p.108)

●条件にあわせて自動で録画
このパソコンには、設定したキーワードなどの条件に合った番組を自動的に録画する「おまかせ録画」機能や、新番組のドラマやアニメを自動的に録画する「新番組自動録画」機能があります。これらの機能を利用すれば、今まで気づかなかった番組を見つけられるかもしれません。

参照

●おまかせ録画について→このPARTの「おまかせ録画をする」(p.121)
●新番組自動録画について→このPARTの「新番組おまかせ録画をする(新番組自動録画)」(p.128)

おてがる予約をする

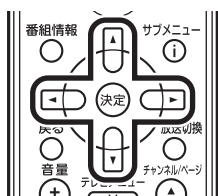
番組表から録画の予約をしてみましょう。ここでは例として、地上デジタル放送の番組を予約します。

このパソコンは2つのレコーダ(チューナー)を搭載しており、同じ時間帯に放送されている番組を、2つまで録画することができます。
なお、2つの番組を同時に録画するときは、どちらかの番組を録画モード「ダイレクト」で録画してください。
ほかにも、同時に使用する機能によって、一部制限があります。詳しくは「ダブル録画をおこなうときのご注意」(p.91)をご覧ください。

1 リモコンの【テレビメニュー】を押す

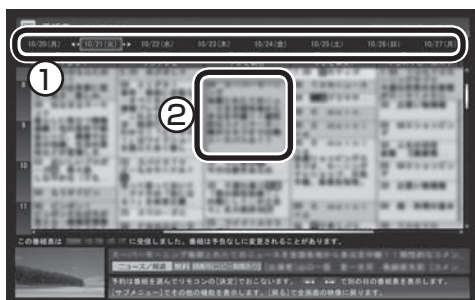
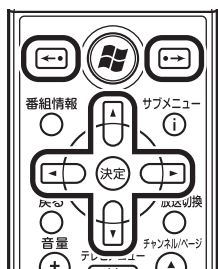
テレビメニューが表示されます。

2 「番組表」の、予約する放送の種類を選んで【決定】を押す

ここでは「地上デジタル」を選びます。

番組表が表示されます。

3 予約する番組を決める

① リモコンの【⇠】【⇢】で日付を選ぶ

② 予約したい番組を選んで【決定】を押す

番組を予約する画面が表示されます。

ポイント

- 【番組表】を押すと、最後に視聴していた放送波で番組表が表示されます。
- 予約を始める前に、パソコンの時計を合わせておいてください。時計がずれていると、録画時間などがずれてしまいます。
パソコンの時計は、デジタル放送を受信していると自動的に修正されます。

参照

番組表について→PART2の「番組表を使う」(p.36)

チェック

- 放送中の番組を選んで【決定】を押したときは、「予約する」と並んで「視聴する」と表示されます。「視聴する」を選んで【決定】を押すと、その番組を見ることができます。録画はされません。
- 番組の残り時間が5分未満の場合は、予約する画面は表示されずに、その番組が表示されます。
- 同じ時間帯に放送されている番組を、2つまで録画予約することができます。
- 放送の種類(放送波:地上デジタル/BSデジタル/110度CSデジタル)を切り換えたいときは、【テレビメニュー】を押して、手順2の操作で選び直してください。

4 予約内容を設定する

① 番組の情報を確認する

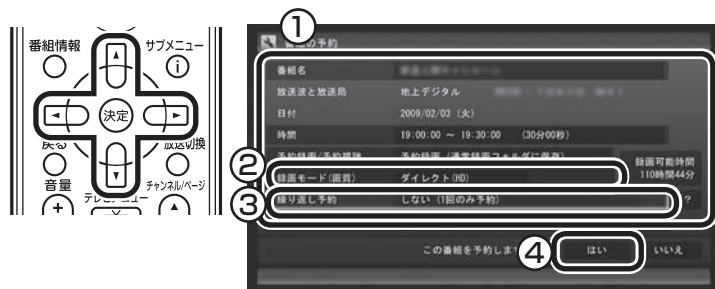
② 「録画モード」を選ぶ
「録画モード」を選んで【決定】を押し、表示された一覧から録画モードを選んでもう一度【決定】を押してください。

③ 「繰り返し予約」を設定する
「繰り返し予約」を選んで【決定】を押し、表示された一覧から繰り返し予約の種類を選んでもう一度【決定】を押してください。

●「しない(1回のみ予約)」
番組表で選んだ番組のみを録画します。通常はこちらを選んでください。

●「する(毎回予約)」
シリーズものの番組を続けて録画します(次回以降の放送も自動的に録画)。

●「する(時間指定で予約)」
予約した放送局の、同じ曜日・同じ時間帯の番組を繰り返し録画します。
「詳細設定」で、録画する曜日を追加設定することもできます。

④ 「はい」を選んで【決定】を押す

「番組の予約」画面が閉じ、「予約しました」というメッセージが表示されます。
同じ時間帯に複数の録画予約をするときは、次のことに注意してください。

●同じ時間帯に2つの録画予約が入っているとき、新たに3つめの予約を入れようとすると、予約の重複の画面が表示されます。画面の指示にしたがって、残す予約と取り消す予約を選んでください。

●同じ時間帯に「ダイレクト」以外の録画モード(ファイン、ファインロング、ロング)で録画予約が入っているとき、新たに「ダイレクト」以外の録画モードで予約を入れようとすると、予約の重複の画面が表示されます。画面の指示にしたがって、どちらかを「ダイレクト」に変更してください。

参照

録画モードの用途と特徴について→このPARTの「録画について」(p.88)

チェック

●「繰り返し予約」を「する(毎回予約)」に設定したとき、番組を予約する画面で設定を変更できるのは、「予約録画/予約視聴」と「録画モード(画質)」のみとなります。他の項目は変更できません。

●「繰り返し予約」を「する(毎回予約)」に設定しても、番組表で取得された番組名が予約時と異なる場合は、それがシリーズものの番組であっても録画されないことがあります。

●「繰り返し予約」を「する(毎回予約)」に設定したとき、自動的に予約される番組は、同じチャンネルの同じ番組名の番組となります。なお、予約時の番組名に[再](再放送)が含まれる場合は、2回目以降も番組名に[再]が含まれる番組を録画します。予約時の番組名に[再]が含まれない場合は、2回目以降も番組名に[再]が含まれない番組を録画します。

●番組の開始時刻と終了時刻を変更すると「詳細設定」で「放送時間変更」は指定できなくなります。

●録画の開始時刻や終了時刻を手動で変更したとき、変更した時刻については延長などによる番組の放送時間の開始/終了の変更には追従しません。

●「予約録画/予約視聴」で「予約視聴」を選ぶと、テレビの視聴を予約することができます。この場合は、スリープやスクリーンセーバーからの復帰時にパスワードの確認画面が表示されないようにしてください。

●「繰り返し予約」を「する(時間指定で予約)」に設定すると、番組の延長などによる放送時間の開始/終了の変更には追従しません。放送時間の開始/終了に追従する予約にするには、番組表から予約しなおしてください。

5 【決定】を押す

番組表に戻ります。
テレビ画面に戻るときは、【戻る】を押してください。

これで、番組の予約ができました。

- ●予約後は、電源コードを差したままにしておいてください。予約が実行されません。
- ●予約をした後、パソコンを使わないときは、パソコンを省電力状態(スリープ状態/休止状態)にしておくか、電源を切っておきます。予約した時間になると、パソコンが自動的に復帰して予約を実行します(しっかり予約録画)。
- ●予約録画した番組の再生方法については、このPARTの「録画した番組を再生する」(p.114)をご覧ください。

ポイント

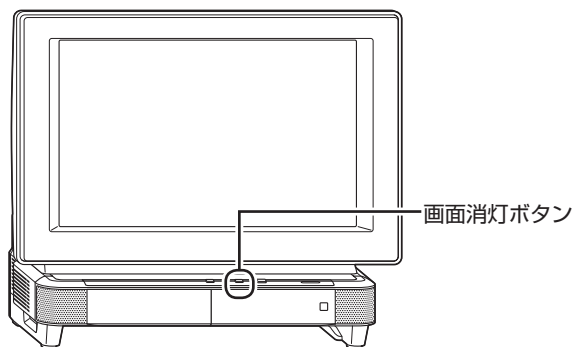
- ●「繰り返し予約」を「する(毎回予約)」に設定すると、スポーツ中継の延長などで録画する番組の放送時間が変更されると、それに追従して録画します。
- ●「繰り返し予約」を「する(時間指定で予約)」に設定すると、スポーツ中継の延長などで録画する番組の放送時間が変更されたときでも、あらかじめ設定された時間帯の番組(最初に予約した放送局の同じ曜日・同じ時間帯の番組)を録画します。
- ●予約内容は「予約一覧」画面で確認できます。録画予約の変更や削除は、シリーズごとにおこないます。

参照

- ●録画するときの制限事項について→「ダブル録画をおこなうときのご注意」(p.91)
- ●視聴予約について→このPARTの「視聴予約について」(p.103)
- ●予約の確認や変更、取り消しについて→このPARTの「予約の確認や変更、取り消しをする」(p.105)

■ ナイトモードにする(VALUESTAR W、VALUESTAR Nのみ)

ナイトモードにすると、画面や音声をオフにした状態で録画することができます。就寝中や外出中の録画に便利です。また、録画途中からでもナイトモードに切り換えられます。

●VALUESTAR W
本体の画面消灯ボタンを押すと、ナイトモードとなり、ボタンのランプが青色に点灯します。もとに戻すときは、もう一度画面消灯ボタンを押します。

●VALUESTAR N
本体右側面の明るさ調節つまみ/画面消灯ボタンを押すと、ナイトモードとなり、本体右側面の画面消灯ランプが青色に点灯します。もとに戻すときは、もう一度明るさ調節つまみ/画面消灯ボタンを押します。

ポイント

イラストは、モデルによって異なります。

■ 視聴予約について

録画の予約と同様の手順で操作し、「番組の予約」画面の「予約録画/予約視聴」で「予約視聴」を選ぶと、テレビの視聴を予約(視聴予約)できます。
視聴予約すると、設定した時間に予約した番組が表示されます。
予約した時間までパソコンを省電力状態にしたり電源を切ったりするときは、次の設定をおこなってください。一度おこなえば、毎回設定する必要はありません。

● 「テレビメニュー」の「設定」-「予約録画の設定」を選んで【決定】を押し、表示されたメニューから「自動ログオンの設定」を選んで【決定】を押して、「自動ログオンの設定」で自動ログオンユーザーのテストと設定をおこなってください。

● 「スタート」-「コントロールパネル」-「システムとメンテナンス」-「スリープ解除時のパスワードの要求」で「スリープ解除時のパスワード保護」の「パスワードを必要としない」を◉にしてください。

● 「スタート」-「コントロールパネル」-「デスクトップのカスタマイズ」-「スクリーンセーバーの変更」で「再開時にログオン画面に戻る」を□にしてください。

参照

録画の予約について→このPARTの「おてがる予約をする(番組表で予約する)」(p.98)

自動ログオンで設定されたユーザーと異なるユーザーで省電力状態にすると、パソコンが起動するときに自動的にログオンできずに、予約録画やテレビの起動が失敗する場合があります。
自動ログオンしたユーザーでパソコンを終了することをおすすめします。

予約の実行について

予約実行の5分前になると、次のような画面が表示されます。

このときログオンユーザーを切り換えたりすると、予約が実行できなくなります。

■ 省電力状態または電源が切れている状態のときは

予約時間の約8分から5分前にパソコンが自動的に起動します。予約視聴の場合を除いてSmartVisionは起動せずに予約を実行します。予約の実行が終了すると、スリープ状態に移行するという内容のメッセージが表示されます。パソコンを続けて使うときは「キャンセル」をクリックしてください。「すぐに移行」を選ぶか60秒経過すると、自動的にスリープ状態になります。

ポイント

- SmartVisionを手動操作で起動してテレビを視聴しているときは、予約終了時刻になってもスリープ状態にするメッセージは表示されません。自動的にスリープ状態にしたい場合は、SmartVisionを終了させておいてください。
- 予約による起動や、予約終了後の動作は設定を変更することができます(p.112)。

予約の確認や変更、取り消しをする

いったん予約をした後で、予約内容を変えたり取り消したりするには、次の手順で操作します。

1 リモコンの【テレビメニュー】を押す

テレビメニューが表示されます。

2 「予約」の「予約一覧」を選んで【決定】を押す

予約一覧が表示されます。

3 予約内容を確認または変更したい番組を選んで【決定】を押す

予約の内容が表示されます。

4 予約内容を確認または変更し、「予約を変更」を選んで【決定】を押す

予約一覧に戻ります。

ポイント

● 【←•】【•→】を押して、予約の種類を切り換えることができます。

● 表示されるアイコンの意味は、次のとおりです。

- :ハードディスクの容量不足
- :繰り返し予約
- おまかせ :おまかせ録画
- REC :ハードディスクに録画
- :予約視聴
- 新 :新番組自動録画

参照

録画番組を削除するには→このPARTの「録画した番組を削除する」(p.116)

ポイント

ここで「予約を取消」を選んで【決定】を押すと、予約を取り消せます。

録画するときに、番組の開始時刻と終了時刻を変更すると「詳細設定」で「放送時間変更」は指定できなくなります。

5 【戻る】を押す

テレビ画面に戻ります。

予約の確認、変更はこれで完了です。

予約の結果を確認する

予約した録画が成功したかどうかを確認できます。録画番組一覧に録画した番組が見あたらないときは、この方法で確認してください。

1 リモコンの【テレビメニュー】を押す

テレビメニューが表示されます。

2 「予約」の「結果一覧」を選んで【決定】を押す

予約結果一覧が表示されます。

3 予約結果を確認する

予約結果は、「成功」、「失敗」の2種類で表示されます。

ポイント

- 【←】【→】を押して、予約の種類を切り換えることができます。
- 表示されるアイコンの意味は、次のとおりです。
  - :ハードディスクの容量不足
  - :繰り返し予約
  - :おまかせ録画
  - :ハードディスクに録画
  - :予約視聴
  - :新番組自動録画

予約するときの注意

番組を予約するときは、次のことに注意してください。

- ●同じ時間帯の番組を3つ以上予約することはできません。
- ●200件まで予約できます(番組表受信予約、おまかせ録画を含む)。
- ●パソコンを長時間使用した後に予約録画をする場合は、一度パソコンを再起動してから録画予約の設定をすることをおすすめします。
- ●スリープまでの時間は、5分以上に設定してください。
- ●予約は、現在の時刻から3分以上後の番組が対象です。
- ●録画は、開始時刻より若干(2 ～ 6秒)遅れて開始される場合があります。
- ●予約開始前に、パソコンを電源オフの状態から自動起動する設定にしているときは、予約開始時刻の10分前を過ぎてから電源オフの状態にすると自動起動できません。また、パソコンの電源を強制的に切った場合は、自動起動できません。
- ●1か月以上先の予約をする場合は、電源を切った状態から自動起動しません。パソコンを省電力状態にしてください。
- ●予約後は、電源コードを差したままにしておいてください。抜いてしまった場合は、一度、パソコンを起動して予約を確認してください。
- ●放送時間が連続した複数の番組を録画予約する場合、次のようになります。
  録画開始時:録画開始処理のため、番組開始から若干(最大5秒)遅れて録画が開始されます。
  録画終了時:最初の録画は番組終了時刻の15秒前に終了します。
- ●「繰り返し予約」を「する(時間指定で予約)」に変更すると、番組の延長などによる放送時間の開始/終了の変更には追従しません。放送時間の開始/終了に追従する予約にするには、番組表から予約しなおしてください。
- ●「時刻指定予約」で予約した場合、番組の延長などによる放送時間の開始/終了の変更には追従しません。

PART 4 録画・予約・再生する

番組を検索して予約する

「今週の番組表から好きな俳優の出ている番組だけを探したい」
こんなときには番組表を検索して、その人が出ている番組だけを一覧で見ることができます。

検索できる番組

番組表のデータから、出演者などのキーワードを指定して番組を検索できます。また、検索した番組を予約することもできます。

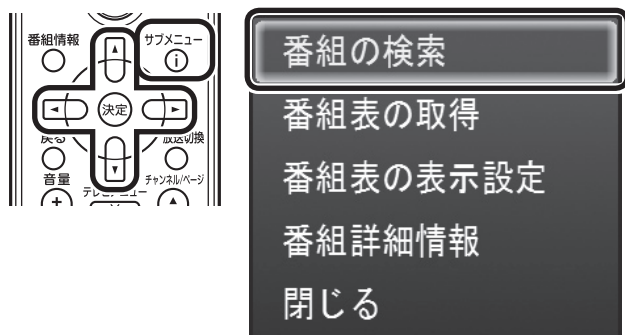
番組表のデータがないときは、番組を検索できません。

検索した番組を予約する

1 リモコンの【テレビメニュー】を押す

テレビメニューが表示されます。

ポイント

【番組表】を押して、番組表を表示させることもできます。

2 「番組表」の、予約する放送(検索する放送)の種類を選んで【決定】を押す

ここでは「地上デジタル」を選びます。

番組表が表示されます。

3 【サブメニュー】を押して、表示されたメニューから「番組の検索」を選んで【決定】を押す

「番組表の検索」画面が表示されます。

4 検索条件を設定して、検索する

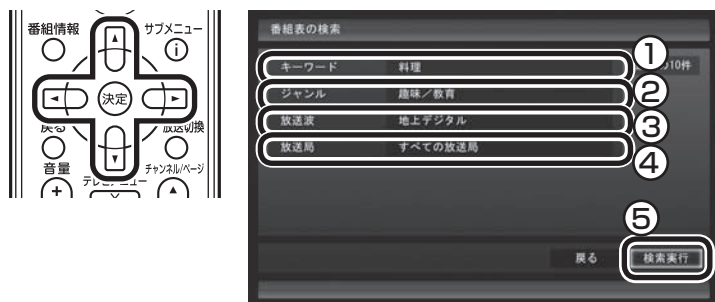
次の①〜④の項目を検索条件として設定します。すべてを設定する必要はありません。

① キーワードを入力する
「キーワード」を選んで【決定】を押し、キーボードで検索用のキーワードを入力して、もう一度【決定】を押します。

② ジャンルを選ぶ
「ジャンル」を選んで【決定】を押し、検索用のジャンルを選んで、もう一度【決定】を押します。

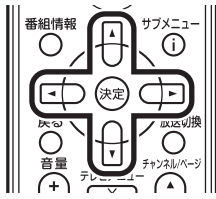
③ 放送波を選ぶ
放送波を変更する場合は、「放送波」を選んで【決定】を押し、検索する放送波を選んで、もう一度【決定】を押します。

④ 放送局を選ぶ
「放送局」を選んで【決定】を押し、検索する放送局を選んで【決定】を押します。

⑤「検索実行」を選んで【決定】を押す

検索が始まります。検索が終わると検索結果が表示されます。
表示された番組を予約するときは、次の手順をおこなってください。

ポイント

- キーワードはキーボードを使って入力してください。
- キーワードには、出演者や番組タイトルなどを入力してください。

5 予約したい番組を選んで【決定】を押す

「番組の予約」画面が表示されます。
この後の手順は、このPARTの「おてがる予約をする」の手順4以降(p.100)をおこなってください。
番組表の画面に戻りたいときは、【サブメニュー】を押して、表示されたメニューから「検索の終了」を選んで【決定】を押してください。

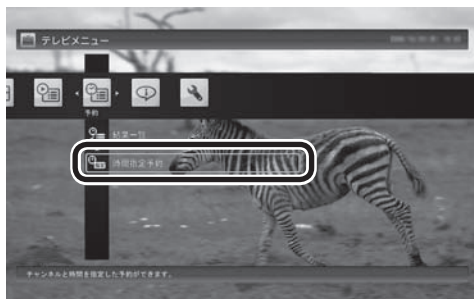
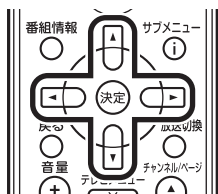
ポイント

リモコンの【番組情報】を押すと、番組の詳しい情報が表示されます。

PART 4 録画・予約・再生する

番組表を使わないで予約する

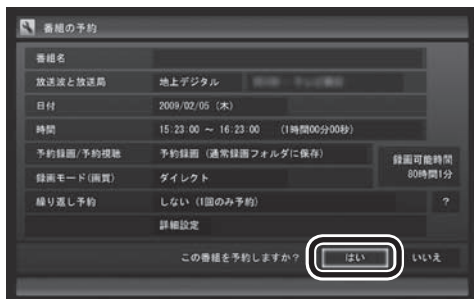
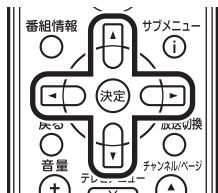
録画予約したい時間までに番組表が受信できないときなど、番組表を使った予約ができないときは、次の手順で予約できます。

放送波(放送の種類)、放送局、放送時間などを指定して予約できます。

1 リモコンの【テレビメニュー】を押す

テレビメニューが表示されます。

2 「予約」の「時間指定予約」を選んで【決定】を押す

予約を設定する画面が表示されます。

3 必要に応じて設定をおこない、「はい」を選んで【決定】を押す

「番組の予約」画面が閉じます。

これで設定は完了です。

チェック

●この方法で録画するときは、録画中に【番組情報】を押しても「録画モード」にデジタル放送の種別を表す(HD)や(SD)が表示されません。
録画終了後の録画番組一覧で確認してください。

●番組の延長などによる放送時間の開始/終了の変更には追従しません。

PART 4

録画・予約・再生する

予約実行前後の動作を設定する

予約録画、予約視聴、番組表の予約受信を実行するときに、省電力状態や電源を切った状態から起動したり、また予約実行後に省電力状態にしたり、電源を切ったりできます。

1 リモコンの【テレビメニュー】を押す

テレビメニューが表示されます。

2 「設定」の「予約録画の設定」を選んで【決定】を押す

「予約録画の設定」画面が表示されます。

3 「電源設定」を選んで【決定】を押す

「電源設定」画面が表示されます。

参照

省電力状態について→「ソフト＆サポートナビゲーター」-「パソコンの各機能」-「省電力機能」

4 予約録画、予約視聴、番組表の受信を開始する前の動作を設定する

設定を選んで【決定】を押し、設定する項目を選んでもう一度【決定】を押します。

「スリープ状態/休止状態/シャットダウンから起動する」を選ぶと、省電力状態や電源を切った状態からパソコンが自動的に起動して、予約録画、予約視聴、番組表の受信を実行します。
「スリープ状態/休止状態から起動する」を選ぶと、省電力状態からパソコンが自動的に復帰して、予約録画、予約視聴、番組表の受信を実行します。この場合はパソコンの電源が切れていると予約は実行されません。

5 予約録画、予約視聴、番組表の受信終了時の動作を設定する

① 設定を選んで【決定】を押し、設定する項目を選んでもう一度【決定】を押す

② 「終了」を選んで【決定】を押す

これで、設定した動作をするようになります。

チェック

- 「電源を切る（シャットダウン）」を選んだ場合は、設定変更後に録画予約などをおこなうときのために、「自動ログオン」の設定をしてください。
- 「電源を切る（シャットダウン）」に設定している場合は、予約実行時に複数のユーザーがログオンした状態にならないようにしてください。複数のユーザーがログオンしている状態にすると、以降の予約が実行されません。
- 電源を切った状態から予約や番組表の受信を実行できるのは、「自動ログオン」で設定されたユーザーのみです。

参照

自動ログオンの設定について→付録の「自動ログオンの設定をする」（p.202）

ポイント

予約録画、番組表予約受信終了の時点でテレビを見ている場合や、もとからテレビを見ているときに予約視聴が開始された場合は、終了時に確認画面が表示されず、そのままテレビを利用できます。

PART 4

録画・予約・再生する

録画した番組を再生する

録画した番組は、番組名から選んで再生できるので、「見たい番組がどこにあるのかわからない」なんてことにはなりません。

再生の方法

録画した番組を再生してみましょう。テレビメニューの録画番組一覧には、録画した番組名が日付順に並んでいるので、見たい番組を見つけるのも簡単です。

1 リモコンの【テレビメニュー】を押す

テレビメニューが表示されます。

2 「録画番組一覧」の「通常 録画フォルダ」を選んで【決定】を押す

「録画番組一覧」画面が表示されます。

3 再生したい番組を選んで【決定】を押す

Ⓐここで録画番組の保存された録画フォルダを選ぶことができます。

Ⓑリモコンの【⇠】【⇢】でジャンルを絞り込んで表示できます。

Ⓒ再生したい番組を選びます。

ポイント

- 【録画番組】を押して、「録画番組一覧」画面を表示させることもできます。
- 録画した番組の名前は、録画したときの状況によって、次のようになります。
  - ・番組表データがある場合：番組情報の番組名になります
  - ・番組表データがない場合：「番組名なし」になります
- 番組のサムネイル画像に表示されるマークの意味は以下のとおりです。
  - ・「未」：まだ一度も再生していない番組
  - ・「お」：「おまかせ録画」した番組
- 「おまかせ録画」の番組を再生するときや、追加した録画フォルダの番組を再生するときは、それぞれの録画フォルダを選んでください。
- 短時間（1 ～ 3秒程度）だけ録画した番組は正しく再生できません。再生しても映像が表示されず、画面は黒いままとなります。

参照

「おまかせ録画」について→このPARTの「おまかせ録画をする」（p.121）

再生が始まります。
再生中は、普通のビデオと同じように、一時停止、早送り、巻き戻し、スキップの操作ができます。

ポイント

早送り、巻き戻しは4段階で切り換えることができます。

4 再生を終了するときは、【停止】を押す

「録画番組一覧」に戻ります。

次に同じ番組を再生するときは、停止した場所から再生されます。

ポイント

サブメニューの「最初から再生」を選ぶと、番組の最初から再生できます。

■ テレビを見る画面に戻る

「録画番組」画面から、テレビを見る画面に戻るには、次の手順で操作します。

1 リモコンの【テレビメニュー】を押す

テレビメニューが表示されます。

2 視聴したい放送波とチャンネルを選んで【決定】を押す

録画した番組を削除する

見終わって、もう必要のない録画番組は削除しましょう。録画データはファイルサイズが大きいので、必要のない録画データを残しておくとハードディスクの無駄になります。
ここでは、番組をひとつずつ削除する方法と、複数の番組をまとめて削除する方法を説明します。

録画フォルダを作って、録画番組を整理をすることができます。

参照

録画番組の整理について→PART6の「録画した番組を整理する」(p.162)

■ 番組をひとつずつ削除する

1 リモコンの【テレビメニュー】を押す

テレビメニューが表示されます。

2 「録画番組一覧」で、削除したい録画番組が保存されている録画フォルダを選んで【決定】を押す

「録画番組一覧」画面が表示されます。

3 削除したい番組を選ぶ

① 番組を選んで【サブメニュー】を押し、「番組の削除」を選んで【決定】を押す

② 「ひとつ削除」を選んで【決定】を押す

削除を確認する画面が表示されます。

「まとめて削除」を選ぶと、複数の番組をまとめて削除できます。次の「複数の番組をまとめて削除する」をご覧ください。

チェック

削除する番組と同じグループの番組を外付けハードディスクに保存している場合は、必ず外付けハードディスクを接続した(使用できる)状態で番組を削除してください。外付けハードディスクが取り外された(使用できない)状態で番組を削除すると、外付けハードディスクに保存された番組が利用できなくなります。

参照

番組のグループについて→PART5の「光ディスクに保存するときのご注意」(p.146)

4 「はい」を選んで【決定】を押す

これで、録画番組が削除されました。

■ 複数の番組をまとめて削除する

1 「番組をひとつずつ削除する」(p.116)の手順1 ～手順2をおこなう

「録画番組一覧」画面が表示されます。

2 削除したい番組を選ぶ

① 番組を選んで【サブメニュー】を押し、「番組の削除」を選んで【決定】を押す

② 「まとめて削除」を選んで【決定】を押す

複数の番組が選択できるようになります。

3 削除したい番組を選んで【決定】を押す

選んだ番組にはチェックマークがつきます。手順3を繰り返して、削除したい番組にチェックマークをつけてください。
チェックマークを外したいときは、もう一度その番組を選んで【決定】を押してください。

削除する番組と同じグループの番組を外付けハードディスクに保存している場合は、必ず外付けハードディスクを接続した(使用できる)状態で番組を削除してください。外付けハードディスクが取り外された(使用できない)状態で番組を削除すると、外付けハードディスクに保存された番組が利用できなくなります。

4 【サブメニュー】を押し、「まとめて削除」を選んで【決定】を押す

削除を確認する画面が表示されます。

5 「はい」を選んで【決定】を押す

これで、録画番組が削除されました。

PART 4 録画・予約・再生する

追っかけ再生する

録画予約したドラマが途中まで放送されたところに帰宅。でも録画が終わるまで待っている必要はありません。「追っかけ再生」で、録画中の番組を最初から見ることができます。

追っかけ再生って何？

追っかけ再生は、番組を録画しながら、同時に再生できる機能です。録画予約した番組なら、その番組が途中まで放送されていても、はじめから再生することができます。
早送りで「追っかけ」れば、リアルタイムの放送に追いつくこともできます。

ポイント

追っかけ再生していた番組の録画が終了しても、そのままテレビを見ることができます。

録画中の番組を再生する（追っかけ再生）

1 リモコンの【テレビメニュー】を押す

テレビメニューが表示されます。

2 「録画番組一覧」の「通常 録画フォルダ」を選んで【決定】を押す

「録画番組一覧」画面が表示されます。

3 録画中の番組を選んで【決定】を押す

Ⓐここで録画番組の保存された録画フォルダを選ぶことができます。

Ⓑリモコンの【⇠】【⇢】でジャンルを絞り込んで表示できます。

Ⓒ赤い●の表示された録画中の番組を選びます。

追っかけ再生が始まります。

追っかけ再生中に一時停止や巻き戻しなどの操作をしても、録画は中断されずに続行します。【停止】を押すと再生が終了し、次に再生するときは停止した場所から始まります。

ポイント

●【録画番組】を押して、「録画番組一覧」画面を表示させることもできます。

●録画した番組の名前は、録画したときの状況によって、次のようになります。

・番組表データがある場合：番組情報の番組名になります

・番組表データがない場合：「番組名なし」になります

●「おまかせ録画」の番組を再生するときは、「おまかせ」録画フォルダを選んでください。

参照

「おまかせ録画」について→このPARTの「おまかせ録画をする」(p.121)

タイムシフトモードでの操作とは異なり、【停止】を押しても録画は継続します。

タイムシフトモードについて→「タイムシフトモードにする」(p.95)

おまかせ録画をする

ジャンルやキーワードから番組を自動的に録画してくれる「おまかせ録画」機能を使ってみましょう。

おまかせ録画って何？

おまかせ録画は、ジャンルやキーワードをあらかじめ登録しておくと、条件に合った番組を自動的に探して録画してくれる機能です。
たとえば、こんな使い方はどうでしょう？

●毎週、放送時間が変わってしまう番組や、放送が不定期な番組を録画するとき
おまかせ録画で、番組名をキーワードにして、ジャンル、放送局を指定して条件を登録します。こうすると、自動的にその番組を録画します。放送時間や放送日程をいちいち確認する必要はありません。

●お気に入りのタレントの出ている番組を録画したいとき
おまかせ録画で、タレントの名前をキーワードにして、ジャンルや放送局を指定せずに条件を登録します。こうすると、自動的にキーワードに登録したタレントが出ている番組を録画します。

自動的に録画

チェック

おまかせ録画は、番組表の「番組名」や「詳細情報」に出てくる言葉をキーワードにして番組を探します。そのため、タレント名や番組名を登録しても、番組表の番組名、詳細情報の記載と一致しない場合は録画されません。

ポイント

●番組名は、番組表に省略されて記載されていることがあります。あらかじめ番組表で確認をして、番組名の一部などをキーワードにすることをおすすめします。

●おまかせ録画で番組が録画されたときは、録画したことをお知らせするメッセージが表示されます。

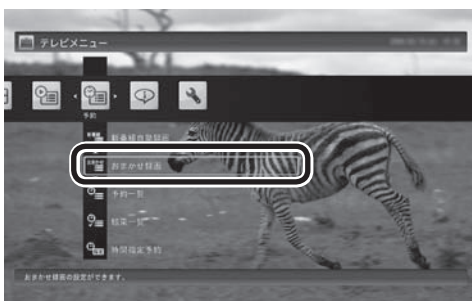
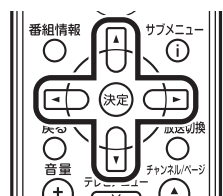
参照

おまかせ録画について→オンラインヘルプ(p.158)の「使ってみよう(導入編)」-「SmartVisionで録ろう！」-「録画する条件を設定して、おまかせ録画をしよう」

おまかせ録画を有効にする

おまかせ録画では、お好みの条件やキーワードを登録することができますが、ご購入時の状態でもあらかじめいくつかの条件が登録されています。ここでは、登録済みの条件からおまかせ録画をする方法を説明します。

おまかせ録画の条件の登録方法→このPARTの「おまかせ録画を登録する」(p.123)

1 リモコンの【テレビメニュー】を押す

テレビメニューが表示されます。

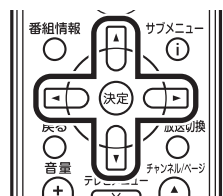
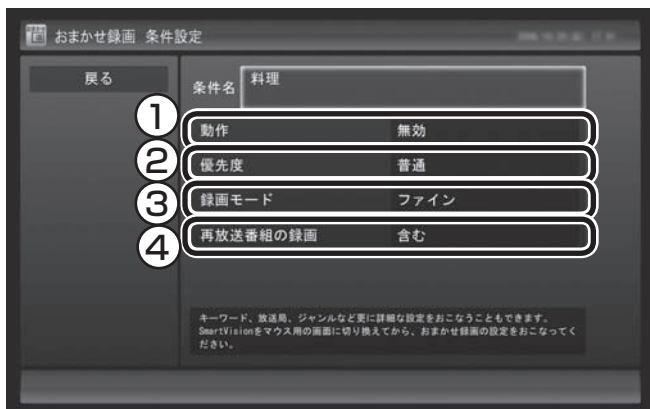
2 「予約」の「おまかせ録画」を選んで【決定】を押す

おまかせ録画の条件一覧が表示されます。

3 予約したい条件名を選んで【決定】を押す

条件設定の画面が表示されます。

4 おまかせ録画の条件を決める

① 動作
この条件のおまかせ録画をするかどうかを選びます。「有効」になっている条件のみ録画されます。

② 優先度
おまかせ録画の条件同士で予約が重複したときの優先度を設定します。

③ 録画モード
番組を録画するときの録画モードを選びます。

④ 再放送番組の録画
再放送の番組を録画するかどうかを選びます。

5 「戻る」を選んで【決定】を押す

6 「終了」を選んで【決定】を押す

これで、おまかせ録画が有効になります。

ポイント

マウスで使うための画面で、さらに細かい条件(キーワードや放送局、曜日など)を設定できます。詳しくは次の「おまかせ録画を登録する」をご覧ください。

おまかせ録画を登録する

おまかせ録画で録画するために、キーワードなどの条件を登録します。キーワードなどの入力は、マウスで使うための画面でおこないます。

1 テレビを表示して、マウスを動かす

画面の左下に操作パネルが表示されます。

2 「画面」ボタンをクリック

画面が切り換わります。

参照

マウスで使うための画面を表示する→PART6の「マウスで使うための画面」(p.156)

ポイント

操作パネルのボタン表示は、見ている状態によって異なります。

「画面」ボタンが表示されていないときは、テレビを見ている状態や録画番組を視聴している状態にしてください。

3 (予約&結果一覧)をクリック

4 「予約一覧」タブの おまかせ (おまかせ)をクリック

「おまかせ録画条件一覧」画面が表示されます。

5 「新規追加」をクリック

「条件入力」画面が表示されます。

ポイント

リモコンで使う画面に戻す(切り換える)には、「画面モード切換タブ」のいちばん左のタブ(フルスクリーン)をクリックします。

6 おまかせ録画の条件を登録する

① 登録した条件に名前をつける
登録した条件に名前をつけるときはクリックして☑にし、条件名を入力します。名前をつけない場合は、自動的に名前が登録されます。

② キーワードを入力する
番組のキーワードになる言葉を入力します。キーワードを追加する場合は、「絞り込む」をクリックしてキーワードを追加してください。

③ 番組のジャンルと放送局に関する条件を設定する

④「録画設定」を設定する
予約が重複したときの優先度と、録画画質を指定します。

⑤ 必要に応じて詳細な設定をする
[>>]をクリックすると、詳細な検索条件が設定できます。

⑥「候補一覧表示」をクリックする
設定した条件で録画される番組を表示します。ただし、すでに予約している別の番組と重なると、先に予約していた番組の録画が優先されます。
表示された番組の中で録画したくない番組がある場合は、その番組をクリックして、「番組除外」をクリックします。以降、その番組はおまかせ録画で録画されなくなります。
なお、おまかせ録画の条件に一致する番組が予約されるのは、次のタイミングです。
・おまかせ録画(優先度高):放送の7日前
・おまかせ録画(優先度普通・低):放送の2日前

ポイント

● □のままの条件はすべてが対象になります(例:「放送局」が□の場合は、すべての放送局が対象)

●「キーワード」、「絞り込む」、「さらに絞り込む」の3つの枠に入れたキーワードすべてに当てはまる番組が録画されます。また、1つの枠には、複数のキーワードを改行で区切って入力できます。その場合は、区切って入れたキーワードのどれかに当てはまる番組が録画されます。

この場合は、次の4パターンの番組がすべて録画されます。

1.「旅・海・沖縄」がキーワードの番組
2.「旅・海・バリ島」がキーワードの番組
3.「旅・グルメ・沖縄」がキーワードの番組
4.「旅・グルメ・バリ島」がキーワードの番組

● ドラマなどの連続番組を毎回録画するときは、キーワードに番組名を入れるとその番組を自動的に録画します。候補一覧で表示された番組をクリックしてキーワードのエリアにドラッグ＆ドロップすると、番組名を簡単に入力することができます。

チェック

● 深夜0:00 ～ 6:00頃の番組は前日の曜日として扱われます(例:水曜日の深夜2:00の番組を録画するときは、火曜日を指定します)。

● 同じ時間帯に同じ条件の番組が複数あるときは、録画される番組は条件に合った番組の中でランダムに決定されます。

● この方法で録画するときは、録画中に【番組情報】を押しても「録画モード」にデジタル放送の種別を表す(HD)や(SD)が表示されません。
録画終了後の録画番組一覧で確認してください。

7 「候補一覧」の「閉じる」をクリック

「条件入力」画面に戻ります。

8 「登録」をクリック

おまかせ録画の条件が登録されます。

9 「閉じる」をクリック

参照

このほかのおまかせ録画の条件について→オンラインヘルプ(p.158)の「ボタンと使い方」-「ノーマルモード·アドバンストモード共通」-「ダイアログ」-「おまかせ録画ダイアログ」

おまかせ録画した番組を再生する

おまかせ録画で録画した番組は、おてがる予約などで録画した番組とは、別の「おまかせ」録画フォルダに保存されます。

1 リモコンの【テレビメニュー】を押す

2 「録画番組一覧」の「 録画フォルダ」を選んで【決定】を押す

おまかせ録画で録画した番組が表示されます。

これから先は、ほかの録画番組を再生する手順と同じです。
詳しくは、このPARTの「録画した番組を再生する」(p.114)をご覧ください。

■ おまかせ録画をするときの注意

おまかせ録画の条件に一致する番組が予約されるのは、次のタイミングです。
·おまかせ録画(優先度高):放送の7日前
·おまかせ録画(優先度普通·低):放送の2日前
これより前に同じ時間帯の別の番組が予約されたときは、おまかせ録画は実行されません。

■ おまかせ録画の属性を解除する

おまかせ録画で録画した番組は、一定の容量以上になると、古い番組から順番に削除されます。残しておきたい番組があるときは、次の手順でおまかせ属性を解除してください。

1 リモコンの【テレビメニュー】を押す

2 「録画番組一覧」の「 おまかせ 録画フォルダ」を選んで【決定】を押す

おまかせ録画で録画した番組が表示されます。

3 おまかせ属性を解除したい番組を選んで【サブメニュー】を押す

4 一覧から「おまかせ属性の解除」を選んで【決定】を押す

5 「この番組」を選んで【決定】を押す

6 解除を確認する画面で「はい」を選んで【決定】を押す

お の表示が消えて、削除の対象ではなくなります。

ポイント

- 手順5で「全ての番組」を選んで、「おまかせ」録画フォルダ内のすべての番組のおまかせ属性を解除することもできます。
- マウスで使う画面で、「おまかせ」録画フォルダから別の録画フォルダに移動しても、おまかせ属性を解除できます。複数の番組のおまかせ属性をまとめて解除することもできます。詳しくは、PART6の「録画した番組を整理する」(p.162)をご覧ください。

PART 4
録画・予約・再生する

新番組おまかせ録画をする（新番組自動録画）

新しく始まったドラマやアニメを自動的に探して録画してくれる「新番組自動録画」機能を使ってみましょう。

新番組おまかせ録画って何？

新番組おまかせ録画（新番組自動録画機能）は、番組表の情報から新しく始まったドラマやアニメを探し出し、自動的に予約して録画する機能です。もちろん第1話だけでなく、2話目以降も自動的に録画されます。
新番組おまかせ録画は、SmartVisionの新番組自動録画機能を使います。
新番組おまかせ録画を使えば、新しいお気に入り番組を見つけられるかもしれません。

チェック

- ご購入時は、新番組自動録画の機能が無効になっています。
- 対応している番組のジャンルは「ドラマ」と「アニメ」のみです。
- 新番組自動録画で録画した番組は、おてがる予約などで録画した番組と同様に、「通常」録画フォルダに保存されます。

ポイント

- 同じ時刻に複数の新番組が放送される場合、録画予約する番組が無作為に選ばれます。録画したい新番組が決まっているときは、あらかじめ「おてがる予約」などで録画予約をしてください。番組改編期など、複数の新番組がスタートする時期には、特にご注意ください。
- 新番組自動録画で新番組の第1話が録画されたときは、録画したことをお知らせするメッセージが表示されます。

参照

おてがる予約について→このPARTの「おてがる予約をする（番組表で予約する）」（p.98）

新番組自動録画を有効にする

ご購入時は新番組自動録画の機能が無効になっています。ここでは、番組を探す時間帯や番組のジャンルを設定し、機能を有効にする方法について説明します。

1 リモコンの【テレビメニュー】を押す

テレビメニューが表示されます。

2 「予約」の「新番組自動録画」を選んで【決定】を押す

新番組自動録画の設定画面が表示されます。

3 新番組自動録画の条件を設定する

① 録画したいジャンル(「ドラマ新番組」/「アニメ新番組」)の「無効」を選んで【決定】を押し、表示されたメニューで「有効」を選んで【決定】を押す

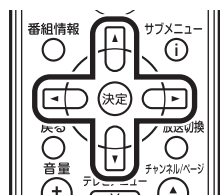
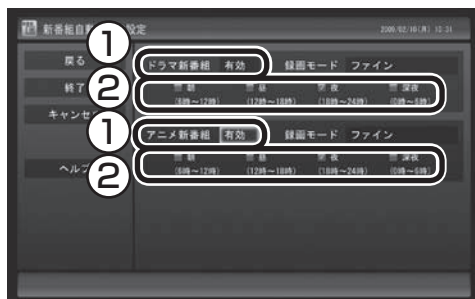
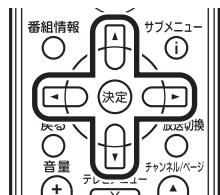
② 新番組を探す時間帯を選んで【決定】を押し、チェックマークをつける

4 「終了」を選んで【決定】を押す

これで、新番組自動録画の機能が有効になりました。

ポイント

- 予約内容は「予約一覧」画面で確認できます。録画予約の変更や削除は、番組のシリーズごとにおこないます。
- 予約内容を確認する画面で設定を変更できるのは、「録画モード(画質)」と「録画保存先」のみとなります。他の項目は変更できません。

参照

予約の確認や変更、取り消しについて→このPARTの「予約の確認や変更、取り消しをする」(p.105)

ポイント

- ご購入時は、あらかじめ「夜(18時～24時)」にチェックマークがついています。
- チェックマークを外すときは、チェックマークのついた時間帯を選んで【決定】を押してください。
- 必要に応じて「録画モード(画質)」を変更することができます。
- 新番組を探す時間帯についてそれぞれ次の番組を探します。
  - 「朝 6時～ 12時」
    6:00から11:59の間に始まる番組
  - 「昼 12時～ 18時」
    12:00から17:59の間に始まる番組
  - 「夜 18時～ 24時」
    18:00から23:59の間に始まる番組
  - 「深夜 0時～ 6時」
    0:00から5:59の間に始まる番組

新番組自動録画を無効にする

新番組自動録画の機能を無効にするときは、次のように操作してください。

1 「新番組自動録画を有効にする」(p.129)の手順1 〜手順2をおこなう

2 無効にしたいジャンル(「ドラマ新番組」/「アニメ新番組」)の「有効」を選んで【決定】を押し、表示されたメニューで「無効」を選んで【決定】を押す

3 「終了」を選んで【決定】を押す

これで、選んだジャンルの新番組自動録画の機能が無効になりました。

予約の優先度について

このパソコンのテレビには、さまざまな予約機能があります。ここでは、自動的に登録される予約の優先度について説明します。

自動的に登録される予約の優先度

「おまかせ録画」や「新番組自動録画」および「繰り返し予約(毎回予約)」といった、自動的に登録される予約には、それぞれに優先度があります。複数の予約が重複したときは、優先度の高い順に登録されます。

自動的に登録される予約の優先度は以下のとおりです。

- 「繰り返し予約(毎回予約)」、「新番組自動録画」、および「おまかせ録画(優先度 高)」は、放送の7日前に予約が登録されます。
- 「おまかせ録画(優先度 普通)」と「おまかせ録画(優先度 低)」は、放送の2日前に予約が登録されます。

ポイント

「繰り返し予約(毎回予約)」の1回目は、番組表を使って予約(おてがる予約)するため、自動的に登録される予約には含まれません。

チェック

- これらの予約は番組表の番組情報を使って登録されます。番組表が取得された時点で、番組の検索や登録の処理が始まります。
- 同じ優先度の複数の番組が同じ時刻に放送される場合、録画予約する番組は無作為に選ばれます。録画したい番組が決まっているときは、あらかじめ「おてがる予約」などで録画予約してください。

参照

おてがる予約について→このPARTの「おてがる予約をする(番組表で予約する)」(p.98)

録画番組をDVDなどに保存する

このPARTでは、録画番組をDVDなどの光ディスクに保存する方法について説明しています。

あなたがテレビ放送や録画物などから取り込んだ映像や音声は、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。

PART 5

録画番組を
DVDなどに
保存する

番組を保存できる光ディスクについて

録画した番組は、画質やコピー制御方式によって、保存できる光ディスクが異なります。

保存できる光ディスク

番組を光ディスクに保存するときの光ディスクの種類、録画モードなどについては、付録の「録画モードについて」(p.204)で詳しく説明しています。このページとあわせてご覧ください。

■ 画質とコピー制御方式の確認

録画番組一覧で、光ディスクに保存する番組の画質と、コピー制御方式のアイコンを確認してください。

●リモコンで操作する画像の場合

●マウスで操作する画像の場合

コピー制御方式のアイコン	保存できる光ディスク	保存形式
COPY 9 ～ COPY 1 MOVE	BD-RE(1層/2層)※1 BD-R(1層/2層)※1	BDAV
	CPRM対応のDVD-RAM※4 (片面/両面)	AVCREC※2 DVD-VR※3
	CPRM対応のDVD-R (1層/2層)	DVD-VR※3
FREE	BD-RE(1層/2層)※1 BD-R(1層/2層)※1	BDAV
	DVD-RAM※4	AVCREC※2 DVD-VR※3
	DVD-R(1層/2層)	DVD-VR※3

※1：BD-RE、BD-Rに保存できるのはブルーレイディスクドライブを搭載したモデルのみです。
※2：録画画質がデジタルダイレクトの場合は、自動的に録画モード変換されます。
※3：自動的に録画モード変換されます。
※4：次のモデルはDVD-VR形式にのみ対応しています。
　VALUESTAR WのDVDスーパーマルチドライブモデル
　VALUESTAR LのDVDスーパーマルチドライブモデル

光ディスクに書き込む形式について

書き込み形式	特徴
BDAV	デジタル放送をそのままブルーレイディスクに記録できる形式。
AVCREC	デジタル放送をハイビジョン画質のままDVDのディスクに保存できる形式。
DVD-VR	アナログ放送用のDVDプレーヤーなどで使われている形式。このパソコンでは、デジタル放送の番組をアナログ放送相当の画質に変換して保存します。

このパソコンで記録した光ディスクが、ほかのパソコンや一般のDVDプレーヤで再生できるかどうかは、パソコンやプレーヤの対応によって異なります。詳しくは、各パソコン、プレーヤのメーカにお問い合わせください。

参照

利用できる光ディスクについて
→「ソフト＆サポートナビゲーター」-「パソコンの各機能」-「DVD/CDドライブ」(または「ブルーレイディスク/DVD/CDドライブ」)

AVCRECとDVD-VRについて

このパソコンでCPRM対応のDVDに録画番組を保存するには、AVCRECとDVD-VRの2つの方法があります。

●AVCREC(対応モデルのみ)
デジタル放送をハイビジョン画質のままDVD-RAMに保存する方法です。DVD-Rでは利用できません。
このパソコン以外のパソコンやプレーヤで再生するには、パソコンやプレーヤが再生に対応している必要があります。
DVD-VRよりも高画質で保存できます。

●DVD-VR
デジタル放送をアナログ放送相当の画質に変換して保存する方法です。
このパソコン以外のパソコンやプレーヤで再生するには、パソコンやプレーヤが再生に対応している必要があります。
AVCRECよりも画質が落ちます。また対応するパソコンやプレーヤの種類がAVCRECよりも多くあります。

チェック

次のモデルはDVD-VR形式にのみ対応しています。AVCREC形式での保存はできません。

・VALUESTAR WのDVDスーパーマルチドライブモデル
・VALUESTAR LのDVDスーパーマルチドライブモデル

PART 5 録画番組をDVDなどに保存する

番組を光ディスクに保存するための準備

デジタル放送番組を、光ディスクに保存するために必要なCPRMのアップデートと光ディスクのフォーマットについて説明します。

CPRMのアップデートをする

CPRMとは、DVDなどの記録メディアで使われる、著作権を保護する技術です。
デジタル放送画質の番組は、録画モード変換して、CPRM対応のDVD-RAM/DVD-Rに保存できます。保存した番組は、対応したパソコンやプレーヤで再生できます。

CPRM対応DVD-RAM/DVD-Rに保存する前に、ソフトのアップデートが必要です。アップデートは、「SmartVision CPRM アップデータ」でおこないます。

1 「スタート」-「すべてのプログラム」-「CPRMアップデータ」-「SmartVision CPRMアップデータ」をクリック

アップデート方法を説明する画面が表示されます。

画面の説明を読んで、SmartVisionのアップデートをおこなってください。

チェック

デジタル放送画質の番組を、そのままDVD-RAMやDVD-Rに保存することはできません。保存時に、自動的に録画モード変換されます。あらかじめ手動で録画モード変換しておくこともできます。

参照

録画モード変換について→このPARTの「録画モード変換について」(p.150)

ポイント

- CPRMアップデートをおこなわずにDVD-RAM/DVD-Rに保存をおこなうと、「コピー制御された番組をDVDに保存するためには、SmartVisionをアップデートしてください。」というメッセージが表示されます。
- CPRMアップデートをおこなうには、インターネットに接続する必要があります。

光ディスクをフォーマットする

DVD-RAMおよびBD-RE、BD-Rに番組を保存する場合は、必要に応じて、UDF形式でフォーマットをする必要があります。

※ フォーマット済みで販売されている光ディスクもあります。また、すでに番組を保存した光ディスクの空き容量に番組を追加して保存する場合は、フォーマットしないでください。

光ディスクのフォーマット方法は次の2つです。

- SmartVisionで光ディスクをフォーマットする(p.137)
- Windows Vistaの機能で光ディスクをフォーマットする(DVD-RAMのみ)(p.138)

いずれかの機能を使って、光ディスクをフォーマットしてください。

なお、次のモデルは、Windows Vistaの機能でのフォーマットのみとなります。

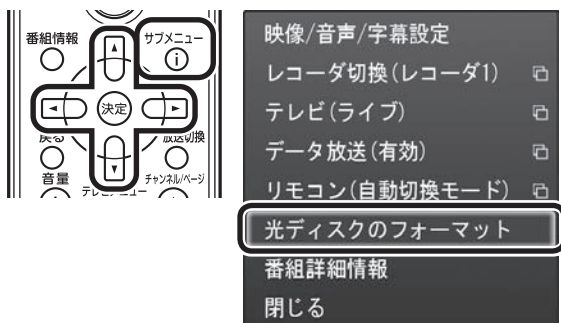
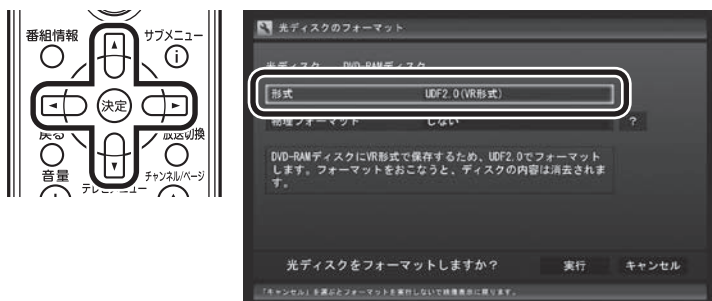
- VALUESTAR W DVDスーパーマルチドライブモデル
- VALUESTAR L DVDスーパーマルチドライブモデル

チェック

フォーマットすると、光ディスクに保存されていたデータはすべて削除されます。

■ SmartVisionで光ディスクをフォーマットする

1 DVD/CDドライブにDVD-RAMまたはBD-RE、BD-Rをセットする

2 テレビを表示した状態で【サブメニュー】を押し、「光ディスクのフォーマット」を選んで【決定】を押す

3 「形式」を選んで【決定】を押し、表示されたメニューからフォーマット形式を選んで【決定】を押す

フォーマット形式には次の種類があります。必要に応じて選んでください。

光ディスクの種類	書き込み形式	フォーマット形式
BD-RE	BDAV	UDF2.5
BD-R	BDAV	UDF2.6
DVD-RAM	DVD-VR	UDF2.0(VR形式)
	AVCREC	UDF2.5(AVCREC形式)

チェック

光ディスクのフォーマットをWindows Vistaの機能でおこなうモデルの場合、「光ディスクのフォーマット」は表示されません。この場合は、「Windows Vistaの機能で光ディスクをフォーマットする」(p.138)をご覧ください。

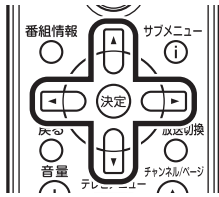
「操作を選択してください。」の画面が表示されたときは、「何も操作しない」を選んでください。

チェック

「物理フォーマット」で「する」を選ぶと、フォーマットに1時間～1時間30分かかります。通常の使用では、物理フォーマットを実行する必要はありません。

参照

書き込み形式について→このPARTの「光ディスクに書き込む形式について」(p.135)

4 【実行】を選んで【決定】を押す

フォーマットが始まります。

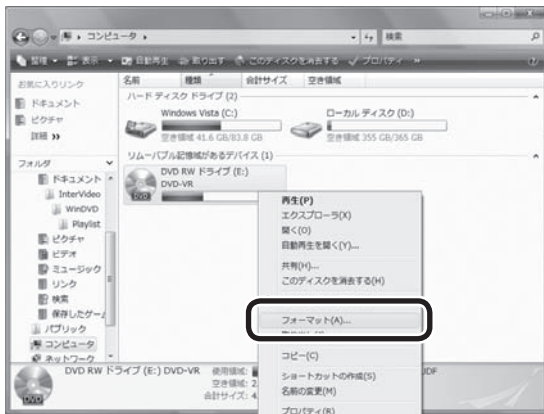
「フォーマットが完了しました。」と表示されたら、【決定】を押してください。

■ Windows Vistaの機能で光ディスクをフォーマットする

この操作はマウスでおこないます。

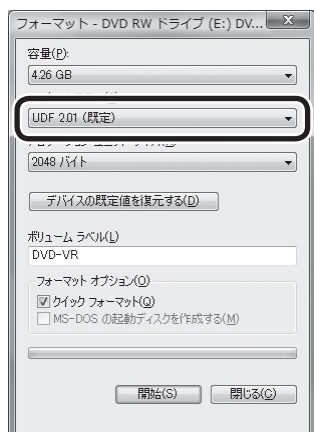
1 DVD/CDドライブにDVD-RAMをセットする

2 「スタート」-「コンピュータ」をクリック

3 「DVD RWドライブ」を右クリックして、表示されたメニューから「フォーマット」をクリック

「フォーマット」画面が表示されます。

ポイント

「操作を選択してください。」の画面が表示されたときは、「何も操作しない」を選んでください。

4 「ファイル システム」の右の ▼ をクリックして、表示されたメニューからフォーマット形式を選んでクリック

フォーマット形式には次の種類があります。必要に応じて選んでください。

光ディスクの種類	書き込み形式	フォーマット形式
DVD-RAM	DVD-VR	UDF2.0またはUDF2.01
	AVCREC	UDF2.5

5 「開始」をクリック

確認のメッセージが表示されるので、「OK」をクリックすると、フォーマットが始まります。

ポイント

VALUESTAR WのDVDスーパーマルチドライブモデルおよびVALUESTAR LのDVDスーパーマルチドライブモデルでDVD-RAMをフォーマットするときは、書き込み形式で「DVD-VR」を選択してください。

参照

書き込み形式について→このPARTの「光ディスクに書き込む形式について」(p.135)

PART 5 録画番組をDVDなどに保存する

番組を光ディスクに保存する

デジタル放送番組をDVDやブルーレイディスクに保存する方法について説明します。

※ブルーレイディスク(BR-RE、BR-R)に保存できるのは、ブルーレイディスクドライブモデルのみです。

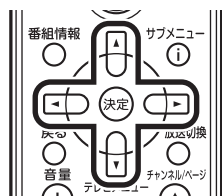
番組を光ディスクに保存します。DVD-RAMまたはBD-RE、BD-Rに保存する場合は、必要に応じて光ディスクをフォーマットしてください。フォーマットについて詳しくは「光ディスクをフォーマットする」(p.136)をご覧ください。

※ フォーマット済みで販売されている光ディスクもあります。また、すでに番組を保存した光ディスクの空き容量に番組を追加して保存する場合は、フォーマットしないでください。

1 DVD/CDドライブに光ディスクをセットする

2 リモコンの【テレビメニュー】を押す

テレビメニューが表示されます。

3 「録画番組一覧」の「通常録画フォルダ」を選んで【決定】を押す

録画番組が表示されます。番組のコピー制御方式を確認してください。

チェック

光ディスクをセットしたときに、別のウィンドウが表示されたり、WinDVD for NEC、WinDVD AVC for NEC、WinDVD BD for NECが起動した場合は、表示されたウィンドウ右上の×をクリックしてウィンドウを閉じてください。

ポイント

- moveが表示された番組を光ディスクに保存すると、パソコン上の番組のデータは消去されます。
- 「操作を選択してください。」の画面が表示されたときは、「何も操作しない」を選んでください。

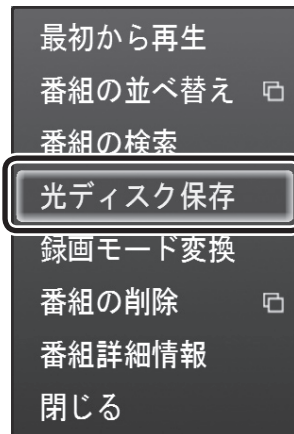
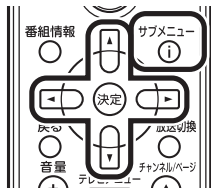
日付の右側に表示されたアイコンで、番組のコピー制御方式が確認できます。

：ダビング10の番組に表示されます。
数字は、光ディスクにコピーできる残り回数を表します。

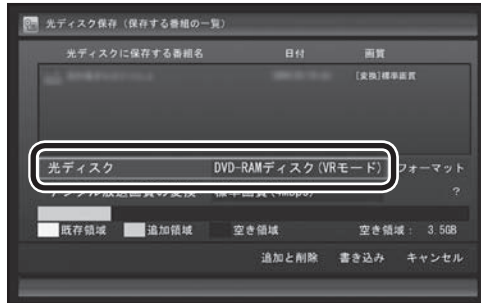
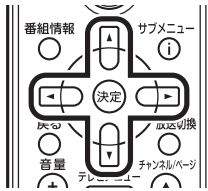
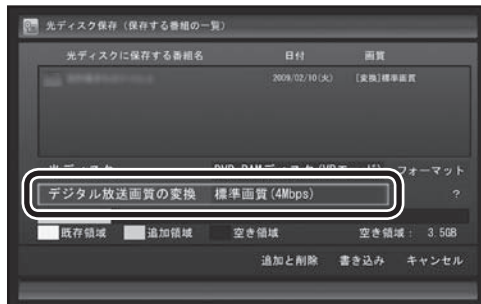
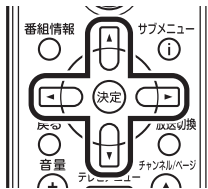
：コピーワンスの番組、またはすでに光ディスクに9回コピーしたダビング10の番組に表示されます。
このアイコンが表示された番組は光ディスクにムーブ(移動)することができます。

：コピーフリーの番組に表示されます。
このパソコンで録画した番組を、何度でも光ディスクにコピーできます。

ムーブ(移動)すると、元の番組は削除されます。

4 保存する番組を選んで【サブメニュー】を押し、「光ディスク保存」を選んで【決定】を押す

保存する番組の一覧が表示されます。

5 「光ディスク」にセットした光ディスクが表示されていることを確認する

DVD-RAMをセットしたときは、「光ディスク」の欄を選んで【決定】を押してください。その後、表示されたメニューから「DVD-RAMディスク(AVCREC)」または「DVD-RAMディスク(VRモード)」のどちらかを選んで【決定】を押してください。

6 「デジタル放送画質の変換」を選んで【決定】を押し、表示されたメニューから、光ディスクに保存する画質を選んで【決定】を押す

光ディスクに保存する画質を変換するとき
デジタル放送画質の変換(録画モード変換)をするときは、次のことができなくなります。
・番組の視聴
・番組の録画
・番組表の受信

●選択したフォーマットで使用できない光ディスクがセットされている場合は、メッセージが表示されます。その場合は、光ディスクを交換するか、「フォーマット」を選んで、光ディスクをフォーマットしてください。

●次のモデルはDVD-VR形式にのみ対応しています。AVCREC形式での保存はできません。
・VALUESTAR WのDVDスーパーマルチドライブモデル
・VALUESTAR LのDVDスーパーマルチドライブモデル

フォーマットについて→このPARTの「光ディスクをフォーマットする」(p.136)

ポイント

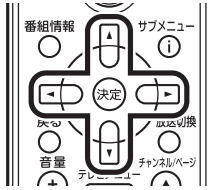
DVD-RAMディスク(VRモード)またはDVD-Rディスクに保存するときは、画質(録画モード)が自動的に変換されます。変換する画質を選ぶこともできます。

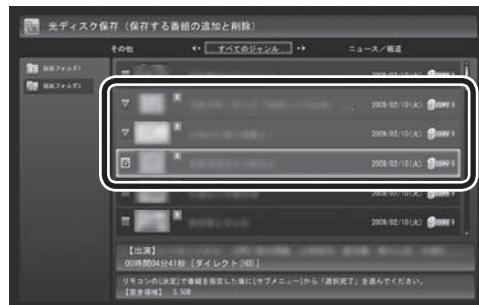
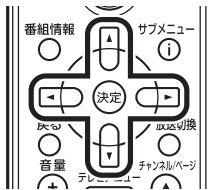
次の画質が選べます。

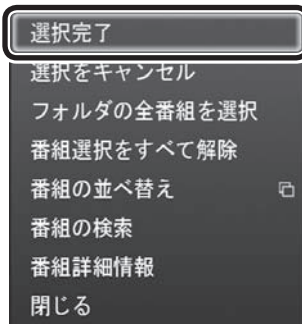
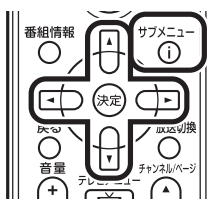
「光ディスク」欄の表示	選べる画質	保存できる時間（1層／2層※）
BD-RE（ブルーレイ）ディスク BD-R（ブルーレイ）ディスク	変換しない	地上デジタルハイビジョンテレビ（HD） 約3時間10分／約6時間30分
		地上デジタル標準テレビ（SD） 約6時間50分／約13時間50分
		BS・110度CSデジタルハイビジョンテレビ（HD） 約2時間10分／約4時間30分
		BS・110度CSデジタル標準テレビ（SD） 約5時間／約10時間
	ファイン （8Mbps）	約6時間50分／約13時間50分
	ファインロング （4Mbps）	約13時間50分／約27時間40分
	ロング （2Mbps）	約27時間40分／約55時間30分
DVD-RAMディスク （AVCREC）	ファイン （8Mbps）	約1時間10分
	ファインロング （4Mbps）	約2時間30分
	ロング （2Mbps）	約5時間10分
DVD-RAMディスク （VRモード）	高画質 （7.5Mbps）	約1時間10分
	標準画質 （4Mbps）	約2時間30分
	長時間 （2Mbps）	約5時間10分
	ジャスト画質 （＊Mbps）	光ディスクの空き容量に合わせて自動的に画質を変換します
DVD-Rディスク （VRモード）	高画質 （7.5Mbps）	約1時間10分／約2時間30分
	標準画質 （4Mbps）	約2時間30分／約5時間10分
	長時間 （2Mbps）	約5時間10分／約10時間20分
	ジャスト画質 （＊Mbps）	光ディスクの空き容量に合わせて自動的に画質を変換します

※：DVD-RAMディスクは1層のみ

ここで選んだ番組のみを保存するときは手順10に、保存する番組を追加するときは手順7に進んでください。

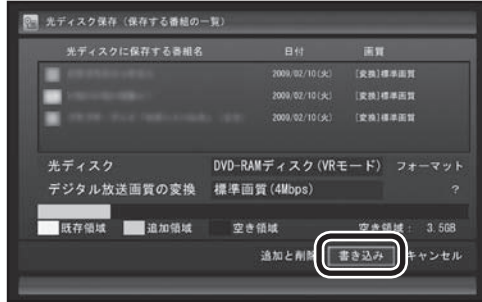
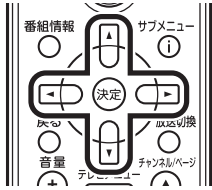
7 「追加と削除」を選んで【決定】を押す

複数の番組が選択できるようになります。

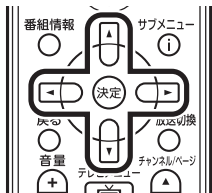
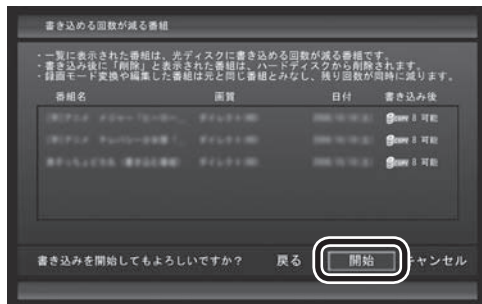
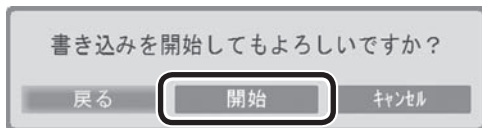
8 保存する番組を選んで【決定】を押す

選んだ番組にはチェックマークがつきます。手順8を繰り返して、保存したい番組にチェックマークをつけてください。チェックマークをつけた順番に光ディスクに書き込まれます。
チェックマークを外したいときは、もう一度その番組を選んで【決定】を押してください。

9 【サブメニュー】を押して「選択完了」を選んで【決定】を押す

保存する番組の一覧が表示されます。

チェック

映像フォーマット「480p」または「720p」で放送された番組は、VRモードで保存することができません。DVD-Rディスクをセットしているときや、手順5で「DVD-RAMディスク(VRモード)」を選んだときは、これらの番組が選択できなくなります。

10 「書き込み」を選んで【決定】を押す

確認画面が表示されます。

11 「開始」を選んで【決定】を押す

ダビング10やコピーワンスの番組を選んだとき

コピーフリーの番組を選んだとき

書き込み優先モードで書き込みが始まります。

書き込み優先モードとは
映像の表示を中止して、番組の保存にかかる時間を短縮するモードです。
書き込み優先モードのとき、「映像表示を再開」を選んで【決定】を押すと、保存を続けながらテレビを見ることができます(番組の保存にかかる時間は長くなります)。
書き込み優先モードに戻すときは、【サブメニュー】を押して、「書き込み優先モード」を選び、【決定】を押してください。
なお、デジタル放送画質の変換(録画モード変換)をしている間は、書き込み優先モードとなり、映像を表示することはできません。

12 書き込みが完了すると「光ディスク作成が完了しました。」と表示されるので、【決定】を押す

これで、保存が完了しました。

チェック

- 下段に光ディスクの空き領域(容量)が表示されます。空き領域が不足しているときは、「書き込み」が表示されません。
- 保存する番組を選びなおすときは、「追加と削除」を選んで【決定】を押し、保存する番組を選ぶ画面に戻ってください。

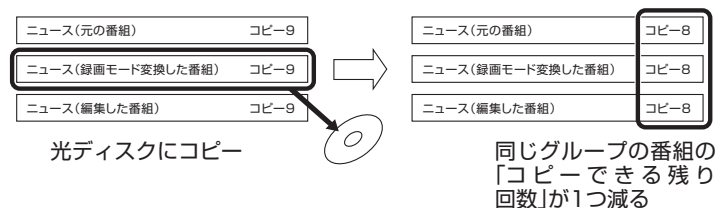
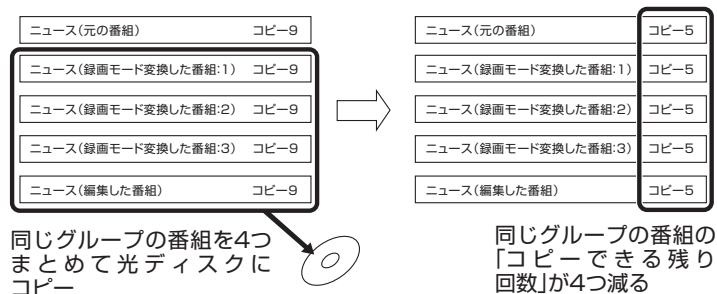
ポイント

- ダビング10やコピーワンスの番組を選んだときは、書き込む番組と、その番組と同じグループの番組(書き込める回数が減る番組)の一覧が表示されます。また、書き込んだ後のコピーできる残り回数が表示されます。
- コピーできる残り回数(ムーブ含む)を超えて番組を選んだときは、「書き込むことができません」というメッセージが表示されます。必要に応じて番組を選びなおしてください。同じ番組から録画モード変換した番組や編集した番組を複数選んだときは特にご注意ください。
詳しくは、次の「光ディスクに保存するときのご注意」(p.146)をご覧ください。
- リモコンで使う画面でテレビの映像が表示されているときは、画面の左下に書き込みの進行状況が「%」で表示されます。リモコンの【番組情報】を押して、進行状況を非表示にすることもできます。

チェック

- 視聴予約でSmartVisionが起動したときは、予約の終了に伴ってSmartVisionが自動的に終了することがあります。ご注意ください。
- 書き込み中にサブメニューから「光ディスク作成の中止」をおこなったDVD-Rディスクは、以後、使用できなくなります。
- 書き込み中に、休止状態にする、またはシャットダウンすると、書き込みに失敗します。書き込み中は休止状態にしたり、シャットダウンしないでください。
- 書き込みに失敗したDVD-Rディスクは、以後、使用できなくなります。
- 書き込み中にスリープ状態にした場合は、書き込みが終了するまでスリープ状態になりません。

光ディスクに保存するときのご注意

ダビング10やコピーワンスの番組を録画モード変換した番組や編集した番組は、元の番組と1つのグループとして扱われ、光ディスクにコピーできる回数がまとめて制御されています。
このため、録画モード変換した番組や編集した番組を光ディスクにコピーすると、元の番組を含む同じグループの番組のコピーできる残り回数が同時に減ります(ムーブのときは同じグループの番組がパソコンから削除されます)。
たとえば、録画モード変換したダビング10の番組を光ディスクに1回コピーすると、その番組はもちろん、元の番組のコピーできる残り回数も1つ減ります。

同じ番組から録画モード変換したり、編集した複数の番組をまとめて光ディスクにコピーすると、番組の数だけコピーできる残り回数が減ります。

ポイント

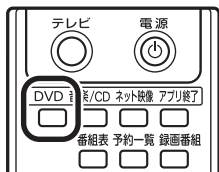
このパソコンでは、録画モード変換された番組を光ディスクにコピーしたときも、コピーできる残り回数が減ります。

参照

録画モード変換したデジタル放送番組の扱いについて→「録画モード変換したダビング10の番組について」(p.151)

VRモードで保存した番組を再生する

VRモードで保存した番組は、WinDVD for NEC、WinDVD AVC for NEC、またはWinDVD BD for NECで再生します。再生には、CPRMのアップデートをする必要があります(マウスでの操作が必要です)。

1 リモコンの【DVD】を押す

CPRM録画されたDVD-RAM/DVD-Rをはじめて再生するときは手順2に、2回目以降は手順3に進んでください。

2 表示されたウィンドウ上で右クリックし、「CPRM Packをダウンロード...」をクリック

表示される画面の指示にしたがってCPRMのアップデートをしてください。
CPRMのアップデートをする詳しい方法については、『準備と設定』付録の「CPRMのアップデート」で説明しています。このマニュアルとあわせてご覧ください。

3 DVD-RAM/DVD-RをDVD/CDドライブにセットする

映像の再生が始まります。
CPRM録画されたDVD-RAM/DVD-Rをはじめてセットしたときは、WinDVD for NECまたは、WinDVD AVC for NEC、WinDVD BD for NECが再起動してから、映像の再生が始まります。

チェック

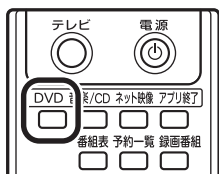
- SmartVisionが起動しているときは、WinDVD for NEC、WinDVD AVC for NEC、またはWinDVD BD for NECが起動しないことがあります。SmartVisionを終了してから起動してください。
- CPRM対応DVD-RAM/DVD-Rに保存した番組は、DVD-MovieAlbumSEでも再生できます。
- CPRMの機器鍵(デバイスキー)をダウンロードするには、インターネットに接続する必要があります。
- 作ったDVD-RAM/DVD-Rは、このパソコン以外に、CPRM対応DVD-RAM/DVD-Rの再生に対応したパソコンやプレーヤで再生できますが、機器によっては再生できない場合があります。詳しくは、各機器のマニュアルをご覧ください。

参照

CPRMのアップデートについて
→『準備と設定』付録の「CPRMのアップデート」

AVCREC形式で保存した番組を再生する

AVCREC形式で保存した番組は、WinDVD AVC for NECまたはWinDVD BD for NECで再生します。

1 リモコンの【DVD】を押す

2 AVCREC形式で保存したDVD-RAMをDVD/CDドライブにセットする

映像が再生されます。

■ AVCREC形式で保存した番組を再生するときの注意

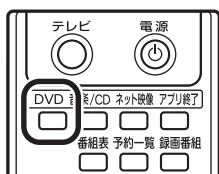
- 画面の配色がWindows Vista ベーシックになり、ウィンドウの透過などの見栄えが変わることがあります。WinDVD AVC for NECまたはWinDVD BD for NECを終了するともとに戻ります。

チェック

SmartVisionが起動しているときは、WinDVD AVC for NECまたはWinDVD BD for NECが起動しないことがあります。SmartVisionを終了してから起動してください。

BD-R/BD-REに保存した番組を再生する

BD-R/BD-REに保存した番組は、WinDVD BD for NECで再生します。

1 リモコンの【DVD】を押す

2 BD-R/BD-REをブルーレイディスクドライブにセットする

映像が再生されます。

■ ブルーレイディスクを再生するときの注意

●ブルーレイディスクの再生には、WinDVD BD for NECを使用してください。
●ブルーレイディスクを再生すると、画面の配色がWindows Vista ベーシックになり、ウィンドウの透過などの見栄えが変わることがあります。WinDVD BD for NECを終了するともとに戻ります。
●その他の注意事項など、「WinDVD BD for NEC」について詳しくは、「ソフト&サポートナビゲーター」-「ソフトを探す」-「50音／英数字から選ぶ」-「WinDVD BD for NEC」をご覧ください。

チェック

SmartVisionが起動しているときは、WinDVD BD for NECが起動しないことがあります。SmartVisionを終了してから起動してください。

光ディスクに保存した番組の字幕を表示する

字幕の含まれる放送をBD-RE、BD-Rに保存、またはDVD-RAMにAVCREC形式で保存した場合は、再生するときに字幕の表示/非表示を選ぶことができます。

1 光ディスクに保存した番組を再生する

2 マウスを使って、画面下の をクリック

3 字幕を有効にする

① 「オフ」をクリック

② 表示されたメニューから「CC1/字幕」をクリック

字幕が表示されます。

チェック

●字幕が表示できるのは、放送時に字幕が含まれていた番組だけです。
●DVD-RAMにVRモードで保存された番組では、字幕を表示できません。
●リモコンの【字幕】を押して、字幕の表示/非表示を切り換えることもできます。

参照

光ディスクに保存した番組の再生→このPARTの「VRモードで保存した番組を再生する」(p.147)、「AVCREC形式で保存した番組を再生する」(p.147)、または「BD-R/BD-REに保存した番組を再生する」(p.148)

チェック

●字幕が含まれていない番組の場合、項目を選ぶことはできません。
●字幕表示をやめる場合は、手順3で「オフ」を選んでください。

AACSキー(再生用)を更新する

●このパソコンのブルーレイディスクおよびAVCREC再生機能は次世代著作権保護技術AACS(Advanced Access Content System)に対応しています。著作権保護されたブルーレイディスクおよびAVCREC形式で保存されたDVD-RAMを再生するには、AACS キーの更新が必要です。また、更新の際にはインターネット接続環境が必要です。
●AACS のキーの更新は無償で提供いたしますが、NEC、コーレル株式会社の判断で予告なく終了することがあります。

光ディスクを再生したときに、「AACSキーの有効期間が終了しました。」と表示されたときは、AACSキーの更新が必要です。AACSキーの更新手順は次のとおりです。

1 AACSキーの含まれたコンテンツを再生したときに、「AACSキーの有効期間が終了しました。…」という画面が表示されたら、「はい」をクリック

自動的にInternet Explorerが起動し、Corelオンライン登録ページが表示されます。

2 Corelオンライン登録ページにユーザー登録している場合は、登録したメールアドレスとパスワードを入力して「Sign in」をクリック

登録していない場合は、「Sign up」をクリックしてください。登録画面へ移動します。
「Sign in」をクリックすると、AACS キーのダウンロードが始まります。終了すると自動的に画面が閉じます。

3 「AACSキーのアップデートが終了しました。」の画面で「OK」をクリック

これで、AACSキーが更新されます。

PART 5
録画番組をDVDなどに保存する

録画モードがダイレクトの番組を録画モード変換する

録画モード変換して、番組データの容量を減らすことができます。

録画モード変換について

録画した番組はとてもデータ量が多いため、ハードディスクに大きな空き容量が必要です。
録画モード変換することで、録画番組のデータの容量を減らし、ハードディスクの容量を節約することができます。

■ 録画モード変換をするときの注意

●録画モードが「ダイレクト」で録画された番組のみ録画モード変換ができます。録画モードが「ファイン」、「ファインロング」、「ロング」の番組は録画モード変換できません。
●変換に時間がかかる
録画済み番組を録画モード変換するときは、録画した時間と同じ程度の時間がかかります。
●録画モード変換中にパソコンのシャットダウンなどをおこなうと、そのとき録画していた番組は視聴できない(録画データが正常に作成されない)ことがあります。
●録画モード変換により、データ放送などの情報はなくなります。
●録画モード変換中は、レコーダを切り換えることができません(BS・110度CS・地デジダブルチューナーモデルのみ)。
●録画モード変換中は、番組を録画することができません。また、番組を録画中は、録画モードを変換をすることができません。
●録画モード変換中は、番組表を受信することができません。
●録画モード変換中は、タイムシフトモードにすることができません。

ポイント

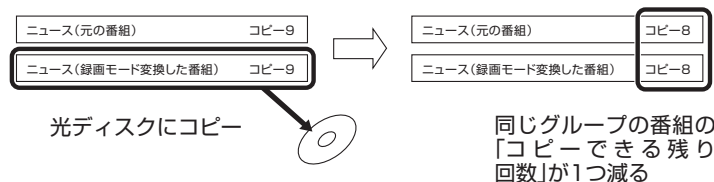
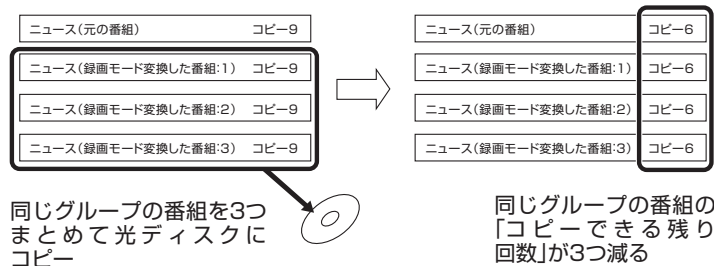
録画モード変換した番組の元のデータはそのまま残ります。ハードディスクの容量を節約したいときは、必要に応じて元の番組のデータを削除してください。

ポイント

録画モード変換の作業中にSmartVisionを終了しても、画面右下のSmartVisionアイコンがとに交互に変わり、変換作業が継続していることがわかります。このアイコンにマウスカーソルをあわせると、録画モード変換の進捗状況が確認できます。

録画モード変換したダビング10の番組について

番組を録画モード変換すると、録画番組一覧には元の番組と録画モード変換した番組が並んで表示されます。

元の番組と録画モード変換した番組は1つのグループとして扱われ、光ディスクにコピーできる回数がまとめて制御されています。
たとえば、録画モード変換したダビング10の番組を光ディスクに1回コピーすると、その番組はもちろん、元の番組のコピーできる残り回数も1つ減ります。

1つの番組を何度でも録画モード変換することができます(異なる録画モードで変換しなおす場合など)。
なお、同じ番組から録画モード変換した複数の番組をまとめて光ディスクにコピーすると、番組の数だけコピーできる残り回数が減ります。

チェック

- 「録画モード変換」したダビング10の番組にも、光ディスクにコピーできる残り回数が表示されます。
- 番組を光ディスクに保存するとき、自動的に録画モード変換された番組のデータは、録画番組一覧には表示されません(コピーまたはムーブが終了した後、自動的に削除されます)。

チェック

「録画モード変換」したコピーワンスの番組を光ディスクにムーブすると、元の番組も同時に削除されます。

チェック

- 録画モード変換しても元の番組は削除されません。
- ハードディスクの空き容量が不足していると録画モード変換ができません。

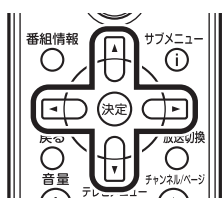
録画モード変換をする

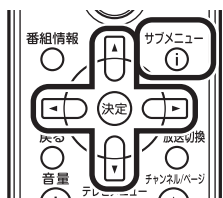
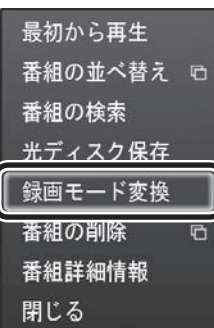
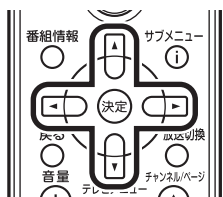
■ 録画済み番組を録画モード変換する

録画した番組を、録画モード変換する手順を説明します。

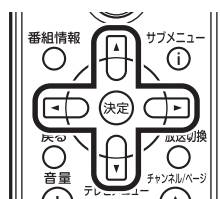
1 リモコンの【テレビメニュー】を押す

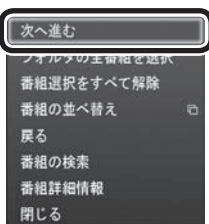
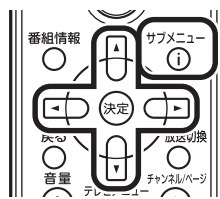
テレビメニューが表示されます。

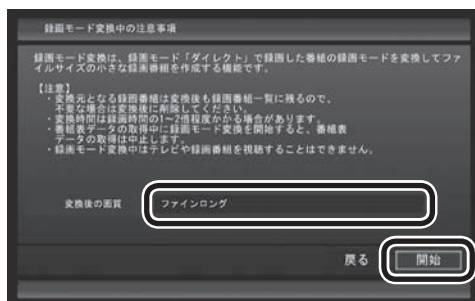
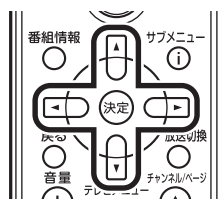
2 「録画番組一覧」の「 通常 録画フォルダ」を選んで【決定】を押す

録画番組が表示されます。

3 録画モード変換したい番組を選んで【サブメニュー】を押す

4 「録画モード変換」を選んで【決定】を押す

録画モード変換を実行中は、録画ができません。

録画モード変換の予測時間の間に、予約がされている場合、画面に確認のメッセージが表示されます。メッセージを読んで、操作してください。

5 ほかにも録画モード変換したい番組がある場合は、番組を選んで【決定】を押す

選んだ番組にはチェックマークがつきます。手順5を繰り返して、録画モード変換したい番組にチェックマークをつけてください。チェックマークを外したいときは、もう一度その番組を選んで【決定】を押してください。

6 【サブメニュー】を押して「次へ進む」を選んで【決定】を押す

「録画モード変換中の注意事項」画面が表示されます。

7 「録画モード変換中の注意事項」で変換後の画質を選び、「開始」を選んで【決定】を押す

変換優先モードで録画モード変換が始まります。

変換優先モードとは
映像の表示を中止して、録画モード変換にかかる時間を短縮するモードです。
変換優先モードのとき、「映像表示を再開」を選んで【決定】を押すと、録画モード変換を続けながらテレビを見ることができます(録画モード変換にかかる時間は長くなります)。
変換優先モードに戻すときは、【サブメニュー】を押して、「変換優先モード」を選び、【決定】を押してください。

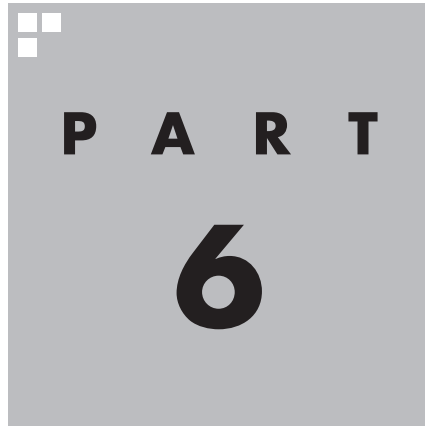
ポイント

- 変換中に「中止」を選ぶと、変換を途中で中止できます。
- リモコンで使う画面でテレビの映像が表示されているときは、画面の左下に変換の進行状況が「%」で表示されます。リモコンの【番組情報】を押して、進行状況を非表示にすることもできます。

チェック

録画モード変換中にSmartVisionを終了したりパソコンをスリープ状態にしても、録画モード変換は中断せず、動作を継続します。SmartVision以外に動作中のソフトがなければ、録画モード変換が終了した後、パソコンはスリープ状態になります。

8 変換が完了すると「録画モード変換が完了しました。」と表示されるので、【決定】を押す

これで、録画モード変換が完了しました。

一歩すすんだテレビ操作

テレビはリモコンだけでなくマウスで操作することもできます。マウスで使うための画面に切り換えると、パソコンならではの機能を使ったり詳細な設定ができるようになります。一歩すすんだ使い方を紹介します。

あなたがテレビ放送や録画物などから取り込んだ映像や音声は、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。

PART 6
一歩すすんだ
テレビ操作

マウスで使うための画面

マウスで使うための画面では、一歩すすんだおすすめ機能が使えるようになります。

リモコンで使う画面からマウスで使う画面に切り換える

今までの操作はおもにリモコンでおこなっていましたが、マウスで使う画面に切り換えると、録画した番組の整理や映像編集など、より多くの機能が使えるようになります。
パソコンならではの使い方をしてみませんか？

1 テレビを表示して、マウスを動かす

画面の左下に操作パネルが表示されます。

2 「画面」ボタンをクリック

画面が切り換わります。

リモコンで使う画面に戻す（切り換える）には、「画面モード切換タブ」のいちばん左のタブ（フルスクリーン）をクリックします。

ポイント

操作パネルのボタン表示は、見ている放送やモード、また機種によって異なります。

「画面」ボタンが表示されていないときは、テレビを見ている状態や録画番組を視聴している状態にしてください。

リモコンで使う画面

「画面」ボタンをクリック

マウスで使う画面

「フルスクリーン」タブをクリック

マウスで使う画面で起動する

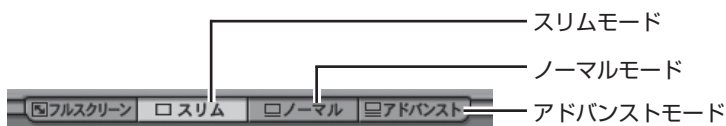
マウスで使う画面を直接起動することができます。

1 「スタート」-「すべてのプログラム」-「SmartVision テレビを見る」をクリック

マウスで使う画面が起動します。

リモコンで使う画面に切り換えるには、「画面モード切換タブ」のいちばん左のタブ(フルスクリーン)をクリックします。

マウスで使う画面のモードを切り換える

マウスで使う画面には、スリムモード/ノーマルモード/アドバンストモードがあります。
「画面モード切換タブ」をクリックして、目的に合った画面に切り換えることができます。

画面モード	説　明
スリムモード	チャンネル切り換えや音量の調節など、視聴に必要な最小限の機能のモードです。
ノーマルモード	テレビ視聴の基本的な操作ができます。
アドバンストモード	基本的な操作に加えて、録画した番組の簡易編集や番組の詳細情報の表示、データ放送の操作などができます。

それぞれのモードの画面説明は、付録の「各モードの画面説明」(p.207)をご覧ください。

■ オンラインヘルプを表示する

マウスで使う画面に切り換えたときの操作は、オンラインヘルプをご覧ください。

1 マウスで使うための画面に切り換える(p.156)

2 (オンラインヘルプ)をクリック

オンラインヘルプが起動します。

ポイント

- ノーマルモード、アドバンストモードのときに画面のサイズを小さくすると、スリムモードに切り換わります。
- 画面右上の をクリックすると、マウスで使う画面のまま最大化できます。

外付けハードディスクを利用する

外付けハードディスクに録画番組を保存したいときは、SmartVision に増設したハードディスクドライブを登録してください。

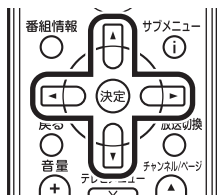
登録できるハードディスクについて

USB2.0接続の外付けハードディスクドライブ(NTFSフォーマット)が利用できます。サポート対象機種について詳しくは、「121ware.com」のホームページ(http://121ware.com/)をご覧ください。

ハードディスクを登録する

1 登録したいハードディスクとパソコンを接続する

設定確認画面が表示されます。

2 「次へ」を選んで【決定】を押す

録画フォルダ作成画面が表示されます。

参照

USB機器の接続について→「ソフト＆サポートナビゲーター」-「使う」-「パソコンにつなげる」-「USBコネクタ」

ポイント

ここで「キャンセル」を選択すると、次回以降、同じハードディスクを接続してもハードディスクを登録する画面が表示されなくなります。

この場合でも、録画番組を保存する録画フォルダを作成する画面で、増設したハードディスクを登録することができます。

参照

録画番組を保存する録画フォルダを作成する→このPARTの「録画フォルダを作成する」(p.162)

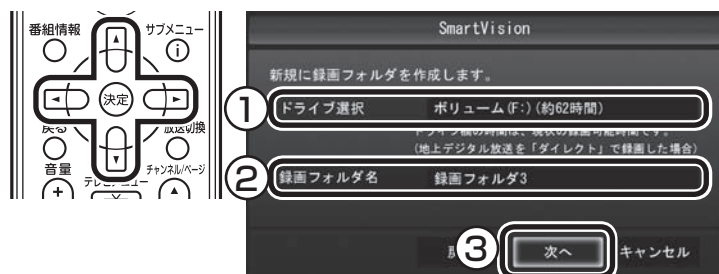
チェック

登録した外付けハードディスクをパソコン本体から取り外す場合、次のことにご注意ください。
録画番組を削除するときは、登録した外付けハードディスクをパソコンに接続してから、削除の操作をおこなってください。
削除する番組と同じグループの番組を外付けハードディスクに保存しているとき、その外付けハードディスクを接続しないで削除の操作をおこなうと、外付けハードディスクに保存された番組を再生することができなくなります。

3 録画フォルダを作成する

① ハードディスクのドライブ名を確認する

② 録画番組を保存する録画フォルダのフォルダ名を確認する

③「次へ」を選んで【決定】を押す

登録完了画面が表示されます。

4「閉じる」を選んで【決定】を押す

これで、SmartVisionでハードディスクが利用できるようになりました。

チェック

- ここで作成した録画フォルダは、SmartVisionからのみ管理できます。Windowsのエクスプローラーなどでは操作できません。
- フォルダ名は、キーボードで変更することができます。
- ここで作成したフォルダ名は、後でこのハードディスクを録画番組保存先に設定するときに必要になります。フォルダ名を控えておいてください。

  フォルダ名:
- ハードディスク内に複数のパーティションがある場合、そのうちの一つをSmartVision用に選択することができます。

登録したハードディスクに番組を録画する

登録したハードディスクに、番組を直接録画するよう設定します。

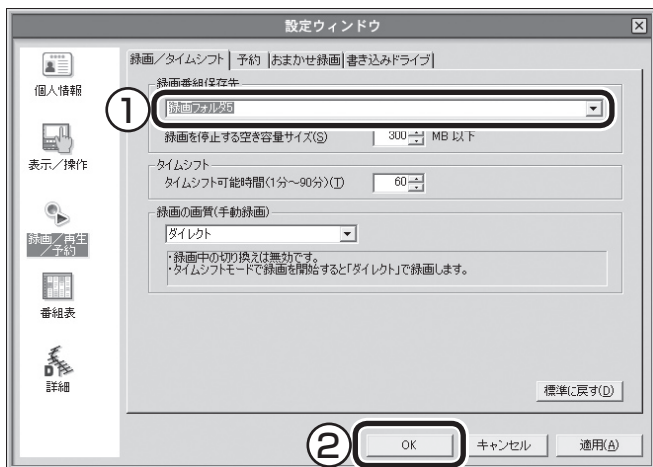
1 マウスで使うための画面を表示して、ノーマルモードにする

2 (設定)をクリック

設定ウインドウが表示されます。

3 録画番組の保存先を選ぶ

①「録画番組保存先」の ▼ をクリックし、番組を保存する録画フォルダをクリックする

②「OK」をクリックする

これで、登録したハードディスクに番組を直接録画できるようになりました。

参照

- ハードディスクの登録の方法について→このPARTの「ハードディスクを登録する」(p.159)
- マウスで使うための画面を表示する→このPARTの「マウスで使うための画面」(p.156)

チェック

- 一度録画番組保存先に設定したハードディスクを取り外した場合、それ以降に予約録画された番組は、ご購入時に録画番組の保存先に設定されていたハードディスクに保存されます。
- 登録したハードディスクに番組を直接録画するよう設定したとき、そのハードディスクがパソコンに接続されていない場合は、リモコンの【録画】を押して番組を録画することができません。
- 登録したハードディスクに番組を直接録画するよう設定したとき、そのハードディスクがパソコンに接続されていない場合は、番組をタイムシフトモードに切り換えることができません。

ハードディスクを登録するときの注意

ハードディスクを登録する際には、次の点に注意してください。

- NTFS以外のフォーマットのハードディスクは、NTFSフォーマットに変更することができます。詳しくはハードディスクの取扱説明書などをご覧ください。
- NTFS以外のフォーマットのハードディスクを接続した場合、同じハードディスクを再び接続しても、ハードディスクの登録の画面は表示されません。ただし、NTFS以外のフォーマットのハードディスクをNTFSフォーマットに変更した場合、変更後の１回目の接続時にはハードディスクの登録画面が表示されます。

PART 6 一歩すすんだテレビ操作

録画した番組を整理する

録画した番組は、番組ごとに録画フォルダを分けて整理すると、後でさがしやすくなります。

録画フォルダを作成する

Dドライブや登録済みのハードディスク内に、録画フォルダを作成します。録画フォルダは最大200個まで作成できます。

1 マウスで使うための画面を表示して、ノーマルモードにする

2 (録画番組一覧)をクリック

録画番組一覧が表示されます。

3 追加(追加)をクリックして表示されるメニューから、「新規フォルダ作成」を選ぶ

新規フォルダ作成画面が表示されます。

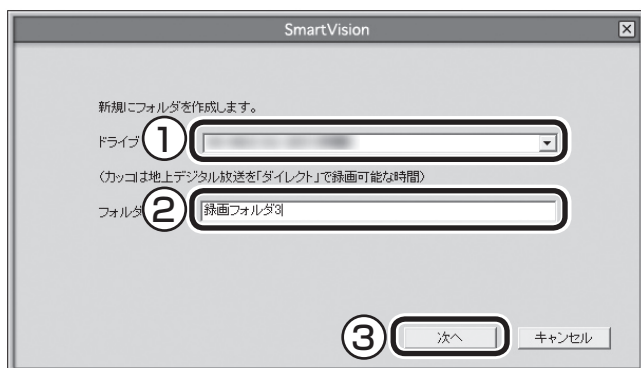
参照

マウスで使うための画面を表示する→このPARTの「マウスで使うための画面」(p.156)

ポイント

エクスプローラで作成した既存のフォルダを追加することもできます。追加(追加)をクリックして「既存フォルダ参照」を選び、フォルダを追加してください。

4 「新規フォルダ作成画面」で録画フォルダを作成する

①録画フォルダを作成したいハードディスクを選びます
外付けハードディスクを登録するときは、ここで登録したいハードディスクを選んでください。
②必要に応じてフォルダ名を変更します
変更するときは、ここをマウスで右クリックして、フォルダ名を入力しなおしてください。
③「次へ」をクリックします

作成完了画面が表示されます。

5 「閉じる」をクリック

これで録画フォルダが作成されました。作成した録画フォルダは、予約するとき選択できるようになります。

録画した番組を移動する

録画した番組を別の録画フォルダに移動します。
あらかじめ、移動先となる録画フォルダを作っておいてください。

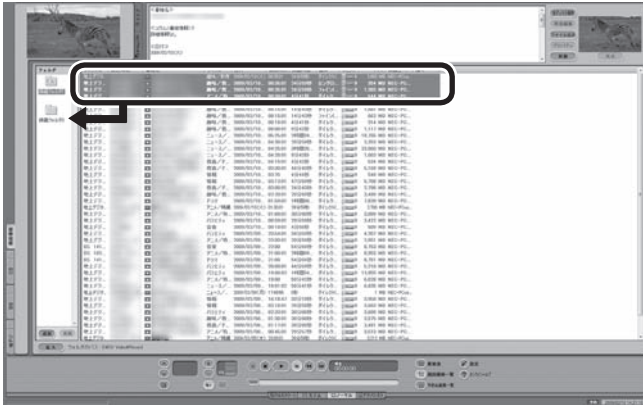
1 マウスで使うための画面を表示して、ノーマルモードにする

2 (録画番組一覧)をクリック

録画番組一覧が表示されます。

参照

●録画フォルダを作成する→このPARTの「録画フォルダを作成する」(p.162)
●マウスで使うための画面を表示する→このPARTの「マウスで使うための画面」(p.156)

3 移動したい番組をクリックし、移動先の録画フォルダにドラッグ&ドロップする

番組を保存しているドライブ以外のドライブに移動する場合は、「ファイル出力」画面が表示されます。「ファイル出力が終了しました。」と表示されたら「OK」をクリックしてください。番組が移動し、もとの一覧から消えます。

これで、番組の移動ができました。

複数の番組を移動したいときは、【Ctrl】を押したまま番組をクリックすると、複数の番組を選べます。

チェック

- 複数ユーザーでパソコンを使っている場合、ほかのユーザーが録画した番組データを選んで移動したときは、「他ユーザーの番組ですが、移動してもよろしいですか?」または「他ユーザーの番組が含まれていますが、移動してもよろしいですか?」と表示されます。「はい」をクリックすると、ほかのユーザーが録画した番組データも移動します。移動しない場合は、「いいえ」をクリックして、番組データを選びなおしてください。
- ほかのユーザーが録画した番組データを移動すると、そのユーザーからは番組データがどの録画フォルダに移動されたのか、わからなくなります。

ポイント

- ご購入時の状態では録画した番組は、Dドライブに保存されます。
- この画面で、番組を選んで画面右上の 削除 (削除)をクリックすると番組を削除できます。

録画フォルダを削除する

1 マウスで使うための画面を表示して、ノーマルモードにする

2 (録画番組一覧)をクリック

録画番組一覧が表示されます。

3 左の「フォルダ」内で削除したい録画フォルダを選んで、(削除)をクリック

削除画面が表示されます。

4 「はい」をクリック

これで、録画フォルダが削除できました。

参照

マウスで使うための画面を表示する→このPARTの「マウスで使うための画面」(p.156)

チェック

- 録画フォルダを削除しても、データは残ります。
- SmartVision側から録画フォルダが参照できなくなりますが、ハードディスク内のフォルダは削除されません。
- ここで削除した録画フォルダを再度SmartVisionで利用するには、マウスで使う画面で「既存フォルダ参照」をクリックし、フォルダを指定して追加する必要があります。この際、手順4の画面に表示される次の情報が必要になります。控えておいてください。
  - ・削除する録画フォルダ名
  - ・ハードディスク上のフォルダ名
  - ・ハードディスク上のフォルダの場所

PART 6
一歩すすんだ
テレビ操作

簡易編集機能を使う

簡易編集機能を使って、録画した番組のお気に入りの場面を残し、いらない場面をカットすることができます。

簡易編集機能を使えば、元の番組のデータはそのままに、お気に入りのシーンだけを残した番組のデータを作ることができます。

録画番組を簡易編集する

1 マウスで使うための画面を表示して、アドバンストモードにする

2 （録画番組一覧）をクリック

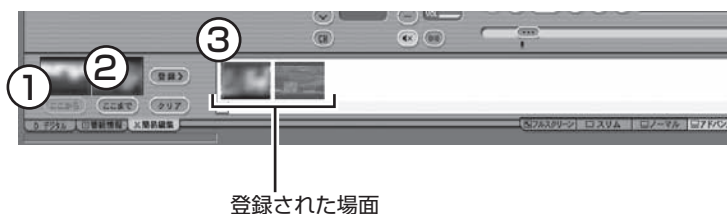
録画番組一覧が表示されます。

3 編集したい番組をクリックし、簡易編集（簡易編集）をクリック

「簡易編集」タブが表示されます。

4 必要な場面を切り取って登録する

コントロールパネルのボタンをクリックしたり、プログレスバーをドラッグして、必要な場面を表示させて範囲を指定します。

登録された場面

①必要な場面の先頭を表示させて「ここから」をクリック
②必要な場面の終わりを表示させて「ここまで」をクリック
③「ここから」と「ここまで」を指定したら「登録」をクリック

①〜③を繰り返して、必要な場面をすべて登録したら、手順5に進んでください。

参照

マウスで使うための画面を表示する→このPARTの「マウスで使うための画面」（p.156）

ポイント

編集したい番組を再生して、「簡易編集」タブをクリックしても同様です。

ポイント

登録した場面を削除するときは、「削除」をクリックします。

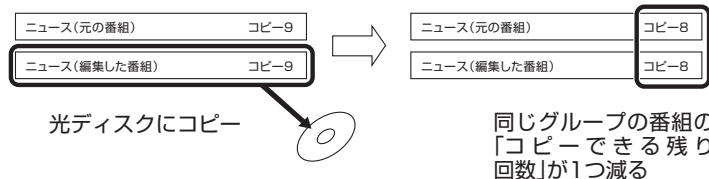
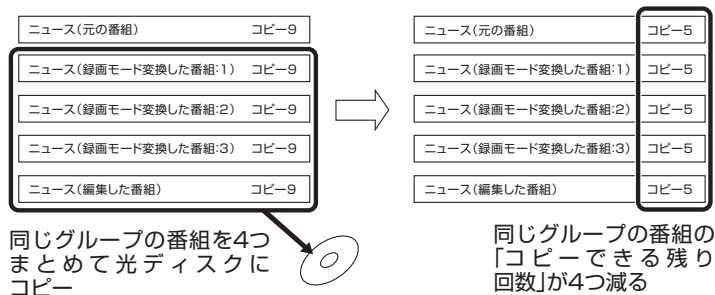
チェック

- 録画した番組では、同じ場面を複数回登録することができません。すでに登録された場面と重なる場面を切り取っても、二重には登録されず、ひとつの場面としてまとめて登録されます。
- 録画した番組では、登録した場面の順番を変更することができません。
- 編集した番組が数秒間しかないとき、その番組は正しく再生できません。再生しても映像が表示されず、画面は黒いままとなります。
- 編集した番組をホームネットワークで配信して再生すると、編集した部分の前後で、画面が一瞬黒くなったり映像が乱れたりすることがあります。

5 「保存」をクリック

編集した番組が元の番組と同じ録画フォルダに保存されます(元の番組は編集前の状態で残ります)。編集した状態で、光ディスクに保存することもできます。
なお、デジタル放送を編集した番組は、録画モード変換した番組と同様、元の番組と同じグループとして扱われており、光ディスクにコピーできる回数がまとめて制御されています。詳しくは次の「光ディスクに保存するときのご注意」をご覧ください。

■ 光ディスクに保存するときのご注意

ダビング10やコピーワンスの番組を簡易編集した番組は、元の番組と1つのグループとして扱われ、光ディスクにコピーできる回数がまとめて制御されています。
このため、編集した番組を光ディスクにコピーすると、元の番組を含む同じグループの番組のコピーできる残り回数が同時に減ります(ムーブのときは同じグループの番組がパソコンから削除されます)。
たとえば、編集したダビング10の番組を光ディスクに1回コピーすると、その番組はもちろん、元の番組のコピーできる残り回数も1つ減ります。

なお、同じ番組から録画モード変換したり、編集した複数の番組をまとめて光ディスクにコピーすると、番組の数だけコピーできる残り回数が減ります。

チェック

ハードディスクの空き容量が不足していると、簡易編集ができません。ハードディスクの空き容量を増やす方法については、「ソフト&サポートナビゲーター」-「困った」-「ハードウェア・システム設定」をご覧ください。また、不要な番組を削除して、ハードディスクの空き容量を増やすこともできます。

参照

録画した番組の削除について→
地デジシングルチューナーモデル:PART3の「録画した番組を削除する」(p.71)
BS・110度CS・地デジダブルチューナーモデル:PART4の「録画した番組を削除する」(p.116)

参照

簡易編集について→オンラインヘルプ(p.158)の「使ってみよう(導入編)」-「SmartVisionで編集しよう!」-「いらないシーンは切り取って欲しいとこだけ残そう」

PART 6 一歩すすんだテレビ操作

G-GUIDE for Windowsで予約する

SmartVisionの番組表のほかに、「G-GUIDE for Windows」というソフトを使って録画予約をすることもできます。

もうひとつの番組表「Gガイド」

G-GUIDE for Windowsを使うと、インターネットからデジタル放送の番組表をダウンロードして利用できます。通常の、放送波から番組表を取得する方法に比べて、短時間で番組表を取得できるため、すぐに番組表を更新したいときに向いています。
また、G-GUIDEの番組表からSmartVisionの録画予約ができます。

■ G-GUIDE for Windowsでできること

G-GUIDE for Windowsでは、次の操作ができます。
- 番組表を、好きなときにインターネットからダウンロードできる
- SmartVisionの録画予約ができる
- パナソニック株式会社製のBDレコーダー、DVDレコーダー「ディーガ」と連携して、録画予約ができる

チェック

●G-GUIDE for Windowsでは、次の録画予約ができます。
- SmartVisionの地上デジタル放送、BS/110度CSデジタル放送の録画予約
- ディーガの地上デジタル放送、地上アナログ放送、BS·CS·110度CSデジタル放送の録画予約

●SmartVisionの初期設定が完了していない場合は、G-GUIDE for Windowsで番組表を見ることはできますが、SmartVisionの録画予約をすることはできません。

ポイント

連携できる「ディーガ」については、次のホームページで確認できます。
http://panasonic.jp/support/software/

参照

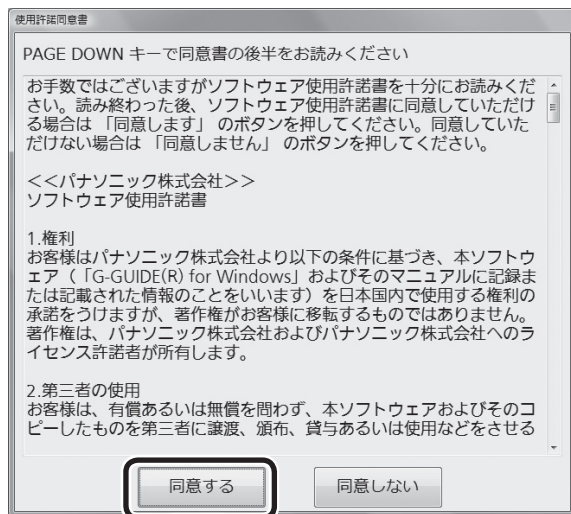
G-GUIDE for Windowsの詳しい使い方→「スタート」-「すべてのプログラム」-「Panasonic」-「G-GUIDE(R) for Windows」-「取扱説明書」

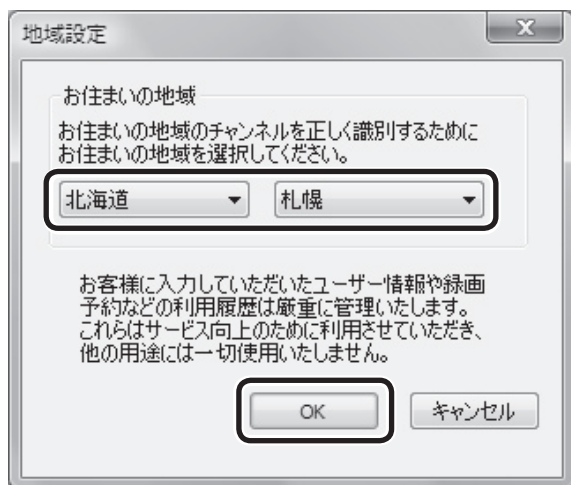
G-GUIDE for Windowsの初期設定をする

G-GUIDE for Windowsはマウスとキーボードで操作します。リモコンでの操作はできません。

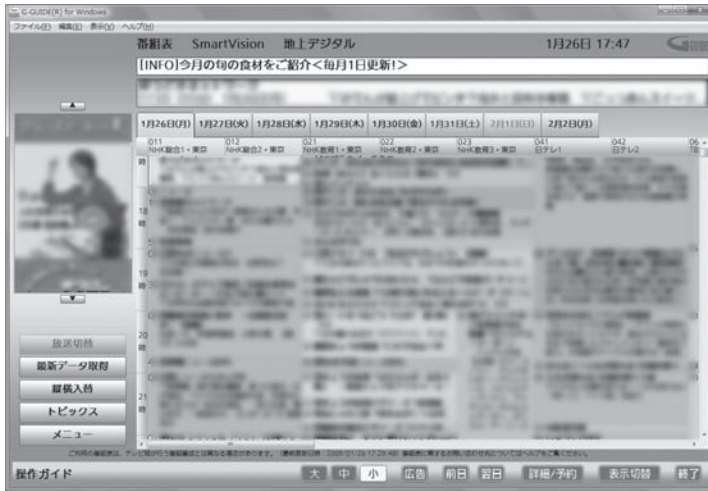
1 「スタート」-「すべてのプログラム」-「Panasonic」-「G-GUIDE(R) for Windows」-「G-GUIDE(R) for Windows」をクリック

G-GUIDE for Windowsが起動し、「使用許諾同意書」画面が表示されます。

2 「使用許諾同意書」の内容を読み、「同意する」をクリック

「地域設定」画面が表示されます。

3 お住まいの地域を選んで、「OK」をクリック

番組表データのダウンロード画面が表示されます。

4 「はい」をクリック

番組表データがダウンロードされます。ダウンロードが終わると、番組表が表示されます。

これで初期設定は完了です。G-GUIDE for Windowsを終了するときは、画面右下の「終了」をクリックしてください。

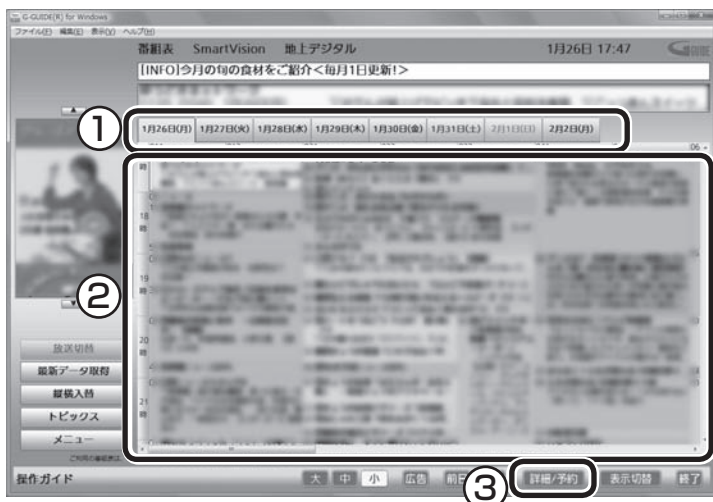
G-GUIDE for Windowsで予約する

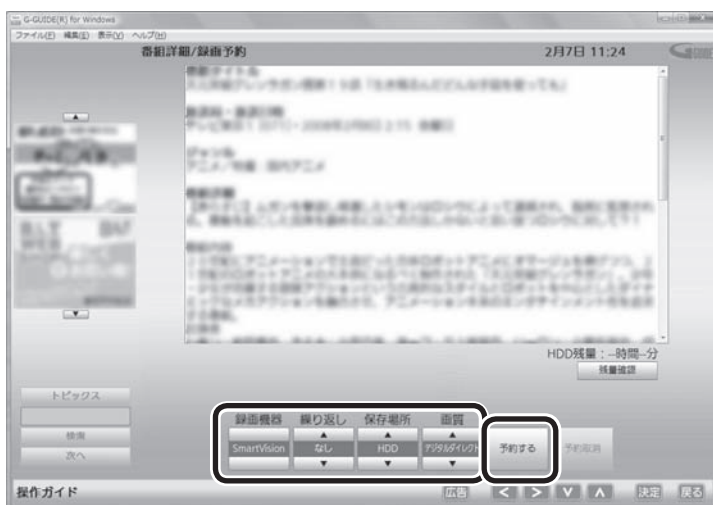
G-GUIDE for Windowsで録画予約をする場合、SmartVisionを起動する必要はありません。

1 「スタート」-「すべてのプログラム」-「Panasonic」-「G-GUIDE(R) for Windows」-「G-GUIDE(R) for Windows」をクリック

G-GUIDE for Windowsが起動し、番組表が表示されます。

2 録画予約をする番組を選ぶ

① クリックして予約する日付を選ぶ
② 予約する番組をクリック
③「詳細/予約」をクリック

「番組詳細/録画予約」画面が表示されます。

3 録画する内容を確認し、「予約する」をクリック

ポイント

G-GUIDE for Windowsを起動したときに現在のものよりも新しい番組表がある場合は、自動的に最新の番組表がダウンロードされます。また、G-GUIDE for Windowsの画面左側にある「最新データ取得」をクリックしても、番組表をダウンロードすることができます。

ポイント

予約したい番組をダブルクリックしても「番組詳細/録画予約」画面を表示できます。

チェック

G-GUIDE for Windowsでは、視聴予約をすることはできません。

チェック

- 「繰り返し」の設定内容はG-GUIDE for WindowsとSmartVisionで異なります。
- 予約の時刻が重複していた場合は、予約を削除するかどうかを確認する画面が表示されます。画面の説明を読んで操作してください。

4 「戻る」をクリック

番組表に戻ります。

これで、録画予約は完了です。

ポイント

録画予約がされている番組は、番組名の前に予が表示されます。

その他の機能について

G-GUIDE for Windowsでは、このほかにも番組を検索したり、外部機器(ディーガ)へ録画予約をするなどの機能があります。
G-GUIDE for Windowsの詳しい使い方については、「スタート」-「すべてのプログラム」-「Panasonic」-「G-GUIDE(R) for Windows」-「取扱説明書」をご覧ください。

ポイント

予約の取り消しはSmartVisionでおこなってください。

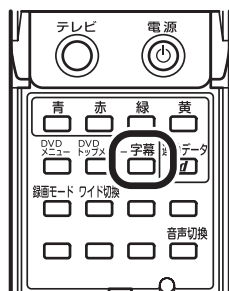
予約の取り消しについて→
地デジシングルチューナーモデル:PART3の「予約の確認や変更、取り消しをする」(p.60)
BS・110度CS・地デジダブルチューナーモデル:PART4の「予約の確認や変更、取り消しをする」(p.105)

PART 6
一歩すすんだテレビ操作

その他の機能

その他の一歩すすんだ機能について紹介します。

字幕放送を見る

字幕放送をしている番組(番組表で字のマークが付いている番組)では、字幕を表示させることができます。
リモコンのフタを開けて、【字幕】を押して字幕表示のオン/オフを切り換えます。

フタを開けた状態

通知領域のアイコンについて

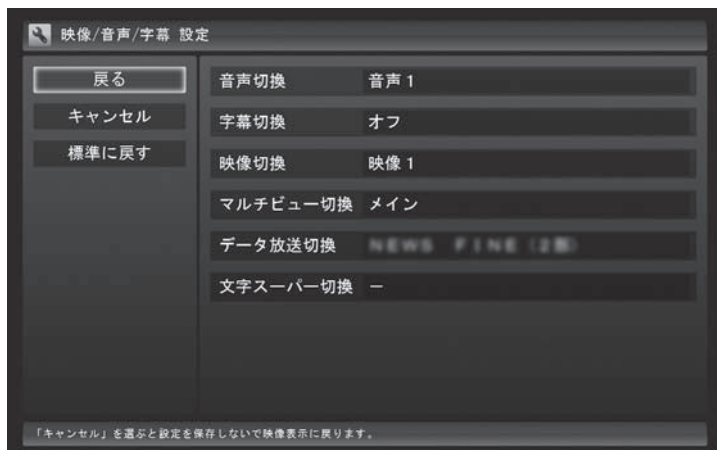
デスクトップ画面右下の通知領域には、次のようなテレビ機能(SmartVision)のアイコンが表示されています。
通常時のアイコン:

予約した録画や視聴の開始時刻が近づくと、アイコンが変化して録画や視聴が始まることを知らせます。また、録画中や録画モード変換中、光ディスクへの書き込み中などもアイコンが変化します。

予約開始5分前　:←→(交互に表示)
予約開始1分前　:←→(交互に表示)
録画中　:←→(交互に表示)
録画モード変換中:←→
光ディスクへの書き込み中　:←→

このアイコンをダブルクリックしてテレビを起動することもできます。また、右クリックして、録画の予約をキャンセルするなど、さまざまな操作をすることもできます。
詳しくは、オンラインヘルプ(p.158)の「画面モードと各タブ」-「通知領域のアイコン」をご覧ください。

デジタル放送の番組サービスについて

デジタル放送には、字幕放送のほかにもマルチビューなどいろいろなサービスがあります。それぞれのサービスに対応した番組で利用できます。
テレビを見ているときにリモコンの【サブメニュー】を押し、「映像／音声／字幕設定」を選んで表示される画面で設定できます。

録画ファイルのプロパティを変更する

録画した映像の番組名や詳細情報、ジャンルなどを変更したいときは、次の手順をおこなってください。

マウスで使うための画面を表示する→このPARTの「マウスで使うための画面」(p.156)

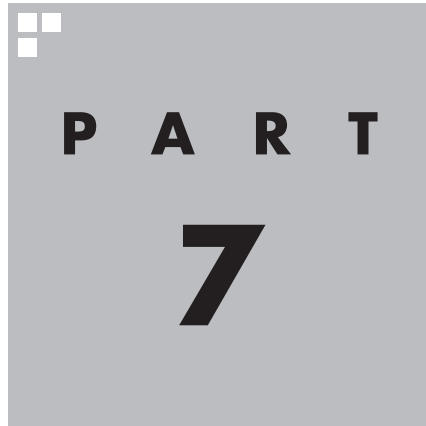
1 マウスで使うための画面を表示して、ノーマルモードにする

2 (録画番組一覧)をクリック

3 変更したい番組を選んで(プロパティ)をクリック

「プロパティ」が表示されます。

4 変更したい情報を修正して「OK」をクリック

これで、番組情報が変更されます。

Q&A

テレビを見ていて困ったことがあったときは、ここをご覧ください。

PART 7
Q&A

テレビに関して何か問題があるときは

何か問題があるときには、まず「まとめて確認」の画面で確認してみてください。どの設定に問題があるかを確認することができます。

初期設定を確認する

1 リモコンの【テレビメニュー】を押す

2 「情報」の「まとめて確認」を選んで【決定】を押す

設定の確認が始まります。確認が完了すると、次の画面が表示されます。

この画面で初期設定の状態が表示されます。
それぞれの項目を選ぶと、設定画面が表示されます。問題のある設定を確認してください。

PART 7
Q&A

テレビを見ているとき

テレビが映らない、音が出ないなど、テレビを見ようとして問題が起きたときは、ここをご覧ください。

テレビが映らない

■ 接続は正しいですか？

『準備と設定』第2章をご覧になり、アンテナケーブルの接続を確認してください。

■ 「テレビ初期設定」は終わっていますか？

テレビを見るには、あらかじめテレビ初期設定が必要です。設定についてはPART1の「テレビ初期設定をする」(p.7)をご覧ください。

参照

初期設定の後にテレビが映らないとき→PART1の「テレビ初期設定で困ったら」(p.14)

■ ほかのソフトが起動していませんか？

「WinDVD for NEC」など、映像を表示するソフトを同時に動作させることはできません。起動しているソフトをいったん終了させた後、SmartVisionを起動してください。
また、テレビを快適に視聴するために、SmartVisionを起動する前に、動作中のソフトをすべて終了させてください。

■ ほかのユーザーでSmartVision などを起動したまま、ユーザーを切り換えていませんか？

テレビ視聴中、Windowsのユーザー切り換えの機能で別のユーザーに切り換えると、そのユーザーではテレビを視聴することはできません。

■ 画面左側のソースタブが「録画番組」になっていませんか？（マウスで使う画面の場合）

「録画番組」になっているときは、左側のタブから、見たい放送波のタブを選んでください。

■ パソコンをお使いの場所は地上デジタル放送のサービスエリア内ですか？

パソコンをお使いの場所がサービスエリアに含まれているかどうか、アンテナレベルチェックで各チャンネルの受信状況を確認してください。
放送エリアについて詳しくは、社団法人デジタル放送推進協会(Dpa)のホームページ(http://www.dpa.or.jp/)をご確認ください。

放送エリア内でも、地形や建物、放送電波が弱い場合などの理由で視聴できない場合があります。

■ お使いのアンテナはUHF帯に対応していますか？

デジタル放送は、UHF帯の電波を使っています。お使いのアンテナがUHF帯に対応しているか確認してください。

また、アンテナがデジタル放送を送信している電波塔に向いているかどうかも確認してください。
ケーブルテレビなどをお使いの場合は、受信できるかどうか、ケーブルテレビ事業者にお問い合わせください。

■ UHFアンテナの向きを確認してください

デジタル放送の送信塔の方向が、現在のアナログ放送と異なる場合は、アンテナの向きを変えてください。

■ B-CASカードはセットされていますか？

本パソコン添付のB-CASカードがなければ、デジタル放送を視聴できません。また、正しい向きでセットされていないと映像が映りません。
『準備と設定』第2章の「B-CASカードをセットする」をご覧になり、B-CASカードを正しい向きでセットしてください。

■ ナイトモードになっていませんか？

ナイトモードになっていると、パソコンの電源は入っていても、映像と音声がオフになります。本体の画面消灯ランプが点灯しているときは画面消灯ボタンを押してください。

■ 画面の解像度や色の設定を変更していませんか？

SmartVisionを利用できる解像度、色の設定は次のようになっています。変更している場合は、もとに戻してください。

機種	解像度	色
VALUESTAR N（19型ワイド液晶ディスプレイを搭載したモデル）	1,440×900ドット	最高（32ビット）
VALUESTAR N（21.5型ワイド液晶ディスプレイを搭載したモデル）	1,920×1,080ドット	最高（32ビット）
VALUESTAR W	1,680×1,050ドット	最高（32ビット）
VALUESTAR L（23型ワイド液晶ディスプレイが添付されたモデル）	1,920×1,080ドット	最高（32ビット）
VALUESTAR L（19型ワイド液晶ディスプレイが添付されたモデル）	1,440×900ドット	最高（32ビット）

グラフィックドライバの設定を変更してテレビの画面が見えにくくなったときは、それらの設定を初期状態（デフォルト値）に戻してください。

■ 画質は適切に調整されていますか？

画質の調整では、設定値によって、テレビ画面が真っ白や真っ黒になったり、表示される色が不自然になる場合があります。画質調整をするときは、映像を確認しながらおこなってください。

■ セットで購入したディスプレイ以外のディスプレイを接続していませんか？付属のビデオ信号ケーブル以外のビデオ信号ケーブルで、パソコンとディスプレイを接続していませんか？（VALUESTAR Lの場合）

セットで購入したディスプレイを接続してください。それ以外のディスプレイではテレビ映像の表示はサポートしていません。また、付属のビデオ信号ケーブルでパソコンとディスプレイを接続してください。それ以外のケーブルで接続すると、テレビ映像が表示されない場合があります。

■ デジタル放送の受信レベルを確認してください

テレビメニューの「情報」-「受信レベルの確認」で、アンテナの受信レベルを確認してください。受信レベルが0でなくてもテレビが見られないときは、次の点についてご確認ください。

●受信レベルが55以下、またはチャンネルスキャンをおこなったとき、受信可能チャンネルは表示されるが選局すると「放送休止中」などのメッセージが表示される場合

お近くの電器店などに、次の点を確認してください。

・デジタル放送を受信可能なアンテナを設置しているか
・受信環境(アンテナケーブルや分配器など)に問題はないか

参照

受信レベルチェックについて→PART1の「テレビ初期設定で困ったら」(p.14)

■ B-CASカードが正しくセットされているか、確認してください

パソコンに添付されているB-CASカードがないと、地上デジタル放送を視聴できません。
『準備と設定』第2章の「B-CASカードをセットする」をご覧になり、B-CASカードを正しい向きでセットしてください。

テレビ初期設定で、チャンネルのすべてまたは一部が設定されない。プリセットチャンネルを手動で設定しても改善しない。デジタル放送でブロックノイズが発生したり、受信が不安定になる

■ パソコンに接続しているアンテナケーブルにBS/CS放送の電波が混合されていませんか?

地上アナログ放送/地上デジタル放送の電波にBS/CS放送の電波が混合されたアンテナケーブルを本機に接続していると、BS/CS放送の電波の影響で上記の現象が発生することがあります。分波器を使って分波してから本機に接続してください。
詳しくは、お近くの電器店やアンテナ工事業者などにご相談ください。

チェック

アンテナケーブルの接続経路を変更したりアッテネータの設定を変更したとき、また、ブースターの利得(ゲイン)を調整したときは、リモコンの【テレビメニュー】を押し、「設定」-「テレビ初期設定のやりなおし」を選んで【決定】を押して、テレビ初期設定をやりなおしてください。

参照

テレビ初期設定について→PART1の「テレビ初期設定をする」(p.7)

■ パソコンに接続しているアンテナケーブルの電波が強すぎる可能性があります

BS・110度CS・地デジダブルチューナーモデルの場合:
【テレビメニュー】を押し、「設定」-「チャンネル設定」で、設定したい放送波を選んで【決定】を押してください。表示された画面の「アッテネータの設定」で「有効」を選んで【決定】を押してください。

地デジシングルチューナーモデルの場合:
【テレビメニュー】を押し、「設定」-「チャンネル設定」を選んで【決定】を押してください。表示された画面の「アッテネータの設定」で「有効」を選んで【決定】を押してください。

■ ブースターの利得(ゲイン)を調節してください

アンテナと本機の接続にブースターを使用している場合、その利得の調整が適切でないと電波が強すぎたり弱すぎたりすることがあります。ブースターから出力する各電波のレベルが適切になるように、ブースターへの入力レベルや利得などを調整してください。
詳しくは、お近くの電器店やアンテナ工事業者などにご相談ください。

テレビを起動したら、チャンネルが勝手に変わってしまう

■ 番組表を受信中ではありませんか？

地デジシングルチューナーモデルでは、番組表を受信中はテレビのチャンネルが自動的に切り換わります。番組表の受信は、チャンネルを切り換えるなどの操作で中止されます。

地デジシングルチューナーモデルでは、番組表の受信中にSmartVisionを起動すると、データの受信を中断します。

テレビの視聴中にエラーメッセージで、再起動するように表示された。または操作できなくなった

エラーメッセージで再起動をするように表示されたときは、パソコンを再起動してください。また、操作ができなく(「応答なし」の状態に)なったときは、【Ctrl】と【Alt】を押しながら【Delete】を押して、表示された画面で「タスク マネージャの起動」をクリックし、「Windows タスク マネージャ」でWindows Media Centerを終了させ、テレビを起動しなおしてください。起動しなおしても機能が回復しない場合は、パソコンを再起動してください。

音が出ない、音が大きすぎる

■ 音量を調節してください

リモコンの【音量】で音量調節をおこなってください。
また、ミュート(消音)になっていないか確認してください。

参 照

●音量の調節について→PART2の「音量を調節する」(p.24)

●音量を調節する→『準備と設定』第4章の「音量を調節する」

■ ナイトモードになっていませんか？

ナイトモードになっていると、パソコンの電源は入っていても、映像と音声がオフになります。本体の画面消灯ランプが点灯しているときは画面消灯ボタンを押してください。

■ オーディオケーブルは正しく接続されていますか？(VALUESTAR Lの場合)

VALUESTAR Lは、パソコン本体とディスプレイがオーディオケーブルで接続されていないと音声が出力されません。オーディオケーブルを正しく接続してください。
オーディオケーブルの接続方法については、『準備と設定』の第2章「電源を入れる前に接続しよう」をご覧ください。

映像が乱れる(コマ落ちする)

■ CPU使用率が高くなっていませんか？

パソコンのCPU使用率が高くなると映像がコマ落ちします。ほかのソフトを終了してから、テレビを起動してください。
次の手順でCPU使用率を確認できます。

1 タスクバーの何もない部分を右クリックし、「タスク マネージャ」をクリック

「Windows タスク マネージャ」が起動します。

2 「パフォーマンス」タブをクリック

3 CPU使用率を確認する

CPU使用率が約80%以上のときは、画面が乱れることがあります。ほかのソフトを終了して、CPU使用率を約80%以下にしてください。

約80%以下の場合でも、同時に動作しているソフトがメモリやリソースを多く使用していたり、ゲームのようなグラフィック表示を多用するソフトを動作させていると映像が乱れる(コマ落ちする)ことがあります。

■ 電源設定が「ECO」や「省電力」になっている

電源の設定が「ECO」や「省電力」になっている場合、消費電力を抑える機能が働きパソコンのパフォーマンスが低下します。テレビ機能を使用する場合は、「高パフォーマンス」または「VALUESTAR」に設定してください。

参照

電源設定について→「ソフト&サポートナビゲーター」-「パソコンの各機能」-「省電力機能」

■ ウイルスバスターの自動アップデート確認をしていますか？

ウイルスバスターの自動アップデート確認で、コマ落ちしたり音飛びすることがあります。次の手順をおこなってください。

参照

「ソフト&サポートナビゲーター」-「使う」-「ウイルス感染の防止」-「ウイルス対策ソフトを更新する」

1 通知領域にある(ウイルスバスターのアイコン)を右クリック

2 「メイン画面を起動」をクリック

3 「契約更新/その他」をクリック

4 「アップデート」欄の「有効」をクリックして「無効」にする

「インテリジェントアップデート」を無効にすると、ウイルス定義ファイルや製品の更新(アップデート)が自動的におこなわれなくなります。SmartVisionを終了した後は、「インテリジェントアップデート」をするように設定を変更するか、最低1週間に1回は手動で更新をおこなってください。

チェック

アップデートの確認は、番組を視聴していないときにおこなってください。

■ データ放送を無効にしてください

データ放送を一時的に無効にすることで、コマ落ちを改善できることがあります。

1 リモコンの【サブメニュー】を押し、表示されたメニューから「データ放送(有効)」を選んで【決定】を押す

2 「無効」を選んで【決定】を押す

■ パソコンの近くで携帯電話や電子レンジを使用していませんか？

このパソコンの近くで携帯電話や電子レンジを使用すると、映像や音声が乱れる場合があります。

■ タイムシフトモードで見ていますか？

タイムシフトモードで見ている場合や、さかのぼり録画をしている場合に、映像が乱れることがあります。この場合は、リモコンの【一時停止】を押して、10秒くらい待ってから再生すると改善できる場合があります。

■ テレビ映像の上に他のウィンドウなどを表示している

全画面でテレビを視聴しているときに、テレビメニューやWindowsのスタートメニュー、メッセージなどのウィンドウがテレビ映像と重なると、映像の乱れやコマ落ちが発生する場合があります。
この場合、一度SmartVisionをウィンドウ表示にするか、最小化することで改善されます。

放送中のデジタル放送の映像が遅れている

デジタル放送の映像が遅れて表示されることがありますが、故障ではありません。

ポイント

画面に時刻が表示されている場合、時刻の切り換わりが実際より遅れて表示されることがあります。

映像が微動する(揺れる)

映像によっては、画面(特に文字表示部分)が微動して見える場合がありますが、故障ではありません。

デジタルデータ放送が表示できない

■ デジタルデータ放送をおこなっているチャンネルになっていますか?

マウスで操作するための画面にすると、デジタルデータ放送をおこなっている番組かどうか確認することができます。データ放送をおこなっている場合は、画面右下のインジケータに「データ連動放送中」と表示されています。

CATV回線で、デジタル放送に対応しているか知りたい

■ このパソコンのデジタル放送は、CATVパススルー方式(同一周波数および周波数変換)に対応しています

トランスモジュレーション方式には対応していません。
お客様の受信環境での再配信種別などに関しては、ご利用のCATV事業者にご確認ください。

地上デジタル放送の、新しく放送開始した放送局が選局できない

■ チャンネルの再スキャンをおこなってください

新たに放送開始した放送局は、視聴可能チャンネルに自動的には追加されません。
次の手順でチャンネルの再スキャンをおこなってください。

1 **リモコンの【テレビメニュー】を押す**

2 **「設定」の「チャンネル設定」を選んで【決定】を押す**

地デジシングルチューナーモデルの場合は、このまま手順4に進んでください。

3 **「地上デジタル放送のチャンネル確認」を選んで【決定】を押す**

4 **「チャンネルスキャン」を選んで【決定】を押す**

5 **「スキャン方法」で「再スキャン」を選び、「次へ」を選んで【決定】を押す**

チャンネルの再スキャンが始まります。

6 **「チャンネルスキャン」が終了したら、「次へ」を選んで【決定】を押す**

これで再スキャンは完了です。

携帯電話などでワンセグ放送が受信できるのに、地上デジタル放送の受信レベルが低い

■ ワンセグ放送の方が、弱い電波でも受信可能です

ワンセグ放送は、地上デジタル放送より少ないデータ量で高感度受信を実現しているため、一般には、地上デジタル放送よりワンセグ放送の方が、弱い電波でも受信可能となります。
アンテナの向きを変えたり、アンテナとの接続を短くするなどの対策をおこなうことで、受信状態が改善されることがあります。

参照

アンテナケーブルの接続方法について→『準備と設定』第2章

今まで視聴できていたのに、突然、BS・110度CSデジタル放送の映像が悪化した。あるいは映像が表示されなくなった

BS・110度CSデジタル放送は、雨、雪、雷雲などによって電波の受信状態が悪化することがあります。受信状態が悪化すると、映像や音声が止まったり、映像が表示されなくなることがあります。
また、このようなとき、画質や音質を犠牲にして受信を優先させる「降雨放送(降雨対応放送)」に切り換わることもあります。いずれの場合も、天候の回復によって改善されます。

引っ越しをしたらテレビが映らなくなった

まずアンテナを接続してください。次に、リモコンの【テレビメニュー】を押し、「設定」-「初期設定のやりなおし」を選んで【決定】を押して、テレビの初期設定をやりなおしてください。
テレビ初期設定の流れについては、PART1の「テレビ初期設定をする」(p.7)をご覧ください。

PART 7
Q&A

視聴予約や録画予約ができないときには

予約をしたときに問題が起きたときは、ここをご覧ください。

視聴予約した番組が開始されない

■ 省電力状態やスクリーンセーバーからの復帰時に、パスワードの確認画面が表示されない設定になっていますか？

視聴予約機能を利用するために、省電力状態やスクリーンセーバーからの復帰時に、パスワードの確認画面を表示しない設定にする必要があります。
視聴予約について詳しくは
地デジシングルチューナーモデルの場合：PART3の「視聴予約について」(p.59)
BS・110度CS・地デジダブルチューナーモデルの場合：PART4の「視聴予約について」(p.103)
をご覧ください。

録画予約した番組が録画されていない

■ Windowsのログオンパスワードを設定・変更していませんか？

Windowsのログオンパスワードを新たに設定または変更したときは、「自動ログオン」の設定を変更する必要があります。
「テレビメニュー」の「設定」-「予約録画の設定」-「自動ログオンの設定」で設定を確認してください。

自動ログオンの設定について→付録の「自動ログオンの設定をする」(p.202)

■ 「結果一覧」で予約実行結果を確認してください。

「結果一覧」に予約実行結果が表示されます。予約録画が失敗すると予約結果一覧に「失敗」と表示されます。結果の詳細を見たい番組を選んで【決定】を押すと、結果の詳細が表示されます。

参 照

予約実行結果を確認する→
地デジシングルチューナーモデル：PART3の「予約の結果を確認する」(p.61)
BS・110度CS・地デジダブルチューナーモデル：PART4の「予約の結果を確認する」(p.106)

■ 「自動ログオンの設定」をしていますか？

パソコンの電源を切っている場合、自動ログオンの設定がされていないと、電源を切った状態からパソコンを自動起動することはできません。「テレビメニュー」の「設定」-「予約録画の設定」-「自動ログオンの設定」で設定を確認してください。

自動ログオンの設定について→付録の「自動ログオンの設定をする」(p.202)

■ バックアップユーティリティで自動バックアップを設定していませんか？

バックアップユーティリティで自動バックアップをした後に、パソコンを省電力状態に移行したり電源を切ったりするように設定している場合は、お互いの予約時間が重ならないように注意してください。SmartVisionで予約した録画が実行中であっても、バックアップ完了後にパソコンが省電力状態に移行したり電源が切れた場合、SmartVisionの録画は失敗します。

■ パソコン内蔵の時計は正確ですか？

パソコン内蔵の時計の時刻が放送波の時刻と大きくずれていると、番組が正確に録画されない場合があります。パソコン内蔵の時計がずれている場合は、正しい時刻に合わせてください。
パソコンの時計は、デジタル放送を受信していると自動的に修正されます。

■ 番組編成が変わっていませんか？

次のようなときは録画されません。

- ●番組表が更新され、予約した番組の放送がなくなった。または、予約時の番組情報と一致しなくなった、予約済みのほかの番組と予約時間が重なった。
- ●前の番組の延長や臨時番組の放送などで、予約した番組の開始時刻が3時間以上遅れた。
「番組の予約」画面の「詳細設定」で、予約した番組の開始時刻や終了時刻が変わったときに変更後の時刻に追従して録画するように設定できます。

予約録画した番組が途中で途切れている

■ ウイルススキャンや、Windows Updateの設定を確認してください

月に数回など、定期的に録画予約が失敗する場合は、ウイルススキャンやWindows Updateのアップデート時間が、録画時間と重複し、録画が失敗している可能性があります。
ウイルスバスターやWindows Updateの設定を変更してください。

参照

●ウイルスバスターについて→「ソフト＆サポートナビゲーター」-「ソフトを探す」-「50音／英数字から選ぶ」-「ウイルスバスター」
●Windows Updateについて→「ソフト＆サポートナビゲーター」-「使う」-「Windowsの更新」

録画フォルダに録画した番組が見あたらない

■ 録画が失敗していませんか？

なんらかの事情で予約録画が失敗した場合は、録画番組一覧に表示されません。
予約録画が成功しているかどうかは、「テレビメニュー」の「予約」から「結果一覧」を選んで確認することができます。

■ 保存先の録画フォルダを変更していませんか？

予約時に保存先として指定した録画フォルダを確認してください。複数の録画フォルダを使い分けているときは特にご注意ください。
また、予約したユーザーの保存先の録画フォルダがご購入時の状態でも、予約録画を実行したユーザーの保存先の録画フォルダが変更されている場合、録画した番組が表示されません。

■ おまかせ録画をしていませんか？

「おまかせ録画」で録画した番組は、おてがる予約などで録画した番組とは異なる録画フォルダに保存されます。「テレビメニュー」の「録画番組一覧」から「おまかせ録画フォルダ」を選んでおまかせ録画のファイルを表示してください。
また、おまかせ録画は、最大録画容量を超えた場合、過去に録画したファイルの中から古い順に削除していきます。
削除したくない場合は、手動で予約録画するか、おまかせ録画の消去したくないファイルを選んで、【サブメニュー】を押して「おまかせ属性の解除」-「この番組」を選んでください。
おの表示が消えて、削除の対象ではなくなります。

■ 録画した番組をほかのユーザーが移動または削除していませんか？

パソコンを複数ユーザーで使っている場合、「録画番組一覧」の「録画フォルダ」にはすべてのユーザーの録画した番組が表示されるので、録画したユーザー以外の人でも、番組を別の録画フォルダに移動したり、削除できます。ほかのユーザーが番組を移動したり削除していないか、確認してください。

参照

予約実行結果を確認する→
地デジシングルチューナーモデル：PART3の「予約の結果を確認する」（p.61）
BS・110度CS・地デジダブルチューナーモデル：PART4の「予約の結果を確認する」（p.106）

ポイント

おまかせ録画の最大容量は、マウスで使う画面で変更できます。詳しくはオンラインヘルプ（p.158）の「設定」-「録画/再生/予約」-「おまかせ録画」をご覧ください。

おまかせ録画で番組を録画したり、予約することができない

■ 条件の一致する番組が、同時刻に複数ありませんか？

おまかせ録画で、条件が一致する番組が複数存在する場合は、どれか1つの番組が録画できます。録画したい番組以外の番組を除外番組一覧に登録するか、条件を絞り込んでください。

■ すでに録画予約した番組と、予約した時間帯が重なっていませんか？

すでに録画予約した番組と予約した時間帯が重なっている場合は、先に登録された予約が優先されます。おまかせ予約を優先する場合は時間帯の重なる番組予約を取り消してください。

参 照
予約を変更する→
地デジシングルチューナーモデル：PART3の「予約の確認や変更、取り消しをする」（p.60）
BS・110度CS・地デジダブルチューナーモデル：PART4の「予約の確認や変更、取り消しをする」（p.105）

■ 番組を「除外番組一覧」に登録していませんか？

除外番組一覧に登録した番組は録画されません。
録画対象番組に戻す場合は、「除外番組一覧」をクリックして対象番組を選び、「解除」をクリックしてください。

■ 予約一覧から番組を取り消していませんか？

予約一覧から取り消した番組（取り消した放送回のみ）は、おまかせ録画の対象外になります。予約する場合は、通常の番組予約で予約しなおしてください。

参 照
予約を変更する→
地デジシングルチューナーモデル：PART3の「予約の確認や変更、取り消しをする」（p.60）
BS・110度CS・地デジダブルチューナーモデル：PART4の「予約の確認や変更、取り消しをする」（p.105）

■ 番組の放送はいつですか？

おまかせ録画の条件に一致する番組が実際に予約一覧に登録されるのは、放送の2日前です。その前に、同じ時刻に放送される別の番組を予約すると、おまかせ録画の番組は予約登録されません。

参 照
おまかせ録画の条件登録について→
地デジシングルチューナーモデル：PART3の「おまかせ録画を登録する」（p.78）
BS・110度CS・地デジダブルチューナーモデル：PART4の「おまかせ録画を登録する」（p.123）

シリーズものの番組を繰り返し予約したにもかかわらず、録画されていない番組がある

■「繰り返し予約(時間指定で予約)」で予約していませんか?

「繰り返し予約」の「する(時間指定で予約)」を設定して予約をすると、スポーツ中継の延長などで、放送時間が変更された場合でも、あらかじめ設定している同じ曜日、同じ時間で録画します。シリーズものの番組を予約する場合には、「繰り返し予約」の「する(毎回予約)」を設定して予約することをお勧めします。

■ 番組表に表示される放送時の番組名が、最初に予約したときの番組名と異なっていませんか?

「繰り返し予約」の「する(毎回予約)」を設定すると、番組表の番組名によって同じシリーズの番組を検出して予約します。ただし、同じシリーズの番組であっても、最初に予約したときの番組名と、放送されたときの番組名が、番組表上で異なる場合には、同一シリーズの番組として検出できず、録画されないことがあります。

新番組自動録画機能を有効にしたにもかかわらず、録画されない新番組がある

■ 複数の新番組が同じ時刻に放送されていませんか?

同じ時刻に複数の新番組が放送される場合、新番組録画機能で録画予約する番組が無作為に選ばれます。
録画したい新番組が決まっているときは、あらかじめ「おてがる予約」などで録画予約してください。番組改編期など、複数の新番組がスタートする時期には、特にご注意ください。

■ おてがる予約など、優先度の高い録画予約と重複していませんか?

「繰り返し予約(毎回予約)」などの自動録画予約や「おてがる予約」など、優先度の高い録画予約は、同じ時刻に放送される新番組の録画より優先されます。
録画したい新番組が決まっているときは、あらかじめ「おてがる予約」などで録画予約してください。

参照

●おてがる予約について→
地デジシングルチューナーモデル:PART3の「おてがる予約をする(番組表で予約する)」(p.55)
BS･110度CS･地デジダブルチューナーモデル:PART4の「おてがる予約をする(番組表で予約する)」(p.98)

●予約の優先度について→
地デジシングルチューナーモデル:PART3の「予約の優先度について」(p.86)
BS･110度CS･地デジダブルチューナーモデル:PART4の「予約の優先度について」(p.131)

PART 7 Q&A

番組表の受信がうまくいかない

番組表受信時に問題が起きたときには、ここをご覧ください。

番組表が受信できない、またはデータの取りこぼしが起きる

■ アンテナは接続されていますか？

『準備と設定』第2章をご覧になり、アンテナケーブルの接続を確認してください。

■ アンテナの向きが悪い、またはアンテナとの接続が長くありませんか?

アンテナの向きを変えたり、アンテナとの接続を短くするなどの対策をおこなうと、受信状態が改善され、データの取りこぼしの頻度が低くなることがあります。

■ 番組表の受信中に、チャンネルを変更していませんか？

番組表の受信中にチャンネルを変更すると、テレビの視聴を優先し番組表の受信は中断します。

■ テレビの視聴中ではありませんか？（地デジシングルチューナーモデルの場合）

地デジシングルチューナーモデルでは、番組表の予約受信は、テレビの視聴中は実行されません。

デジタル放送の番組表を取得したのに、放送局のロゴが表示されない

■ 放送局ロゴが表示されていない放送局をしばらく視聴し続けてください

デジタル放送の放送局ロゴは、10分程度の周期で送信されています。番組表を受信している間にロゴが受信できると、テレビメニューや番組表に放送局ロゴが表示されます。
放送局ロゴが表示されていない場合は、その放送局を視聴し続けていると、自動的にロゴを受信し、テレビメニューや番組表に反映されます。

テレビメニューや番組表を表示しているときに受信した放送局ロゴは、次にテレビメニューや番組表を表示したときに反映されます。

PART 7 Q&A

録画ができない

録画をしようとして問題が起きたときは、ここをご覧ください。

録画ができない

■ ハードディスクの空き容量が不足していませんか？

ハードディスクの空き容量を確認してください。
ハードディスクに、録画した番組を記録するのに十分な空き容量がないと、録画できないことがあります。
録画中にテレビの画面でリモコンの【番組情報】を押すと、録画可能時間が表示されます。
ハードディスクの空き容量を増やす方法については、「ソフト&サポートナビゲーター」-「困った」-「ハードウェア・システム設定」-「ハードディスク」をご覧ください。
また、不要な番組を削除して、ハードディスクの空き容量を増やすこともできます。
録画した番組の削除については、
地デジシングルチューナーモデルの場合：PART3の「録画した番組を削除する」(p.71)
BS・110度CS・地デジダブルチューナーモデルの場合：PART4の「録画した番組を削除する」(p.116)
をご覧ください。

参照

録画時のハードディスク容量について→
地デジシングルチューナーモデル：PART3の「録画について」(p.46)
BS・110度CS・地デジダブルチューナーモデル：PART4の「録画について」(p.88)

■ 録画できる番組ですか？

番組によっては、録画ができないものがあります。番組表の「番組情報」を見ると、録画可能かどうかがわかります。
その他、録画についての詳しい情報は、
地デジシングルチューナーモデルの場合：PART3の「録画について」(p.46)
BS・110度CS・地デジダブルチューナーモデルの場合：PART4の「録画について」(p.88)
をご覧ください。

■ 録画用に登録した外付けハードディスクをパソコンに接続していますか？

外付けハードディスクに番組を録画するように設定してあるときは、その外付けハードディスクがパソコンに接続されていないと録画できません。
録画用に登録した外付けハードディスクをパソコンに接続しなおすか、録画番組の保存先をパソコンに内蔵されているハードディスクに変更してください。

録画番組の保存先の設定について→「登録したハードディスクに番組を録画する」(p.160)

PART 7 Q&A

その他

リモコンで操作できない

■ Windows Media Centerのウィンドウよりも前にほかのソフトのウィンドウが表示されていませんか？

Windows Media Centerのウィンドウよりも前にほかのソフトのウィンドウが表示されていると、リモコンで正しく操作することができなくなります。このときは、リモコンの【テレビ】を押してください。Windows Media Centerの画面が手前に表示され、リモコンでの操作ができるようになります。

■ リモコン受信用ユニットは正しく取り付けられていますか？（VALUESTAR Lの場合）

VALUESTAR Lをお使いの場合は、リモコン受信用ユニットが正しく接続・設置されていないと、リモコンで操作することができません。リモコン受信用ユニットについて詳しくは、『準備と設定』をご覧ください。

リモコンでデータ放送が操作できない

■ ご購入時の状態では、録画した番組の再生、またはタイムシフトモードでデータ放送番組を視聴する場合、データ放送の一部の操作ができません

リモコンの【サブメニュー】を押して「リモコン(自動切換モード)」を選び、「データ放送固定モード」を選んで【決定】を押してください。

リモコンの【電源】を押しても、テレビが終了するのに時間がかかる

■ リモコンからのテレビの終了には約30秒程度かかります

同時に大量のソフトを実行するなど、パソコンに負荷のかかる動作をおこなっている場合は、終了に通常の倍以上かかることもあります。

【電源】を押してから、1分以上経過してもパソコンが終了しない場合は、不要なソフトが同時に複数実行していないかを確認してください。また、予約開始時刻が近い場合は、SmartVisionは終了しますが、パソコンは終了しません。

リモコンの【電源】や【テレビ】を押しても、パソコンが起動しない（VALUESTAR Lの場合）

■ 電源を切った状態、または休止状態ではありませんか？

VALUESTAR Lをお使いの場合、パソコンの電源を切った状態、または休止状態から、リモコンの【電源】や【テレビ】でパソコンを起動することはできません。

DVDに保存しようとしたが、選択できない番組（保存できない番組）がある

■ 映像フォーマット「480p」または「720p」で放送された番組です

映像フォーマット「480p」または「720p」で放送された番組は、DVDにVRモードで保存することができません。

DVD-RAMの書き込みに失敗する

このパソコン以外で使用したことのあるDVD-RAMに録画番組を保存すると、書き込みに失敗する場合があります。その場合は、このパソコンでDVD-RAMをフォーマットしてから、録画番組を保存してください。フォーマットをおこなうと、DVD-RAMのデータはすべて削除されます。必要に応じて、データのバックアップを取ってください。
DVD-RAMのフォーマットについて詳しくは、PART5の「光ディスクをフォーマットする」(p.136)をご覧ください。

SmartVisionの録画番組データをほかのパソコンに移したい

■ SmartVisionの録画番組データをそのままほかのパソコンに移すことはできません。

録画番組データをほかのパソコンで見るときは、SmartVisionのDVD作成機能またはファイル出力機能を使って、データをDVDに保存して映像データとしてほかのパソコンで再生してください。

録画番組データをDVDにする→「PART5 録画番組をDVDなどに保存する」(p.133)

テレビを終了しようとしたが終了しない

■ ファイアウォールソフトで、テレビの通信を遮断していませんか？

ファイアウォールソフトの設定を変更して、テレビ関連アプリケーションの通信監視を除外するか、無効化してください。

リモコンの【電源】や【テレビ】以外のボタンを押したとき、パソコンが復帰した

VALUESTAR Lをお使いの場合、パソコンがスリープ状態であれば、リモコンの【テレビ】、【電源】以外のボタンを押しても、スリープ状態が解除され、パソコンが復帰します。

パソコンの電源が勝手に入ってしまう

■ 予約時刻ではありませんか？

設定によっては、予約録画(おまかせ録画を含む)、予約視聴、番組表受信の予約をしていると、予約時刻の約8分前にパソコンが自動的に起動して、予約に備えます。
予約録画、予約視聴、番組表受信の予約内容を確認してください。
番組の録画・視聴予約内容については、
地デジシングルチューナーモデルの場合：PART3の「予約の確認や変更、取り消しをする」(p.60)
BS・110度CS・地デジダブルチューナーモデルの場合：PART4の「予約の確認や変更、取り消しをする」(p.105)
をご覧になり、予約内容と予約結果を確認してください。
電源を切った状態から自動的にパソコンを起動させたくない場合は、【テレビメニュー】を押し、「設定」-「予約録画の設定」-「電源設定」と選んで「電源設定」画面を開き、「予約録画、予約視聴、番組表の受信を開始する前の動作を選んでください。」で「スリープ状態/休止状態から起動する」を選んで【決定】を押し、「終了」を選んで【決定】を押してください。省電力状態からのみ予約により起動するようになります。

ポイント

ご購入時は、電源ボタンはスリープ(省電力状態)でパソコンを終了する設定になっています。

夜間の予約録画実行時、パソコンの音がうるさい

■ ナイトモードにしてください

予約録画でパソコンが起動するときに、起動/終了時の音が気になるときは、画面消灯ボタンを押して、ナイトモードにしてください。ナイトモードにすると、画面や音声をオフにした状態で録画されるので、就寝中の録画に便利です。

参照

ナイトモードについて→
地デジシングルチューナーモデル：PART3の「ナイトモードにする(VALUESTAR Nのみ)」(p.58)
BS・110度CS・地デジダブルチューナーモデル：PART4の「ナイトモードにする(VALUESTAR W、VALUESTAR Nのみ)」(p.102)

テレビ画面に緑色の横線が見える

入力信号が無い場合、緑色で帯状の横線が見えることがあります。
選局したチャンネルの受信電波が弱いときに、緑色で帯状の横線が見えることがあります。アンテナケーブルをご確認ください。また、電波の弱い場所で使用する場合は、ブースターを使用してください。ブースターの取り付けについては、お近くの電器店などにご相談ください。

テレビ画面上にメッセージが表示された

■ メッセージの内容にしたがって、ご利用環境を確認してください

● [B-CASカードを正しく装着してください。]
B-CASカードが装着されていないか、または正しい向きでしっかりとセットされていない可能性があります。もう一度B-CASカードを確認してセットしなおしてみてください。

● [E201 信号レベルが低下しています。]

・アンテナケーブルを確認してください。

・アンテナの向きを確認してください。

● [E202 信号が受信できません。]

・アンテナケーブルを確認してください。

・地上デジタル放送の場合は、テレビ初期設定をおこない、チャンネルをスキャンしなおしてください。

・BS・110度CSデジタル放送の場合は、雨、雪、雷雲などによって電波が受信できなくなると表示されます。天候が回復し、電波の状態が改善されれば、映像が表示されます。

● [E203 放送休止中]
受信レベルが0またはそれに近い値のとき、このメッセージが表示されます。

・番組表などで放送時間をお確かめください。

・エラー表示チャンネルの受信レベルを確認してください。

● [E209 アンテナの接続を確認してください]
BS/110度CSデジタルアンテナのアンテナ線がショートしたときに、このメッセージが表示されます。
パソコンの電源を切り、BS/110度CSデジタルアンテナ端子に接続しているアンテナ線を外し、アンテナ線のショートの原因を確認してください。そして、ショートの原因を取り除いた後で、再びアンテナ線をパソコンのアンテナ端子に接続してください。なお、ショートの原因がわからないときには、お近くの電器店にご相談ください。

● [EC01 B-CASカードの情報を読み取れません。B-CASカードが装着されていること、また正しい方向に装着されていることをご確認ください。]
B-CASカード自体に問題があるか、B-CASカードが正しくセットされていないときに表示されます。B-CASカードが正しい向きでしっかりとセットされていることを確認してください。

参照

B-CASカードのセットのしかたについて→『準備と設定』第2章

パソコンの電源が勝手に切れる

■ 予約をおこなっていませんか？

予約録画(おまかせ録画を含む)、予約視聴、番組表受信の予約をおこなっていると、予約動作の完了時にスリープ状態になるという内容のメッセージが表示され、60秒経過すると自動的にスリープ状態になります。

予約実行前後の動作について→
地上デジシングルチューナーモデル:PART3の「予約実行前後の動作を設定する」(p.67)
BS・110度CS・地デジダブルチューナーモデル:PART4の「予約実行前後の動作を設定する」(p.112)

■ 番組表の受信時刻ではありませんか？

ご購入時の設定では、毎日午前7時から午後7時に番組表の受信を自動でおこなうように設定されています。
番組表の受信が完了したときにSmartVisionが起動していないと電源が切れることがあります。

番組表受信時刻の変更について→PART2の「番組表の受信時刻を変更する」(p.40)

SmartVisionの動作が遅いことがある

■ 録画ファイルの数が多くありませんか？

録画したファイルの数が多いとSmartVision起動後の動作が遅いことがあります(映像の乱れやコマ落ちなども含む)。
保存しておきたい番組はSmartVisionのDVD作成機能またはファイル出力機能を使ってDVDに保存し、不要となった録画ファイルは削除してください。

■ パソコンの負荷状況(CPU使用率)が高くありませんか？

パソコンの負荷状況(CPU使用率)が高い状態では、放送波の切り換えや、タイムシフトなどのモードの切り換え/早送り/巻き戻し等の操作を行ってから、実際に機能が働くまでに時間がかかる場合があります。
パソコンの負荷を軽減するために、同時に動作しているアプリケーションを終了させてください。また、アプリケーションの再起動やハードディスクの整理などをお試しください。

操作中にウィンドウが見えなくなる

■ Windows Media Centerのウィンドウを常に手前に表示する設定にしていませんか

Windows Media Centerの「タスク」-「設定」-「全般」-「起動とウィンドウの動作」にある、「Windows Media Centerウィンドウを常に手前に表示」のチェックボックスにチェックを入れていると、Windows Media Centerのウィンドウがほかのウィンドウよりも手前に表示されます。
この状態で、SmartVisionから別のソフトウェアを起動したり、別のウィンドウを表示させる(マウスで使うための画面で「設定ウィンドウ」の「録画／再生／予約」の「書き込みドライブ」タブにある「フォーマット」ボタンを押したときなど)と、それらのウィンドウがSmartVisionの後ろに隠れてしまいます。
このような場合は、SmartVisionのウィンドウを最小化したり、ウィンドウのサイズを小さくしてウィンドウの位置を変え、隠れていたウィンドウを表示させてください。
「Windows Media Center ウィンドウを常に手前に表示」のチェックをはずせば、この現象は起こらなくなります。

USBハードディスク以外のUSB機器を接続したとき、SmartVisionで録画用ハードディスクとして利用するように設定するか確認する画面が表示される

■ メッセージの画面でキャンセルを選択してください

USBハードディスク以外のUSB機器であっても、SmartVision側でハードディスクと認識される場合があります。その場合には、キャンセルを選択してください。

コピー回数が「エラー」と表示された番組がある

■ 利用できない録画ファイルです

次の状態の録画ファイルは、コピー回数に「エラー」と表示されます。「エラー」の番組は、再生を含め、一切利用できません。ハードディスクの容量を節約するため、削除することをおすすめします。

外付けハードディスクに保存された番組が、以下の状態のとき

・ 外付けハードディスクが接続されていない状態で、同じグループの番組がムーブ、もしくはすべて削除された。

SmartVision上でフォルダを削除後、再追加したフォルダに保存されていた番組が、以下の状態のとき

・ 同じグループの番組が、すでにムーブ、もしくはすべて削除されていた。

参照

番組のグループについて→PART5の「光ディスクに保存するときのご注意」(p.146)
ムーブについて→PART1の「ダビング10でできること」(p.20)

再生できない録画番組がある

■ 「エラー」の番組です

外付けハードディスクに保存された番組のコピー回数表示は、24時間に1回更新されます。コピー回数が「エラー」に該当する番組の場合、次回の更新で表示が変更されます。
コピー回数が「エラー」の番組については、このページの「コピー回数が「エラー」と表示された番組がある」をご覧ください。

付　録

このパソコンを廃棄・譲渡するときに、SmartVisionに保存されている
個人情報を消去する方法や、アンテナの設定方法を説明しています。
また、各モードのボタンやタブの機能について記載しています。

付録

B-CASカードについて

デジタル放送の視聴に必要なB-CASカードについて説明します。
B-CASカードは、登録が必要です。

B-CASカードを扱うときの注意

B-CASカードは、デジタル放送の各種サービスを利用するために必要なカードです。このパソコンにB-CASカードをセットしないと、デジタル放送を視聴できません。
B-CASカードを扱うときは、次のことに注意してください。

●このパソコン専用のB-CASカード以外のものをセットしないでください。

●B-CASカードは、記載されている「使用許諾契約約款」の内容を読み、了解された上で台紙からはがしてください。

●B-CASカードの取り扱いについて、次のことにご注意ください。
・裏面の金メッキされた端子に手を触れないでください。
・折り曲げたり、変形させたり、傷を付けないでください。
・上に重いものを載せたり、踏みつけたりしないでください。
・ぬれた手で触ったり、水をかけたりしないでください。
・分解・加工しないでください。

●裏向きや逆方向からB-CASカードをセットしないでください。セットする方向を間違えると、B-CASカードが機能せず、デジタル放送を視聴できません。

●B-CASカードは、常時セットしたままにしておいてください。取り出す場合は、先にパソコンの電源を切り、電源コードのプラグをコンセントから抜いた後に、B-CASカードを取り出してください。

●B-CAS用「ユーザー登録ハガキ」は、B-CASカードをセットした後、必要事項をご記入の上投函してください。

ポイント

限定受信システム(CAS: Conditional Access System)とは、特定のお客様にかぎって、番組の視聴ができるようにするシステムです。

B-CASカードを登録する

デジタル放送のサービスを受けられるようにするには、B-CASカードのユーザー登録が必要です。B-CASカードに添付されている「ユーザー登録ハガキ」に必要事項を記入して、返送してください。その際、「ご登録に際して」欄の「はい」に○を付けることをおすすめします。
詳しくは、B-CASカードに添付されている説明書をご覧ください。

チェック

●B-CASカードの所有権は、(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ(略称:B-CAS)に帰属します。カードの登録をすると、カードシステムのバージョンアップを無料で受けることができます。

●カードを紛失するなどして再発行する場合は、再発行費用がかかります。

付録

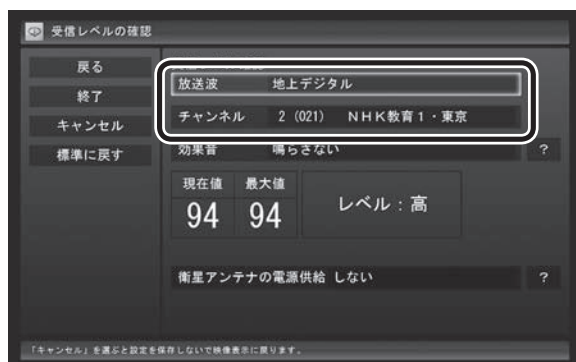
アンテナの設定をする

デジタル放送の表示に問題があるときは、アンテナの設定をしてください。

デジタル放送の表示に問題があるときは、アンテナの設定をすると改善される場合があります。

1 リモコンの【テレビメニュー】を押す

2 「情報」-「受信レベルの確認」を選んで【決定】を押す

3 確認したい「放送波」と「チャンネル」を選ぶ

4 アンテナの向きを調節する

アンテナの向きを調節していくと、「レベル:中」または「レベル:高」と表示されます。その状態で受信レベルが最大となるようにアンテナの向きを調節して、アンテナを固定します。
「効果音」を「鳴らす」に設定していると、受信レベルが53以上の場合に音が鳴ります。

受信レベルは目安として56以上になるように調節してください。アンテナの受信レベルは、天候･季節･受信している地域(アンテナの設置場所)などによって異なります。

5 「終了」を選んで【決定】を押す

これで、アンテナの設定は完了です。

付録

個人情報を消去する

パソコンを廃棄したり、ほかの人に譲渡するときに、保存されている個人情報を消去する必要があります。

次の内容が消去されます。設定ウィンドウで設定した内容はすべてご購入時の状態に戻ります。

・データ放送で使用していた個人情報やポイント
・受信済みのメール／掲示板の内容
・しおり一覧の内容
・番組表データ（地上デジタル放送）
・地上デジタル放送のチャンネル設定

チェック

この方法で消去するのは、データ放送で使用するSmartVisionに関する個人情報です。個人情報の中には、ゲームのポイントなども含まれます。

データを消去する

1 マウスで使うための画面を表示して、ノーマルモードにする

参照

マウスで使うための画面を表示する→PART6の「マウスで使うための画面」（p.156）

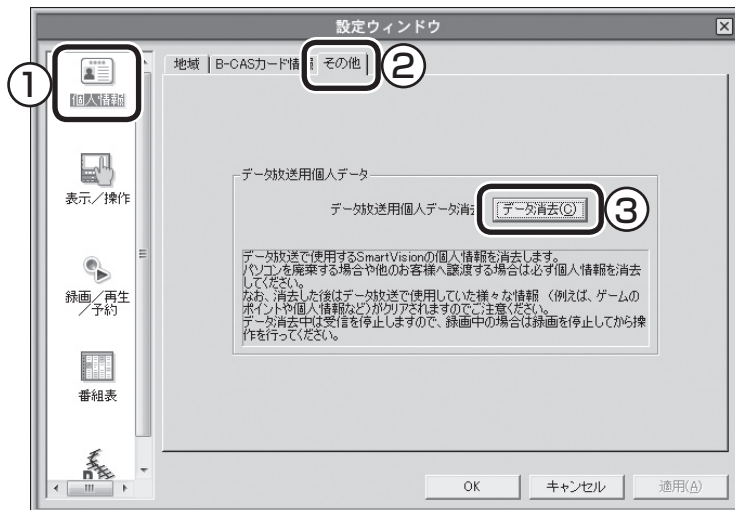
2 （設定）をクリック

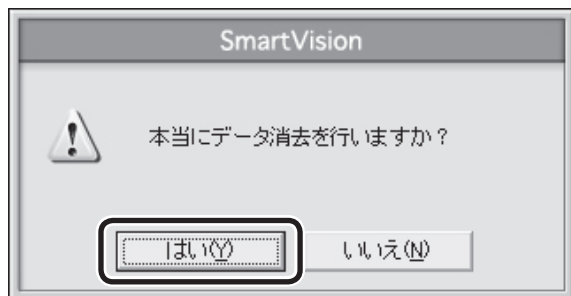
「設定ウィンドウ」が表示されます。

3 データ消去の設定をする

① 「個人情報」アイコンをクリック

② 「その他」タブをクリック

③ 「データ消去」をクリック

「本当にデータ消去を行いますか？」と表示されます。

4 「はい」をクリック

SmartVisionが終了し、Windows Media Centerのメニュー画面が表示されます。
その後、データ消去ツールが起動し、データの消去がおこなわれます。

- データを消去している間は、SmartVisionを使用することができません。
- 再起動をするようにメッセージが表示された場合は、パソコンを再起動してください。
- データを消去した後は、ご購入時の状態に戻ります。テレビの視聴をおこなう場合は、もう一度テレビ初期設定(p.7)をおこなう必要があります。

付録

自動ログオンの設定をする

自動的にログオンするユーザーアカウントに、新たにパスワードを設定したり、パスワードを変更したとき、ログオンするユーザーアカウントを変えたいときは、次の手順で設定してください。

設定を変更する

1 リモコンの【テレビメニュー】を押す

テレビメニューが表示されます。

2 「設定」から「予約録画の設定」を選んで【決定】を押す

3 「自動ログオンの設定」を選んで【決定】を押す

4 「自動ログオンのテスト」を選んで【決定】を押す

5 ログオンするユーザーアカウントを変更する場合は、「自動ログオンユーザー」を選んで【決定】を押し、ユーザーを選ぶ

6 新たにパスワードを設定したり、パスワードを変更した場合は、「パスワード」を選んで【決定】を押し、キーボードからパスワードを入力する

7 再度「自動ログオンのテスト」を選んで【決定】を押す

テスト結果が「正常」と表示されれば、自動ログオンの設定が正しくできています。

8 「終了」を選んで【決定】を押す

BS/110度CSデジタル放送の有料放送の受信契約方法について

有料放送を視聴する場合の、受信契約について説明します。

このパソコンはモデム機能を搭載していないため、電話回線を利用した有料放送の受信契約をテレビの画面からおこなうことができません。
ここでは、受信契約の申し込みをおこなう場合のお問い合わせ先について記載します。

名称	URL	お問い合わせ先
WOWOW [BS9ch]	http://www.wowow.co.jp	0120-580-807 (PHS、IP電話の方は045-683-8080) 受付時間　9:00 ～ 20:00(年中無休)
スター・チャンネル HV [BS10ch]	http://star-ch.jp	0570-013-111 (PHS、IP電話のお客様は　045-339-0399) 受付時間　10:00 ～ 18:00 なお、スター・チャンネル HVの加入申込みは下記のスカパー！ e 2へお問合せください。
スカパー！ e2	http://www.e2sptv.jp/	0570-08-1212 (PHS、IP電話のお客様は045-276-7777) 受付時間　10:00-20:00 (年中無休)

付録

録画モードについて

番組を録画する場合、録画した番組を光ディスクに保存する場合の録画モードごとの画質や機能について詳しく説明します。

ハードディスクに録画する場合

●ご購入時には、ダイレクトで録画される設定となっています。録画予約ごとに個別に録画モードの設定ができます。

録画モード	ダイレクト	ファイン	ファインロング	ロング
ビットレート	地上デジタルHD 放送:17Mbps 地上デジタルSD 放送:8Mbps BS・110度CSデジタルHD 放送:24Mbps BS・110度CSデジタルSD 放送:11Mbps	8Mbps	4Mbps	2Mbps
記録できる解像度※1	ハイビジョン(HD)	ハイビジョン(HD)	ハイビジョン(HD)	標準(SD)
画質と記録時間の関係	高画質 ⇔ 長時間			
複数の音声が含まれる(マルチ音声)番組	複数の音声のうち、2つを選択して録画できます。※2 再生時に音声を切り換えることができます。		複数の音声のうち、1つを選択して録画できます。※2 再生時に音声を切り換えることはできません。	
字幕放送が含まれる番組	字幕放送が記録されます。再生時に字幕の表示・非表示ができます。			
データ放送が含まれる番組	データ放送が記録されます。再生時に【連動データ】でデータ放送を表示することができます。	データ放送は記録されません。 再生時に【連動データ】を押してもデータ放送は表示されません。		
複数の映像が含まれる番組	複数の映像は記録されません。再生時に映像を選択することはできません。			
DVDへの保存	録画モード変換が必要です。	AVCREC形式では、録画モード変換せずに記録できます。DVD-VR形式では、録画モード変換が必要です。※3		
ブルーレイディスクへの保存	録画モード変換をせずに記録できます。 ダイレクトの場合には、録画モード変換をして記録することもできます。			

※1:ハイビジョン(HD)を記録した場合の再生時の解像度。標準(SD)の番組を記録した場合、再生時にはすべて標準(SD)で再生されます

※2:どの音声を記録するか、録画予約時に選択することができます

※3:次のモデルはDVD-VR形式にのみ対応しています。AVCREC形式での保存はできません

・VALUESTAR WのDVDスーパーマルチドライブモデル

・VALUESTAR LのDVDスーパーマルチドライブモデル

ハードディスクからDVDへ保存する場合

録画モード	ファイン※1	ファインロング※1	ロング※1	高画質	標準画質	長時間	ジャスト画質
記録形式	AVCREC形式※2	AVCREC形式※2	AVCREC形式※2	DVD-VR形式	DVD-VR形式	DVD-VR形式	DVD-VR方式
対応する光ディスク	CPRM対応DVD-RAM	CPRM対応DVD-RAM	CPRM対応DVD-RAM	CPRM対応DVD-R CPRM対応DVD-RAM	CPRM対応DVD-R CPRM対応DVD-RAM	CPRM対応DVD-R CPRM対応DVD-RAM	CPRM対応DVD-R CPRM対応DVD-RAM
ビットレート	8Mbps	4Mbps	2Mbps	8Mbps CBR	4Mbps VBR	2Mbps VBR	※3
記録できる解像度	ハイビジョン(HD)	ハイビジョン(HD)	標準(SD)	標準(SD)	標準(SD)	標準(SD)	標準(SD)
画質と録画時間の関係	高画質 ⟷ 長時間			高画質 ⟷ 長時間			※3
録画モード変換	録画モード変換は不要です。※4			録画モード変換が必要です。			
複数の音声が含まれる(マルチ音声)番組※5	あらかじめハードディスクに記録されている2つの音声をDVDに保存できます。再生時に音声を切り換えることができます。	あらかじめハードディスクに記録されている2つの音声のうち、1つを保存します。再生時に音声を切り換えることはできません。					
字幕放送が含まれる番組※6	字幕放送が記録されます。再生時に字幕の表示・非表示ができます。			字幕放送は記録されません。再生時に字幕を表示することはできません。			
データ放送が含まれる番組※5	データ放送は記録されません。 再生時に【連動データ】を押してもデータ放送は表示されません。						

※1：次のモデルはDVD-VR形式にのみ対応しています。AVCREC形式での保存はできません
- VALUESTAR WのDVDスーパーマルチドライブモデル
- VALUESTAR LのDVDスーパーマルチドライブモデル

※2：AVCREC形式に対応していないほかの機器では再生することはできません
※3：DVDの空き容量に合わせて録画画質が自動調整されます
※4：ハードディスクに保存されている画質と、DVDに保存するときの画質が同じ場合のみ
※5：WinDVD for NEC、WinDVD AVC for NEC、WinDVD BD for NECで再生する場合
※6：WinDVD AVC for NEC、WinDVD BD for NECで再生する場合

ハードディスクからブルーレイディスクへ保存する場合

録画モード	ダイレクト	ファイン	ファインロング	ロング
記録形式	BD-AV			
対応する光ディスク	BD-RE、BD-R			
ビットレート	地上デジタルHD放送:17Mbps 地上デジタルSD放送:8Mbps BS・110度CSデジタルHD放送:24Mbps BS・110度CSデジタルSD放送:11Mbps	8Mbps	4Mbps	2Mbps
記録できる解像度	ハイビジョン(HD)	ハイビジョン(HD)	ハイビジョン(HD)	標準(SD)
録画時間と画質の関係	高画質 ⟷ 長時間			
録画モード変換	録画モード変換は不要です。※1			
複数の音声が含まれる(マルチ音声)番組※2	あらかじめハードディスクに記録されている2つの音声をブルーレイディスクに保存できます。再生時に音声を切り換えることができます。		あらかじめハードディスクに記録されている2つの音声のうち、1つを保存します。再生時に音声を切り換えることはできません。	
字幕放送が含まれる番組※2	字幕放送が記録されます。再生時に字幕の表示・非表示ができます。			
データ放送が含まれる番組※2	データ放送は記録されません。 再生時に【連動データ】を押してもデータ放送は表示されません。			
複数の映像が含まれる番組※2	複数の映像は記録されません。再生時に映像を選択することはできません。			

※1:ハードディスクに保存されている画質と、ブルーレイディスクに保存するときの画質が同じ場合のみ
※2:WinDVD BD for NECで再生する場合

付録

各モードの画面説明

マウスで使うための画面の各モードの画面について説明します。

■ ノーマルモード

ソースタブ
表示する映像（放送）を切り換えます。
地デジ：地上デジタル放送
BS：BSデジタル放送
CS：110度CSデジタル放送
録画番組：録画番組一覧

映像表示ウィンドウ
テレビの映像を表示します。

プレイモードタブ
タイムシフトモードとライブモードを切り換えます。

設定ボタン
SmartVisionに関するいろいろな設定をします。

オンラインヘルプ
SmartVisionのオンラインヘルプを表示します。

番組表ボタン
番組表を表示します。

録画番組一覧ボタン
録画番組一覧を表示します。

予約＆結果一覧ボタン
予約一覧、および結果一覧を表示します。

コントロールパネル
チャンネル切り換え、音量調節、録画・再生など映像の操作をします。

ステータスバー
エラーなどの各種メッセージや時刻を表示します。

それぞれの放送の状態は、画面左側のソースタブで確認できます。

タブの色	放送の状態
水色	視聴中の放送
グレー	視聴していない放送
赤	録画中の放送
緑色	タイムシフト中の放送
グレー（クリックできない）	現在、利用できない放送（切り換えられません）

ポイント

- 番組表ボタンや設定ボタンのボタン名が表示されていないときは、SmartVisionの画面をドラッグして広げると、ボタン名が表示されます。
- 映像表示ウィンドウで右クリックをすると、メニューが表示されます。メニューで項目を選んでクリックすることで、選んだ項目操作を実行できます。

参照

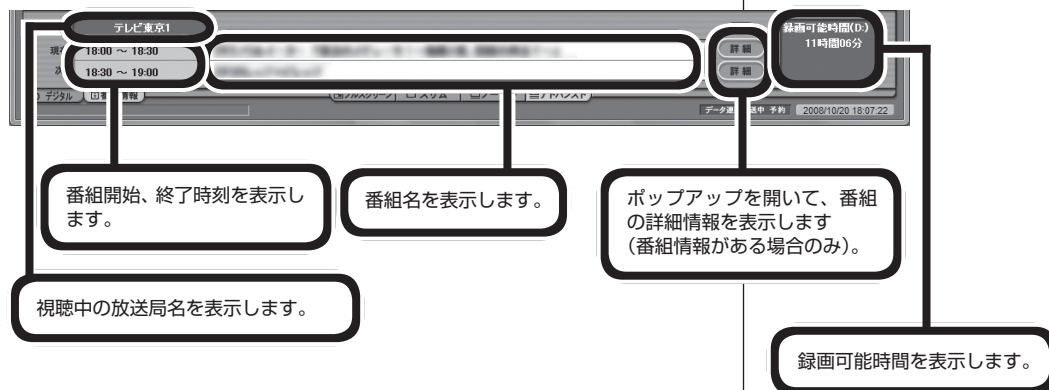
SmartVisionの設定について→オンラインヘルプの「設定」

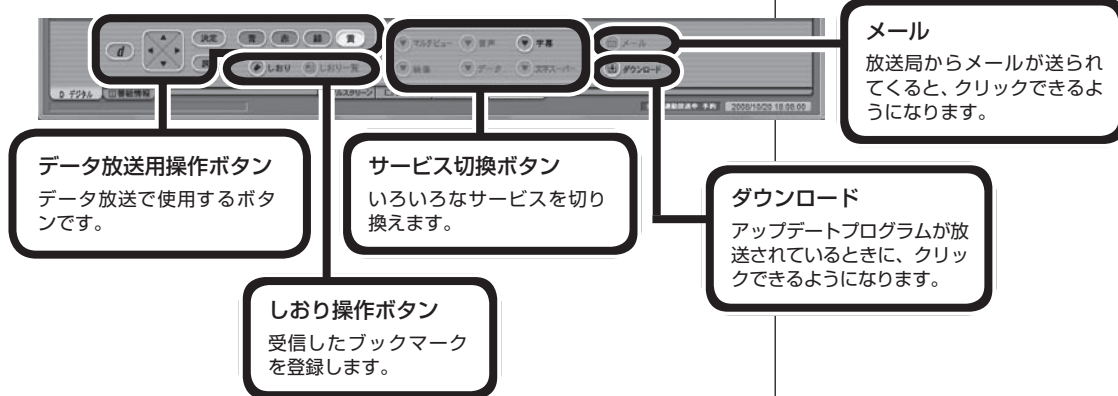
● コントロールパネル

■ アドバンストモード

アドバンストモード画面の左下には、「デジタル」タブ、「番組情報」タブ、「簡易編集」タブ（録画番組再生時）があり、切り換えて操作します。
表示している放送によって、操作できるタブが異なります。操作できないタブは、クリックできなくなります。

●「番組情報」タブ

「番組情報」タブは画面の左下にあります。

●「デジタル」タブ

「デジタル」タブは画面の左下にあります。

●「簡易編集」タブ

「簡易編集」タブは画面の左下にあります。

※ ここから を指定しないで登録した場合は、番組の先頭から登録されます。ここまで を指定しないで登録した場合は、番組の最後まで登録されます。

■ スリムモード

スリムモードにすると、シンプルな画面で番組を見ることができます。また、ノーマル/アドバンストモードよりも画面のサイズを小さくすることができます。

付録

付録

映像をホームネットワークで配信する（対応モデルのみ）

録画したデジタル放送番組を、ホームネットワーク内の機器に配信することができます。
配信するために、まずはインターネット上のサーバーに接続して、配信のためのライセンスを取得するなどの準備が必要です。
設定は、「スタート」-「すべてのプログラム」-「DiXiM Media Server for NEC」-「DiXiM Media Server Tool」からおこないます。
対応モデル、ライセンスの取得のしかたなど、詳しくは、『準備と設定』をご覧ください。

簡易編集機能を使って編集した番組をホームネットワークで配信して再生すると、編集した部分の前後で、画面が一瞬黒くなったり映像が乱れたりすることがあります。

付 録

サブメニューについて

ここでは、リモコンの【サブメニュー】を押すと表示される「サブメニュー」について簡単に説明します。

サブメニューは、状況によって表示される項目が異なります。各項目はリモコンの矢印ボタンと【決定】で選択してください。

テレビを見ているとき

メニュー項目	説　明
映像/音楽/字幕設定	映像/音楽/字幕設定の画面が表示されます。
レコーダ切換 (BS・110度CS・地デジダブルチューナーモデルのみ)	映像を表示しているレコーダを示します。レコーダを切り換えることもできます。 「レコーダ切換(レコーダ1)」:レコーダ1の映像が表示されています。 「レコーダ切換(レコーダ2)」:レコーダ2の映像が表示されています。
テレビ	テレビの映像がライブモード/タイムシフトモードのどちらで表示されているかを示します。ライブモード/タイムシフトモードを切り換えることもできます。 「テレビ(ライブ)」:ライブモードで映像が表示されています。 「テレビ(タイムシフト)」:タイムシフトモードで映像が表示されています。
データ放送	データ放送が有効か無効かを示します。データ放送の有効/無効を切り換えることもできます。 「データ放送(有効)」:データ放送が有効です。 「データ放送(無効)」:データ放送が無効です。こちらを選択すると、パソコンでデータ放送の処理を行いません。映像のコマ落ちなど、パソコンの負荷による表示の問題が起こったときは、「データ放送(無効)」を選択することで改善されることがあります。
リモコン	リモコンが自動切換モードかデータ放送固定モードかを示します。自動切換モード/データ放送固定モードを切り換えることができます。 自動切換モード:録画番組の再生時に、矢印ボタンなどで早送り巻き戻しなどの再生に関する操作ができます。データ放送時には、矢印ボタンなどでフォーカスの移動ができます。通常はこちらのモードでお使いください。 データ放送固定モード:データ放送の視聴中に、リモコンの矢印ボタンや【決定】での操作ができないときは、こちらのモードに切り換えてお使いください。なお、このモードでは、録画番組の再生時に矢印ボタンなどで番組の再生に関する操作ができません。
光ディスクのフォーマット	光ディスクのフォーマットの画面が表示されます。 なお、次のモデルでは、「光ディスクのフォーマット」が表示されません。 ・VALUESTAR WのDVDスーパーマルチドライブモデル ・VALUESTAR LのDVDスーパーマルチドライブモデル
番組詳細情報	視聴している番組の詳細な情報が表示されます。
閉じる	サブメニューが閉じます。

録画した番組を再生しているとき

メニュー項目	説　明
映像/音楽/字幕設定	映像/音楽/字幕設定の画面が表示されます。
データ放送	データ放送が有効か無効かを示します。データ放送の有効/無効を切り換えることもできます。 「データ放送(有効)」:データ放送が有効です。 「データ放送(無効)」:データ放送が無効です。こちらを選択すると、パソコンでデータ放送の処理をおこないません。映像のコマ落ちなど、パソコンの負荷による表示の問題が起こったときは、「データ放送(無効)」を選択することで改善されることがあります。
リモコン	リモコンが自動切換モードかデータ放送固定モードかを示します。自動切換モード/データ放送固定モードを切り換えることができます。 自動切換モード:録画番組の再生時に、矢印ボタンなどで早送り巻き戻しなどの再生に関する操作ができます。データ放送時には、矢印ボタンなどでフォーカスの移動ができます。通常はこちらのモードでお使いください。 データ放送固定モード:データ放送の視聴中に、リモコンの矢印ボタンや【決定】での操作ができないときは、こちらのモードに切り換えてお使いください。なお、このモードでは、録画番組の再生時に矢印ボタンなどで番組の再生に関する操作ができません。
光ディスクのフォーマット	光ディスクのフォーマットの画面が表示されます。 なお、次のモデルでは、「光ディスクのフォーマット」が表示されません。 ・VALUESTAR WのDVDスーパーマルチドライブモデル ・VALUESTAR LのDVDスーパーマルチドライブモデル
番組詳細情報	再生している番組の詳細な情報が表示されます。
閉じる	サブメニューが閉じます。

「番組表」が表示されているとき

メニュー項目	説　明
番組の検索	番組表の検索の画面が表示されます。
番組表の取得	番組表を取得します。
番組表の表示設定	番組表の表示設定の画面が表示されます。番組表に表示する放送局や、画面に表示するチャンネルの数が設定できます。
番組詳細情報	選択している番組の詳細な情報が表示されます。
閉じる	サブメニューが閉じます。

「録画番組一覧」が表示されているとき

メニュー項目	説　　明
最初から再生	選択している番組が最初から再生されます。
番組の並べ替え	次のいずれかの順序で、録画番組の一覧を並べ替えます。 「日付順」:録画した日付の順に並びます。 「番組名」:番組名順に並びます。 「容量順」:容量の大きなものから順に並びます。
番組の検索	録画番組の検索の画面が表示されます。
光ディスク保存	選択している番組を光ディスクに保存する画面が表示されます。
録画モード変換	選択している番組の録画モードを変換します。
番組の削除	番組を削除します。次のいずれかを選択できます。 「ひとつ削除」:選択している番組を削除します。 「まとめて削除」:複数の番組を選択して削除します。
番組詳細情報	選択している番組の詳細な情報が表示されます。
閉じる	サブメニューが閉じます。

「番組の検索」の検索結果が表示されているとき

メニュー項目	説　　明
番組の検索	番組表の検索の画面が表示されます。
検索の終了	番組表の画面に戻ります
番組の並べ替え	次のいずれかの順序で、検索結果の一覧を並べ替えます。 「日付順」:録画した日付の順に並びます。 「番組名」:番組名順に並びます。
番組詳細情報	選択している番組の詳細な情報が表示されます。
閉じる	サブメニューが閉じます。

「予約一覧」が表示されているとき

メニュー項目	説　　明
予約の削除	予約を削除します。次のいずれかを選択できます。 「ひとつ削除」:選択している予約を削除します。 「すべて削除」:すべての予約を削除します。
時間指定予約	時間を指定して番組を予約する画面が表示されます。
閉じる	サブメニューが閉じます。

「予約結果一覧」が表示されているとき

メニュー項目	説　　明
結果情報の削除	予約の結果情報を削除します。次のいずれかを選択できます。 「ひとつ削除」:選択している予約の結果情報を削除します。 「すべて削除」:すべての予約の結果情報を削除します。
閉じる	サブメニューが閉じます。

索引　INDEX

英数字

あ行

か行

さ行

た行

な行

は行

ま行

や行

ら行

付録

キーボードショートカット

マウス用画面モードでは、次のキーボードショートカットが使えます。

操作	キーボードショートカット
SmartVision終了	【Alt】+【F4】
ヘルプ表示	【F1】
タイムシフト／ライブ切り換え	【F8】
画面モード切り換え※1	【Fn】+【PgUp】/【Fn】+【PgDn】
番組表拡大表示／非表示 ※2	【-】
録画番組一覧拡大表示／非表示 ※2	【:】または【*】
予約一覧表示拡大／非表示 ※2	【/】
録画	【Ctrl】+【Space】
停止	【S】
再生	【Z】
一時停止	【X】
巻き戻し	【←】
早送り	【→】
スキップ ※3	【Ctrl】+【→】
バックスキップ ※3	【Ctrl】+【←】
決定	【Enter】
戻る	【BackSpace】
↑	【↑】
←	【←】
→	【→】
↓	【↓】
音量UP	【Shift】+【↑】
音量DOWN	【Shift】+【↓】
消音	【Shift】+【←】または【Shift】+【→】
チャンネルUP	【Ctrl】+【↑】
チャンネルDOWN	【Ctrl】+【↓】
連動データ放送	【D】
青ボタン	【B】
赤ボタン	【R】
緑ボタン	【G】
黄ボタン	【Y】

キーボードショートカット

ダイレクト選局モード中の操作	キーボードショートカット
0	【0】
1	【1】
2	【2】
3	【3】
4	【4】
5	【5】
6	【6】
7	【7】
8	【8】
9	【9】
プリセット①	【1】
プリセット②	【2】
プリセット③	【3】
プリセット④	【4】
プリセット⑤	【5】
プリセット⑥	【6】
プリセット⑦	【7】
プリセット⑧	【8】
プリセット⑨	【9】
プリセット⑩	【0】
プリセット⑪	【Ctrl】+【1】
プリセット⑫	【Ctrl】+【2】

※1

画面モード	【Fn】+【PgUp】	【Fn】+【PgDn】
スリムモード時	フルスクリーン	ノーマルモードへ
ノーマルモード時	スリムモードへ	アドバンストモードへ
アドバンストモード時	ノーマルモードへ	アドバンストモード機能変更

※2　文字を入力していない状態で操作してください。

※3　録画済み番組再生時、およびタイムシフト視聴時のみ使用できます。スキップは、再生時刻より約30秒前へ進みます。バックスキップは、再生時刻より約30秒巻き戻します。

VALUESTAR

初版 2009年4月
NEC
853-810601-818-A2
Printed in Japan

NECパーソナルプロダクツ株式会社
〒141-0032 東京都品川区大崎一丁目11-1（ゲートシティ大崎 ウエストタワー）

このマニュアルは、再生紙を使用しています。